



100th
ANNIVERSARY

Meiji University Meiji High &
Junior High School

2012年 総明会会報

明治大学付属明治高等学校・中学校同窓会

新しい100年へ
— 今を知り、明日を考える。



明治中學校 校歌

作詞 武島 羽衣
作曲 楠見恩三郎

一章

帝都の真中駿河臺
遙かに望む富士のねの
高きに理想の影追ひて
集る健児勇ましや

二章

学びの高嶺文の海、
嶮しく荒き行末を
懼れず笑みて進みゆく
我等が意氣は天を吞む

三章

忠と孝の大系を、
色どる正義、愛、誠
我等が胸をかざるべき
大和錦の美ならずや

四章

世界に王たる日の本の
國民の基と身をなして
我等が校の名を揚げむ
我等が國の威を揚げむ



校 歌

作詞 児玉 花外
作曲 山田 耕稼

一、白雲なびく駿河台

眉秀でたる若人が
撞くや時代の暁の鐘
文化の潮みちびきて
遂げし維新の榮になふ
明治その名ぞ吾等が母校
明治その名ぞ吾等が母校

二、權利自由の揺籃の

歴史は古く今もなほ
強き光に輝けり
独立自治の旗翳し
高き理想の道を行く
我等が健児の意氣をば知るや
我等が健児の意氣をば知るや

三、靈峰不二を仰ぎつつ

刻苦研鑽他念なき
我等に燃ゆる希望あり
いでや東亜の一角に
時代の夢を破るべく
正義の鐘を打ちて鳴らさむ
正義の鐘を打ちて鳴らさむ

総 明 会

昭和59年開催の第20回総会において命名された。
初代校長の鶴澤総明先生のお名前をいただき、かつ、
明中高同期会と同窓生の総体の連帯を意味するものである。



目 次

第48回 総明会総会・懇親会のご案内	2
総明会会長挨拶	4
校長挨拶	5
名誉会長挨拶	6
特集「新しい100年へ ー今を知り、明日を考える。ー」	9
特集1 新しい100年へ、～向こう百年を見据えた未来像～ 明治高等学校の明日を考える	10
特集2 今を知ろう！明中生・明高生を解析！	26
特集3 初の女子〇〇長誕生！！	32
特集4 恩師からのメッセージ	34
特集5 明日の100年へ 100の提言	39
特集6 創立100周年記念事業	49
学校報告	53
同期会 班クラブOB・OG会 活動報告	73
2011年度総明会活動報告	141
◆総明会 本部・役員一覧 ◆総明会 評議員名簿 ◆活動 報告 ◆会計報告 ◆総会委員会 ◆会報委員会 ◆企画委 員会 ◆組織委員会 ◆総務委員会 ◆広報委員会 ◆名簿 委員会 ◆周年委員会 ◆ゴルフ委員会	
前年度幹事学年挨拶	156
次年度幹事学年挨拶	157
本年度幹事学年挨拶	158
第48回 総明会御寄付者一覧	160
総明会 会則	162
「創立100周年」記念事業御寄付者一覧	168
編集後記	170

日高憲三

(学)明治大学 理事長

福宮賢一

明治大学 長

飯田和人

(学)明治大学
教務担当常勤理事

金子光男

明治大学 付属
明治高等学校・中学校 校長
(明治大学政治経済学部教授)

第48回 総明会 総会・懇親会のご案内

総明会会員の皆様におかれましては、益々、ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、早いもので、本年の総会・懇親会をご案内する季節になりました。

今年は母校創立100周年の記念すべき年です。その栄えある年、昭和60年卒「闘紺会（とうこんかい）」が幹事学年を務めさせていただきます。

100周年を意識し、「**新しい100年へ 一今を知り、明日を考える。**」をテーマとし活動してきました。調布に移転した校舎をまだご覧いただいていない方も多いことから、懇親会の席上、限定公開のムービー上映にてご案内する企画も用意いたしました。

年に一度、同窓の仲間と酌み交わす旨酒に今年も酔いしれてみてはいかがでしょうか。

どうぞ、同期の方にお声をかけていただき、また、ご家族の皆さまも一緒に西新宿にお集まりいただきたく、ご案内申し上げます。

記

日時：平成24年11月25日（日）

総 会 午後4時から

懇親会 午後5時から（受付開始 午後4時30分）

場所：ハイアット リージェンシー東京 B1F

新宿区西新宿2-7-2 TEL.03-3348-1234（代表）

会費：今年は会費事前納付制度を実施いたします。当日のお支払いにくらべ、1,000円割引させていただきます。ぜひ、ご利用ください。

事前納付のお振込み先につきましては、左のページをご覧ください。

	事前納付	当日払い
一般会員（昭和46年から平成12年までのご卒業）	9,000円	10,000円
シニア会員（昭和45年以前のご卒業）	7,000円	8,000円
ヤング会員（平成13年から20年までご卒業の社会人）	5,000円	6,000円
学生会員（大学生・大学院生）	2,000円	3,000円
ご同伴者（上記会員が同伴する会員以外の方）	4,000円	5,000円

※ まことにお手数ながら、出欠につきましては、同封のはがきにて、または、総明会ホームページよりご連絡をお願いいたします。

なお、出席のお知らせをいただいていない方でも、直前に出席可能になった方等、ご連絡をいただかなくても出席可能ですのでお気軽にお運びください。

総明会ホームページ：<http://meiji.cside7.com/>



昨年の総明会 懇親会

特別企画

創立100周年記念 総明会 限定公開ムービーを 上映予定

今の明高生気質をご紹介しますドキュメンタリー(ただいま着々と制作中！)
彼らは何を考へ、何に悩んでいるのか？
すべてが解ります。

100年の節目にあたり、懇親会では「明治高校 これからの100年のあるべき姿」をご一緒に考えていただくべく、調布移転・男女共学化後の明治高校気質をご紹介します企画をご用意いたしました。

是非、この機会に旧交を温め、「明高」次の100年の門出にご臨席いただければ、幸いです。

六、 閉会の辞	五、 議事進行	四、 書記選出	三、 議長選出	二、 会長挨拶	一、 開会の辞	第四十八回 総会 式次第(案)
その他 第三号議案 第二号議案 第一号議案	監査報告 会計報告 会務報告					

ハイアット リージェンシー東京のご案内

■徒歩でのアクセス

- ・新宿駅西口より徒歩約9分
- ・地下鉄大江戸線 都庁駅A7出口
C4連絡通路経由で徒歩1分
- ・地下鉄丸の内線 西新宿駅より
徒歩約4分

■新宿駅より無料シャトルバス

新宿駅西口 小田急/Vレク前35番のりばより20分
間隔で往復運行(毎時10・30・50分発)
[所要時間: 約10分程度] 運行8:00～22:00



会費 事前納付振込先 11月15日(木)までに納付をお願いいたします。

☐ ゆうちょ銀行 記号00110-5 番号750510 第48回総明会総会懇親会
(同封の払込取扱票、もしくは、ゆうちょ銀行間のATMを利用した振込は無料です)

☐ 三菱東京UFJ銀行 日野豊田支店(232) 普通 0183684

ダイヨンジユクハチカイソウメイカイヨシシンカイ タケウチ トシヒコ
第48回総明会総会懇親会 竹内 寿彦

入金確認のため、氏名の前に卒業年を入れてください。ATMでの振込名義の変更は可能です。

例: 昭和年代卒業の方: 60メイジ コウタ 平成年代卒業の方: ヘイ10メイジ チュウタ

個人名義の同行口座間のATMおよびインターネットバンキングを利用した振込は無料です。
ATMご利用の場合、時間外手数料が発生するケースもあります。

※なお、一旦納付された会費につきましては、お返しできませんのでご了承ください。
当日欠席された場合は、貴重な浄財といたしまして、総明会活動に利用させていただきます。



総明会会長挨拶

明治大学付属明治高等学校・中学校同窓会

総明会会長 尾島 育四郎

総明会会員の皆様、平成18年度より「創立100周年事業寄付金」に多大なるご支援・ご協力を頂き誠に有難うございました。御蔭様で「鶴澤総明奨学金」に総額三千万円を寄付する事ができました。深く感謝を申し上げます。

さて、母校の歴史を辿りますと、明治大学創立30周年記念事業の一つとして旧制明治中学が誕生しました。第一級の人物たれ〃初代校長鶴澤総明先生の校訓は自由闊達な校風を育み、麻布・開成・明治と称された進学校として名を馳せました。戦前も一貫して英語教育をおこなった凛とした校風が伺えます。

戦後は明治大学直系付属校として、文武両道に励み、男

子校として活躍した華々しい時期でありました。現在は男子校から共学校へと新たな伝統を築いております。しかし、明治高校を取り巻く環境は年々厳しくなり、少子化、高学歴化といった社会の変化に対応しつつ、グローバルな人材の養成を目指しております。

一方、友情を育む学生時代の裏側では陰湿な「いじめ問題」が後を絶ちません。悲惨な報道を耳にする度に、「江戸しぐさ」の教えを思い出すのです。『三つ心、六つ躰、九つ言葉、十二文、十五理』『三歳までに素直な心を、六歳になるとその振る舞いに節度をもたせ、九歳では人さまの前でも恥ずかしくない言葉遣いを覚えさせ、十二歳ではきちん

とした文章が書けるようにさせ、十五歳になるとものの道理が解るようにしなければならぬ」というものでした。

この教えは、現代にも通用する教育論であり何よりも初めに社会的集団生活における規律や礼節を知り、その上で自己を確立することの大切さを指しておりますが、常識を良く知り経験する事が生きる力に結び付くと体感しています。これからの総明会として重要な事は、目的や理念を変えることなく時代に即応した柔軟な組織であること。そして、物事に真摯に取り組み次代に繋げていく組織であることです。いつの時代も揺るぎない信頼で支えられた同窓会が永遠に続くと思っております。



向こう百年を目ざして、 建学の精神の再生を！！

明治大学付属明治高等学校・中学校

校長 金子 光男

仕事から、私の読書は歴史関係が多い。そこには当然、国家や企業、その組織、機関の盛衰史も含まれる。その内でも特に魅力的なのは、創業者が時代の流れを掴み、資金も人脈もないまま、ただ己れの着想と情熱とひたむきな献身のみをもつて、一気呵成に事業化し、コトを成しとげる成功譚であろう。そのスピード感とダイナミズムには、思わず引き込まれざるをえない。

二代、三代以後の継承の物語では、その盛衰のいずれであろうと、必死になって努力する人々の苦衷、哀歓、諦念を通じて、様々な人間のあり方を教えられたりもする。たとえば、T・マンの大作『ブッデンブローック家の人々 ある一家

の崩壊』はどうか。初代の築いた事業の成功は、二代目には政治的野心となり、三代目にいたって、それは芸術的関心へと移行する。かくて家業の衰退は必然となる。事業的成功は、必ずしも将来の発展を約束しない。

翻って、本校はどうか。100周年を迎える今日にいたるまで、本校もそれなりの辛酸に耐えてきた。岸本、鵜澤両先生の奮迅のご努力によって草創期を拓き、帝都の名門中学としての名を馳せた。他方で、大震災、空襲の劫火も蒙った。時には、ただ大学付属の名においてのみ命運を保った時代もある（本校『六十年史』より）。
かような歴史を閲してみれ

ば、本校は明治大学付属としてある限り——しかしそれはまた、大学の求める学力他の高い諸要求に応えられるものでなければならぬのだが——中等教育機関として、そこそこの地位は保ちえよう。だが、こんな風に大学にぶらさがってばかりの本校では、創立者はじめ本校を支えて下さった関係の方々に申し訳が立つまい。生徒たちにも相すまぬ。向こう100年の存立も危うい。ならば本校創立の初心に戻り、まずは教員一同がグローバル時代を見越し、世界に飛翔する人材を育て上げることだ。これこそ「質実剛健」「独立自治」なる建学の精神を、新世紀に向けて装いも新たに再生させる道であるに違いない。



100周年に当たり、良き学風を継承し、新しい気風を吹き込むことを期待する

明治大学付属明治高等学校・中学校同窓会

総明会名誉会長 向殿 政男

今年、母校明治中学・高校が創立100周年を迎える年であり、記念すべき年です。

1世紀にわたる母校の歴史には、色々な苦難が織り込まれているに相違ありません。その時代の試練を乗り越えて、現在の母校が発展し、永続し、伝統が継承されていることは先人達の時々の懸命な努力のおかげです。100年の風雪を耐えた母校は、我々卒業生の誇りです。

母校が調布に移転して、新しい気風は生まれ、新しい風が吹き始めたのではないのでしょうか。戦前の「第一級の人物たれ」を目標として色々な大学へ飛び出して行った旧制明治中学の時代、下町の商家の子息が多く、ほとんど全

員が明治大学に進学をするようになった戦後の時代、それに特徴的な気風がありました。そして調布に移転した

現在、積極性に富んだ女性の活躍が目立つようになったと聞いています。しかし戦前、戦後、そして現在と時代は変わっても、根底に流れている母校の根本の学風は、変わらないのではないのでしょうか。それは質実剛健、独立自治という建学の精神です。いたずらに華美に走らず、堅実に質の向上に努め、しっかりとした個を確立し、周りに流されず、正義を重んじ、信ずることに對しては何も恐れずに前進することを意味していると私は考えています。時代を超えたこの建学の精神を持って、社会に活躍

する人材を育成し続けている母校は私たちの誇りです。誇れる母校をもつ私たち卒業生は幸せです。

闊紺会が100周年という記念すべき時にホスト学年に当たりました。こんな幸運はないと思います。記念という出に残る企画とイベントを催すチャンスです。大変でしょうが、やりがいがあるというものです。こういう好機に盛り上がるのが明治魂であり、紫紺魂です。

100年続いている誇れる学風を継承し、そこに時代に沿った新しい気風を吹き込むことに貢献することを、総明会としての100周年記念の催しを闊紺会に期待したいと思います。

総明会

会長

四十一年卒

尾島育四郎

41明友会

副会長

四十四年卒

関谷 芳久

男坂俱樂部

副会長

四十五年卒

吉田耕太郎

獅子の会

副会長

五十一年卒

井家上哲史

明々会

専務理事

五十年卒

山崎 秀樹

明紫会

常務理事

四十三年卒

中村 正容

紫讃会

事務局長

五十四年卒

熊倉 章雄

明誠会

會計

五十六年卒

狩野 智雄

明翔会

昭和44年卒
総明会
副会長

関谷 芳久

男坂俱樂部

祝 明治中学校・高等学校 創立100周年
第48回総明会総会・懇親会

総明会会長 (昭和41年卒 41明友会)

尾島 育四郎

〒150-0001 渋谷区神宮前5丁目41-6

昭和50年卒
総明会
専務理事

山崎 秀樹

明紫会

昭和51年卒
総明会
副会長

井家上哲史

明々会

昭和45年卒
総明会
副会長

吉田耕太郎

獅子の会

昭和56年卒
総明会
會計

狩野 智雄

明翔会

昭和54年卒
総明会
事務局長

熊倉 章雄

明誠会

昭和43年卒
総明会
常務理事

中村 正容

紫讃会

総明会 顧問(昭和32年卒・明治会)

山崎 敬生



市原企業株式会社 代表取締役
〒299-0102 市原市青柳2-1-23

昭和36年卒
総明会 名誉会長
明治大学校友会会長

明治大学教授

向殿 政男

TEL.03-3701-1691

祝 第48回総明会総会

猿 楽 会

昭和26年卒

総明会 顧問 総明会前会長

弁 護 士 佐 久 間 洋 一

昭和43年卒 紫 讃 会

事務所 〒104-0061 東京都中央区銀座6-12-1 第2寿ビル7階
電話03-5568-6646 ファックス 03-5568-6648

〒二六、〇〇〇三
荒川区南千住二、三四、四
電話(三三〇一)六八三〇

重
盛
元
也

明治高校PTA顧問
明治白駿会副会長

登録商標 ゼイタク煎餅
東京名物 重盛の人形焼

寺村梱包株式会社

取締役会長 寺村武二
(昭和26年卒猿楽会 水泳部OB)

代表取締役 寺村一義
(昭和56年卒明翔会 バスケットOB)

東京都文京区本郷2-19-11
TEL 03-3813-6686
FAX 03-3813-6689
<http://www.teramura-pack.co.jp>



特集

新しい100年へ

― 今を知り、明日を考える。 ―



特集1

新しい100年へ

～向こう百年を見据えた未来像～

明治高等学校の 明日を考える

2012年6月21日(木)、明治大学紫紺館にて、「新しい100年へ、明治中学・高等学校の明日を考える」向こう百年を見据えた未来像」というテーマで、明治大学・明治中学高校・総明会の関係者の方々にお集まり頂き、座談会を開催しました。当日は幹事学年の恩師である吉田先生に進行を手伝っていただき、活力と魅力あふれる教育・学校作りについて、3時間におよぶ熱心な討議が行われました。

岩月(司会) 創立時を振り返り、鵜澤初代校長の教えである「第一級の人物たれ」とはどのような考えであったのか、戦前の旧制明中時代を少し振り返っていただけますか。

向殿校友会会長(以下、向殿) 昔は、明中から明大に行く生徒は少なく、いろいろな大学へ散らばっていました。鵜澤総明先生の教え、「第一級の人物たれ」とは、明治大学だけではなく、全世界を目標して明治中学を出て行きたいということだった。旧制明中の先輩は私に、「我々は自由を重んじ、リベラルを重

んじ、世界へ飛び出す。明治大学に留まらない」、もっと言うと、日本の一流の人物になるために「良い大学へ行くのだ」と言いました。確かに、東大・一橋大・慶応などを大勢卒業していて、早稲田も多かった。「お前ら、戦前の中学のように、世界へ飛び出せ。あまり明治にこだわんな」と、先輩に言われたのです。

そして、途中から明大付属になると、明治が好きで入学した者が多くなりました。明治に第一志望で行こうと思いは、明治カラーに染まっていくのです。中には医者になりたい、芸術家になりたい、やはり明治を飛び出していく者もいましたね。

私が今の生徒さんをお願いしたいことは、世界を見て、明治を好きになって、明治の中核となつてほしい。でも、医者や芸術家など自分の好みや志望が明大になれば、喜んで飛び出したいのではありませんか。自由性と多様性です。いろいろな人の価値観を認めるような人間になつて、世界へ飛び出して行つてほしい。できれば明治大学へ行って明治の中核になるということが、明治中学・明治高校

Profile



日高 恵三

学校法人明治大学理事長
1960年明治大学政治経済学部卒業／日本
リック株式会社ファウンダー・最高顧問／電
算機利用技術協同組合理事長／学校法人明
治大学経営企画担当常勤理事等歴任



飯田 和人

学校法人明治大学教務担当常勤理事
1972年明治大学商学部卒業／1977年同
大学院博士課程単位修得退学／1977年明
治大学政治経済学部助手、1995年同教授。
政治経済学部長等歴任／博士（経済学）。〈経
済学〉



向殿 政男

明治大学校友会会長・理工学部教授・総明会
名誉会長／1965年明治大学工学部電気工
学科卒業、1970年同大学院博士課程修了
／1970年明治大学工学部専任講師、1978
年同教授。理工学部長等歴任／日本学術会
議連携会員／（公）私立大学情報教育協会
会長／工学博士。〈情報学・安全学・論理学〉



金子 光男

明治大学付属明治高等学校・中学校校長
1967年明治大学政治経済学部卒業、1972
年同大学院博士課程単位修得退学／1972
年明治大学政治経済学部助手、1987年同
教授。政治経済学部長等歴任／博士（経済
学）。〈経済思想史〉



田中 徹太郎

明治大学付属明治高等学校教頭
社会科教諭、科目は政治経済担当／1972年
明治高校卒業／1976年明治大学商学部商
学科卒



吉田 重幸

明治大学付属明治高等学校・中学校総務主任
英語科教諭／1982年筑波大学人文学類卒



尾島 育四郎

総明会会長・三徳印刷（株）代表取締役
1966年明治高校卒／1970年明治大学法
学部法律学科卒



関谷 芳久

総明会副会長・関谷商店代表取締役
1969年明治高校卒、1973年明治大学政経
学部政治経済学科卒

の一番大事な学風です。
その基本は質実剛健・独立自治、今でもそうです。質実剛健とは、あまり華美なこととはしないで、まじめに着実に大事なことをやりなさいという意味だと解釈しています。あまり流行を追わず、自分の思ったこと、好きなことを胸に手を当てて考えて、大事なときはそこに戻って、きちんと真面目に生きる。それが明治中学・明治高校の良さです。そして、今言った戦前のリベラル、自由性を重んじるといふ精神を、ぜひ活かしていただきたい。

それに明治の権利自由・独立自治が付け加われば、鬼に金棒です。
吉田教諭（以下、吉田） 明大から見た、直系付属校としての明大明治の理想の姿を伺わせてください。
日高理事（以下、日高） 大変大きな期待がある故に、金子校長には日頃から不満をたくさん言っております。明治中学・明治高校には、特色を持った一流付属校であってほしいと希望しています。
先生方には教育全体への情熱を持ち、他者への思いやりや生活の基本をきちんと

と学べる、付属だからその素晴らしい教育環境を作ってほしい。付属だからこそ人間形成ができる、受験で汲々とした余裕のない生徒ではなく、一芸に秀でたり、異文化を学んだり、最も期待することは部活です。ノンポリは一番困ります。何かに一心に励める、余裕のある付属として、生徒の教育に当たってほしい。早くスポーツでも一流校になって、ぜひ甲子園に出場してもらいたい。校長先生に、「いつ出てくれるんですか?」と聞いたら、「5年待つてくれ」と言われた。

もう2年ぐ
らい過ぎてい
ると思いき
が、付属だか
らこそ、その
特徴を活かし
た部活動を、
伸び伸びと出
来るようにして欲しいと考えています。

先ほど向殿先生からも話が出ていま
したが、明治の心を持つて明大生をリー
ドできる、明大生の中核になる人物に
育ってほしい。個を強くするという意味
を、後ほどまた、力を込めて申し上げたい
が、明治が個を強くする大学だというこ
とは、何を狙い、どんな方針で言っている
のか。ぜひ、そのことが理解できる生徒
を育成し、明治大学の中核になつてほし
いと思っています。付属校として大変期
待をしています。

飯田教務理事(以下、飯田) 私は別の
観点からお話します。

私は学生時代も入れると、45年間く
らい、付属校生を見てきているわけです。
何が彼らの特徴かという、向殿先生が



が、明治大学の一番の特徴で、付属校生
が体現しているものです。そのような印
象をずっと持っています。

理想の明大明治像はということ、鶴澤
総明先生の「第一級の人物たれ」を、墨守
していくことだと思っています。明大を
出て、第一級の人物になる人は数多くい
ますが、その中でも明大明治に最大の供
給源になつてほしい。

では、第一級の人物とは何なのか。私
なりに考えると、自分自身の哲学という
ものをしっかりと持っている人のことで、
この場合の哲学は、自分が何者であるか
をよく知っていること。どのような時代、
どのような社会に生きて、どのような役
割を果たしているのかを、自分なりに十
分承知している人。これが、第一級の人

言つた一言、自
由です。本当
に明治大学自
体、自由な雰
囲気がたくさ
んある。どこ
の大学にもな
いこの自由こそ

物だろうと常々思っています。このよう
な人は、別に社会的に偉くなくても、普
段目立たなくても、いざとなるときち
んと自分の役割を果たす。世のため人のた
めに、役に立つことができる人であらう
と思います。明大明治は、そのような第
一級の人物を育ててきていると思います
し、これからもぜひ、最大の供給源になつ
ていただきたい。

吉田 2010年度総明会会報誌で、
金子校長は「単に大学に生徒受け入れ
を願う従属的な組織でなく、明大の中核
を担う人材を輩出するなど、双方向的な
関係を構築すべき」と述べられています。
現状を踏まえて、今後の方向性をお聞か
せください。

金子校長(以下、金子) 私は政治経済
学部長をやっていたけれども、学部長の
ときに付属に向き合った向き方と、校長
になつて大学に向き合う向き方は、真反
対になるわけです。当然、各学部からは
優秀な学生を送つて来いと言われます
が、全員が1番ではないのだから、ここ
らはお願ひに上がらざるを得ない。学部
の要請は、「まず、学力を付けろ」、「何

番以下は送るな」と、そこから始まっている。理事会あるいは大学OBが求めている付属像と、学部が求めている付属像が全然違う。

私が最初にやったことは、基礎学力への対応です。そうでないと、明治大学付属に子供たちを入学させてくれた、親御さんたちに対する使命が果たせない。高校三年のときに、「おたくのお子さんは、大学には行けません」などとなったら、大変です。そのような中で、余力のある生徒は部活などに励むような仕組みになってしまっている。付属は付属で、自分が授業で心血を注ぐよりも部活動に情熱を傾けて、「ちょっとくらい出来なくたってよいのだ。うちは直系付属なのだから、大学は生徒を取るべきだ」と、そのような考えの教員もいます。どうも認識のギャップがあるようです。

会報誌で書いたことは、間違っているとは思っていません。付属校は大学の従属物、付属物として、大学にお願いをする。そのような姿勢であれば、大学からもばかにされる。各学部が、「そんなに優秀なら、来てください」と、優秀とはこ

こでは学力ですけれども、向こうから頭を下げてこちらへ申し込んで来る、そのような付属にしたい。

学校誌『六十年のあゆみ』を読みまして、これを鵜澤初代校長がやっていたのです。鵜澤先生の3期から5期ぐらいの間は、麻布、開成、明大付属と言われた時代で、明大に進むよりも他大学に行くほうが多い。東大、一橋、東北大……と。そのようなことが、確かに何年か続いていた。第一級の人物で、独立自治で、卒業生も医者や芸術家、文学者、財界など、いろいろなところでトップになった人たちが大勢いるのです。今は、医者になるような生徒はほとんどいません。しかし当時は、すごい生徒がどんどん出てきて、大学が求める人材に成長していた。私が目指したことを鵜澤先生がやっておられて、うらやましい氣もしました。

そのような生徒を教育することで、大学は付属を尊敬してくれる。もちろん、卒業したら明治に行くということで構わない。でも、国公立に進む生徒も出てもらわなければ、大学から尊敬されない。極端なことを言うと、東大に受かつても

明治が魅力的だから明治に行くのだという生徒を育てたいし、そのような大学になってほしい。だから当然、私は大学にも注文がある。東大に行けないから明治では、個を強くしたことにはならない。国公立を切り捨てて、明治に来る。そのような人間が、本当に個が強い。魅力的な生徒たちを付属で育てたいし、そのような生徒が明治を選んでもらえるような大学であってほしい。そうやって初めて、明治はがつちりとつながる。

田中高校教頭(以下、田中) 教育の本質は、**「気付き」**だと思います。生徒の**「現在ある姿を伸ばす」**、**「未来の夢へとつなげる」**、**「過去が変えられる」**が大切で、過去に辛いことがあっても精神的に成長できると**「過去のおかげ」となり**、過去が違つて見えます。でもこれは本人が**「気付き」**ことが大切です。その為に教師は全力を尽くします。

今、校長先生が話された通り、私どもが直面している課題は学力向上です。これには、教員自身が汗を掻かなければいけない。そのための改革をしています。基礎学力の向上に向けてカリキュラムを

変更しました。推薦基準そのものも改定を急いでいますし、もちろん、補習のことも考えています。しっかりと学力に加えて、人物的に秀でた生徒を送り出したいということです。

生徒自らが気付いて学習に励む。そのためには教員も一生懸命汗をかく。放課後に生徒を残したら、分からない子には遅くまでしっかりと教える。そして翌日の課題を出し、それを家に持ち帰ってでも添削をする。校長先生のご指導の下で、私どもも優れた子供たちを育てるために、理念と理想のある教育体制を作っていきたいと思っています。

明大明治の「個々ブランド」を強くするという中で、優秀な生徒、潜在能力が高い生徒を確保する点に関して課題等がありますか。

金子 今、学校の評価基準は、東大を頂点とする高偏差値のところに入れることが最重要で、社会評価もそうになっています。飯田教務理事が言ったように、昔



だったら、様々なところに色々なタイプの人が出て、優れた成果を出さなくても信念を持ち、苦しいときにそれがばつと花開くこともあったけれども、今は大学側も偏差値ばかりを重視して、付属に対しても学力のない生徒は取りたくないなどと言われてしまう。それ以外の野球が強い、何がうまいなどという生徒は、取ってもらえなくなってきた。

大学側が考えを改めてくれれば、独特な人間を取って、育ていくこともできる。ある生徒は勉強ができる、ある生徒は野球がとてつもない、ある生徒はボランティアなど、それぞれの個性に応じた強さと魅力が一つ一つ出てくるでしょう。でも、今言ったように評価基準が一律です。個性のある、個性をブランドとするような子供の教育は、展開しにくい。

そのような中で、私が明大付属の個性を言うなら、うちの生徒たちは紳士で大人しく、それでいて粘り強く、人間的

に信頼できる。これは、一つの価値だと思っています。付属に行って初めて分かったことは、うちの教師たちは、生徒のことをよく知っている。「何年前に卒業したあいつは……」と話し出すことに驚きました。大学だとすぐに忘れてしまうけれども、なぜそのようなことになるのか。付属の教師は、長い間動かない。これはとても大きな財産で、公立中高の教師にはあり得ないことです。学校の歴史も、生徒一人一人についてもよく知っている。大学で問題を起こすと付属に資料を持って来て、こんな学生では困ると言われればすぐに呼び出して教育できる。このようなことは、一般人試の学生にはできません。

このように、付属の生徒、卒業生とのつながりはとても強い。その延長で、尾島さんの総明会というようなOB会ががっちりある。中学高校を6年間過ごして、愛着や帰属意識といいますか、これがブランドです。これは宝なのです。

尾島総明会会長(以下、尾島) 正直な話、私の中学高校の記憶は、あまり楽しい6年間ではなく、自分が花開いたのは、

大学へ行つてからです。明治大学の学風と、ゼミの先生に非常にかわいがってもらったことで、本当に明治が好きになりました。結局、それを培ったのは、明治中学・明治高校だったのです。

付属に入ってくる生徒はそれなりの学力を身につけていますが、その学力がいつ花開くかは、個人個人の能力差があります。ですから、校長の今のお話のような方針を考えていただければ、私たち同窓会としてもありがたい気持ちです。私も20年同窓会をやっていますが、毎年毎年、我々の頃よりもさらにレベルアップしています。同時に、明治が好きな人間がこんなにもいる、それだけで同窓会をやっているようなものです。一時的に付属生徒の学力が落ちて、その部分だけで見ていただきたくないですね。

金子 本当にそうです。付属出身の学生は、大学に入学時は成績が悪い者もあるかもしれないけれども、いろいろなことをやっているから、出る時にはトップクラスに躍り出る。

飯田 学部長と校長の両方を経験している、金子先生の気持ちはよく分かりま

す。私のゼミの付属出身の学生も、就職は皆よいところに行っています。つまり、彼らはみな人柄が良く相手に訴えるパワーがあるということだと思っています。

日高 今、非常に希望者の多い学部、あそこには行きたくないという学部、これをどのように配分しているのですか。

金子 直系付属のありがたいところは、高校Ⅲ年生が250名いるとすると、各学部から来ていいという枠が、約300あるのです。高校Ⅱ年修了時、親・教師・生徒本人を交えた三者面談で生徒たちの希望を聞いた上で、理系用、文系用の勉強をします。次に、規定の基準点を取った生徒には、自分の一番行きたい学部を申告させます。そして、その通りに推薦する。

そうすると、今年は少ないではないかという学部もあります。時代時代に応じて子供たちの心は揺れ動くから、仕方がない。せっかく枠を与えているのに、来ないではないかという学部、

枠を埋めてほしいという学部も時々あります。しかし、無理してそこへ押し込めば、今度はミスマッチで不本意入学になる。それは、学部にとっても生徒自身にとっても不幸なことなのでできません。

日高 大体90パーセント以上は明治に來ていますね。結果的に、振り分けはうまくいっているのですか。

金子 ある程度はうまくいっているが、ある学部、ある学科ははみ出てしまう。一部とは言え、個々の生徒から見れば不満です。進路指導の教師が因果を含めて、「おまえの成績では行けないから、ここを志望しろ」と、不本意入学につながりかねない事態も発生してきています。



飯田 女子生徒の卒業生も出て、随分と志望も昔と変わってきています。それに合わせて大学も高校も意識を変えていかなければなりません。

日高 付属の特徴を生かさなければ、それが何のためにあるのか分からない。



もう一つ、小学校も含めた新しい付属像に対する希望があるが、せっかく付属校を創っても、明治が輝かなければ生徒は来ない。明治が輝けば、付属はもう大丈夫です。ただし、寄り掛かりだけではいけないから、校長の方針に大賛成です。

金子 3年半でいろいろなことをやりました。付属と大学の在り方を協議して、付属が推薦した生徒は、各学部がその通り自動的に取っていくような仕組みを作ってほしいと、お願いもしています。

日高 議論もなしに全部校長の言うことを聞けということは無理かもしれない。しかし、枠組みをきちんと決めることを、私も推進します。

金子 もちろん、推薦水準のラインは必要です。その代わりに水準を取った生徒は入れて欲しい。そうすれば、不本意入學は基本的になくなります。

しかし、それを実現するためには、今度付属の教師が倫理観を持って、本当に真剣に教育しなければいけません。

日高 それが大前提にある。

金子 付属だから誰でも大学に行けるのだという加減な教育をされて、基礎学

力もないのに、校長が判子を押せば大丈夫などと言われたら、何もならない。これでは受け入れる大学に対しても申し訳ない。

田中 校長先生が言われた戦略への落とし込みですが、一つは募集戦略です。男女共学になり、明治大学が非常に順風満帆ことも追い風になっています。次に、

立地戦略です。いい校舎ができて、充実した施設ができました。価格戦略も実施し、奨学金・特待生制度も充実しています。

今一番足りないことは、教育の内容戦略、質の部分です。一つは、教科活動の充実で、もう一つは、クラブ活動です。この内容を充実させ、二つを両輪にしたい。周りと協調し共感できるリーダーを育ていくことは重要。そのためにはクラブ活動の中でも厳しく人間を鍛えていく。それと、教科活動が両輪になりうまく回れば、校長が自信を持って大学へ推薦できる事となり推薦交渉が必要なくなります。



日高 その裏付けは、先生の情熱です。熱意です。これがないければ、権利と義務が混乱してしまふ。

金子 校長になって、百年の歴史のある中高が、各教科のミニマムスタンダード、教科目標についての合意がないと知りました。高校Ⅲ年を卒業させるときに、各教科はどの水準に生徒を持っていく

かを決めて、学年ごとにプログラムに落とし込んでいく。中1では何をどう教えるか、中2、中3……と、人が変わるうが変わるまいが同じことを教えて、それを越えたところで各教師の創意工夫が活かされるところだ。しかし、必ずしもそうはなっていない部分があった。

向殿 基礎学力をきちんとつける、そのためのミニマムリクワイアは明確です。それが教師の仕事なのです。さらに言う、リスクのあることをやる生徒がいても、その生徒を許したほうがいい。それを抑え込むようになってしまい、みんなが大人しくなって面白くないのです。

金子 教科目標については、しつこく言いました。大学からの要求も厳しいので、英語からプログラムが出来上がってきています。

それから、付属という仕組みに教員が甘えている部分があります。俺たちは付属だから大学同様研究者で、自由な教育活動を展開していければいいという先生の中にはいます。そうすると、ミニマムスタンダードなどなくてもいいのだから、自分のやりたいことを、やりたいようにやる。でも、中等教育は大学とは違うのです。

飯田 大学も、最近は教員が自由勝手にといいことは許されなくなり、相当いろいろな形で変わってきています。

尾島 変な話ですが、今はうつ病などが社会で多いではないですか。中高の一番多感な時にあまりにも管理され、はめられては、プレッシャーが来てしまいます。私も、中高から大学に行ったとき、本当に自由で、解放



された気がしました。

飯田 そうは言っても、中高と大学は違います。大学は、基本的にもう大人の扱いをしています。高校はそうではないので、きちんと基礎的なことをやらなければならぬ。

日高 私もこの前まで付属の担当で、付属の検討という会議にも出ていたのだけれども、もしも付属でうつを出すようなことがあれば、それは大学そのものに責任があると学部長に言いました。そこまで追い込むのは、大学の在り方がどこかおかしいということです。

金子 本当ですね。

続きまして、伝統と変革について、歴代の先生方の思い出を含めてお聞きしたいと思ひます。

金子 昔、チータ(※1)と呼ばれていた体育の教員がいて、心に火をつける教育をしていたと聞いている。

向殿 いい教師とは、やはりものをよく知っていることが一つです。さらにいい教師は、

教え方がうまい。でも、一番いい教師は何をするのか、心に火をつける。教え方よりも何よりも、生徒の心に火をつけるのがいい教師だ。チータは、まさしく心に火をつける。いざというときに凄いい。

飯田 心に火がつくとは、具体的には？

向殿 要するに、やる気にさせるのです。チータ先生はすぐに手を出したので、「こんちくしょう」と思うこともありましたが、しかし、「あ、やっぱり先生は俺のこと思ってくれたんだな」と気付いて、やる気を起こす。勉強など自分が自覚を持ってやればいい、教わる必要はないのだ。そのような気にさせるところが、チータのいいところですよ。

飯田 私も中学校のとき、教師に殴られたことがあるのだけれども、心に火がつくどころか、もう全然やる気など出なかった。面白くないという思いだけ。

日高 私も、嫌な授業を受けていたらどうも態度に出ていたらしく、殴られたことがある。生涯恨んでいますよ。

向殿 この前、チータ先生を偲ぶ会があつて、亡くなつてから二十三回忌、22年たつているのに、100人集まりました。

相当慕われていたのです。

関谷総明会副会長（以下、関谷） 明治高校の庭は、昔は狭かったでしょう。われわれが中学1年で学校を見に行くと、もう裸足で、短パン1枚でマラソンをしている。このような学校に入れられるのかと、強い印象がありました。チータが指導していた。

こんなこともありました。名簿のあいいうえおの順番に名前を呼ばれ、はい、はい、はい……と返事をして、少し遅いともう怒られる。英語ができる生徒で、「英語を一つ二つ覚えても、こんなことができないやつはだめだ!」と、それを見ていて気持ちが悪かった。すつきりした。

日高 愛情の裏付けがないとただの暴力ですから、何か説得性があるのですね。**向殿** やはり、人間性です。ちくしょうと思うときはあるし、反発する者もたくさんいる。でも、これだけ集まってくるということは、何かがある。

私のイメージで言うと、明治中学・明治高校、大学も、理念、学風は変わっていない。明治といえは権利自由、独立自治、質実剛健で、真面目に、やるべきことは

きちんとやる。責任を持ってやる。そのかわり、少しはめを外すことは当然ある。ところが時代は変わっているから、時代に対応しながら教育をしなければならぬと思います。

金子 心に火をつけるという点で、永松忠雄という国語の先生は、

勉強のほうで心に火をつけたらしい。この先生は、授業中朗々と国木田独歩や徳富蘆花などを読んだ。卒業して20年ぐらいたった懇親会で、ある卒業生がすつと立つて、独歩の詩を暗唱する。みんな聞きほれて、唱和します。そうして、卒業以来の感動を呼び覚ます。国語の時間、本当に情熱的に教えたということだ。

もう1人、野木晋一郎という英語の先生がおられた。この人は非常に英語ができた人で、大変厳しい。それで、明中前から明大へ行くと、英語の教師から、「お前の発音は素晴らしい。教えてくれた先



生は誰だ」「野木先生です」となる。その先生はとても点が辛くて、落ちる者もいた。そこで先生は考え、コナン・ドイルをはじめ、いろいろな英文で書かれた作品の面白さを、授業中に話した。そこから火をつけられて、英語を勉強した。

その先生は実にイギリス風紳士で、洒落た人で、小脇にジャパン・タイムズを抱え、ステッキをつきながら教室に入ってくる。

尾島 暴れん坊でも、野木先生の授業だけはみんなビシツとするのです。もう本当にとんでもない悪がっているクラスでも、先生が静かに入って来ると、みんなスツと姿勢が伸びる。野木先生は別格でしたね。

向殿 野木先生は、学識と人格、チータ先生は、情熱と愛情ですね。どちらにしても、それだけ感化されるということは、本人に変革力がなければならぬ。

金子 つまり先生の情熱と人間性、そして本物の学識です。これがなければ、生徒は育てられない。今の明中高にも、そのような先生はいる。情熱のある授業をやってほしい。

日高 情熱のない先生はだめでしょう。情熱があれば、生徒はついてくるのです。

向殿 私が数学を好きになったきっかけは簡単で、中学のときに野呂賢という先生に、「おまえは数学ができる」と言われた。それから、野呂先生の数学の点数は、卒業までずっと百点でした。今日は何を話すか、前もって全部勉強をしていった。先生の言うことを先取りしてしまつから、試験問題は何か出るか予想して、ほとんど当たる。それほど、やりたくなる。教師の一言なのです。

続きまして、グローバル人材の話を伺います。世界に開かれた高校で、世界で活躍できる人材育成の目的で、奨学金振興プログラムが動き出したこと、また明大でも進めているイングリッシュシユトラックの中高版等の準備状況や課題、また期待などをお聞かせください。

金子 この取組みは校史に残るぐらい、

非常に大きな仕事としてやっていると思います。一つは100周年の絡みで、PTAと総明会を中心とする寄付金を原資に、鶴澤総明奨学金プログラム(※2)を作りました。それを基に、校内英語スピーチコンテストをはじめとする、様々なプロジェクトがスタートしています。

6月12日に生徒たちを集めて、スピーチコンテストをやりました。1人5分、千人の前で英語をしゃべるのだから、大変なことです。生徒たちは英語を書き、教師はそれを指導し、暗記して、身振り手振りを交えて話せるほど、精通するわけです。それを一般生徒たちが見れば、自分もやりたいと必ず思います。最後に選ばれた10人は、オーストラリアやニュージーランドに3週間派遣されますが、これを向こう10年続けていくわけです。そこから波及する教育効果は、計り知れません。おかげで、TOEICの点数も確実に上がっているし、英検の試験もほとんど受かっている。だから今は、昔の明中高とは違うレベルで英語教育が充実してきている。英語教育だけではなく、海外で直接的な体験をし、それを通じた

学びが展開されるわけです。

もう一つは、本校で初めて上海に海外提携校を持ちました。建平中学という中国トップクラスの高校と、明高が握手をした。基金から奨学金を出して、女子7名、男子4名が11日間の在外研修に参加しました。

潤沢な付属独自の奨学金を作り上げることによって、極めて独特なプログラムを持つことを、単に1年ではなくて、10年のスパンでやる。その波及効果は非常に大きい。

向殿 生徒自身の人生への影響も大きいですね。それは一生心に残ります。

関谷 私も明治大学が募集した夏休み海外英語研修によって、ロンドンに2週間ぐらい行き、その後ヨーロッパを回って来たが、様々なことを学んだ。そのときロンドンの先生に、「あなたは将来、何になりたいのだ」、「家業の肉屋です」、「じゃあ、大学行くことないじゃないか」と言われました。ロンドン流の考えです。日本の考え方とギャップがあり、英国人はそのように考えるのかと思いました。

金子 もう一つ、明治大学は現在、各学

部がイングリッシュストラックという英語による専門授業コースをやり始めています。つまり、このイングリッシュストラックは、例えば英語で経済学をやる、法律学をやる。その授業を積算して卒業単位まで来たら、日本語の授業を聞かず卒業できるというものです。それに対応できるような仕組みを付属でも作りたいと

理事会に申し出、このことを理事会は1人の生徒の増員がない中、8人の教師の増員を認めて頂いた。その教師は、中高の免許を持っていることは当たり前で、各教科について水準以上の能力があり、TOEIC730点以上の者を募集しているが中々いません。ただこのシステムができると、英語で各教科を教えられる。このようなカリキュラムを持つ付属校は、日本にはまだありません。私は、最も先端的な教育システムを、ここ10年で付属に導入したい。

飯田 いわゆる新しい制度ですから、組合との折衝事項もあります。きちんと手続きを踏んで、ある程度は中身の議論もしながら進めていくつもりです。

金子 イングリッシュストラックの話を聞

いたある大手塾のトップに、「そんなことをやっている付属校はほとんどない。ぜひやってみてくれ」と言われました。ただし、筑波大駒場高校が2年以内、浦和高校も始めるそうです。この点で明高は先頭集団を走っているのです。

向殿 明治中学・明治高校は百年の歴史があり、幾つかエポックメイキングがあるわけです。戦前は、リベラルな思想で旧制明中が一つの文化を作った。元NHK会長の坂本朝一さん、明大総長をやられた島田正郎さん、慶応の塾長石川忠雄さん、青学総長の鶴澤昌和さんなど、明中出身です。戦後、今度は付属になつてから、堅実に今の明治中学・明治高校の文化を創つていった。

今回の教育プログラムは第3代目です。西調布に移つて、金子校長というトップの下、新しい文化を創り始めた。そのような歴史はとても大事ですが、根底に流れるものは何かといったら、明治の自由さと個の尊重にあるのだと思います。

なるほど。その良き伝統は守り続けていく必要がありますね。さて、このグローバルプログラムの実施により、生徒の学

習意欲や意識に変化がありましたか。

吉田 生徒の世界に対する意識は、確実に上がっています。昨年、建平中学の第1回訪問団を引率しましたが、予想以上の応募で、建平側に増員をお願いしたぐらいです。特に、女子に積極性があります。建平研修は女子が7名、男子が4名で、今回のスピーチコンテストも、本戦に残った10名のうち女子が8名で、女子の関心がより高いようです。

中国は受験が厳しいですから、本当に必死に勉強をしている建平の学生を見て、自分たちもこのままでは追い抜かれてしまうという危機感を持っています。また、明大に進んでから、グローバル30のような国際化の中心になりたいという意識も強く芽生えたようです。今年は建平中学を受け入れる予定で、来年はまた私たちが訪問します。そのような生徒たちがどんどん増えていくと、明治大学全体のグローバル化に大いに貢献できるのではないのでしょうか。

金子 留学に対する潜在需要は大きい。建平研修もスピーチコンテストも、定員に対して2倍、3倍の応募があり、

その中からセレクトされています。

最近の明高生は偏差値が70前後で入学するなど基礎学力も潜在能力も高いですね。その生徒達の心に火がつき、鍛えることができれば期待が持てますね。

田中 強い動機づけのもとで、グローバルプログラムへの食いつきが非常にいいことは間違いありません。海外に留学する際、1年間行くと、通常卒業に4年かかるのですが、3年で卒業させるなどの制度改定も検討中です。教育で、将来の夢を拓いてあげたい。

飯田 グローバル人材の第一条件は、コミュニケーションがきちんとできることです。今、中高でやっていることが、大学の取組みときちんと連動することが大切です。

もう一つは、心構えです。グローバル人材としてどのような心構えを持つか。これは、実は鶴澤先生の教え



のままでいいのです。第一級の人物たれと。第一級の人物とはつまり、差別をしない。他者との差異性、違いを認める。差異を認めて、そこに差別や偏見を持ち込まない。どのような分野にいても、どのような職業に就いても、これが第一級の人物の一つの条件です。今まで同様、ぜひこれからも続けていただきたい。

英語など、海外に行けば誰でも話せるようになります。まだまだ、そのような機会がないだけです。大学もこれから多様な仕組みを作って、付属ときちんと連動していきます。そして、高校でそのようなことをやってきた生徒は、慣れているし自信があるから、明治大学でも中心になれる。明中高の卒業生は自由奔放の中心だったけれども、それを維持しつつ、グローバル

化の中心にもなる。もう間違いないです。第一級の人物になる教育をお願いしたい。

向殿 次の時

代、英語で中心になれたらいいね。

金子 心構えは、うちの生徒たちは優れたものだと思います。

日高 世界で働くことが当たり前な時代なので、国際人という意味では、英語力は当然必須条件でしょう。大学入試の英語よりも通常の会話ができて、自分が関わった専門の言葉を勉強して、対応することができると。そのようなグローバル人材を育成すべきです。

明治大学はグローバル時代における国際人が交流する拠点になると、コンセプトで決めています。企業も、すぐに通用する英語力を身につけている人を欲しがっている。当然、大学では対応していきますが、付属校におけるグローバル人材戦略がどこまで進み、どう将来に結びついていくのかが重要です。

金子 自分の学問をどこまで積み上げて、実践の中で活かしていくのか。それは大学教育に託される課題で、ぜひやってもらわなければなりません。しかし大企業でも、重役になるためにはTOEIC何点以上でなければならぬなどと評価する。世の中の評価法がそうである以上、

評価に合わせた教育をしなければならぬジレンマがあります。

日高 国際人として活躍するためには、最低700点でしょう。会話だけができればいいと言っているわけではありません。

金子 高校3年を卒業するときには、最低470点は取れる基礎を作っています。大学4年間の伸び代があるのだから、プラス200点ぐらい自分でやれるだろう。それを期待します。

田中 英語はただの道具ですが、とても優れたツールです。中高では、そのスキルを上げると同時に、母国語である日本語をしつかりと身につけさせることが重要です。その為日本語によるエッセイコンテストなどの開催も検討中です。中高時代に様々な教科を幅広く勉強しながら、他の国の多様性を共感できること、人に関心を持てる生徒を育てていきたい。例えば拙い英語であっても、堂々と意見を述



べたり、考えを通したりできる。これらは人間教育に力を入れる私学でなら出来ることだと思います。明治高校から世界に羽ばたく人物を輩出するということを念頭に置いて、育てていきたい。

飯田 明大は、少し前までは国際化が遅れていたが、ここ何年かの取り組みは大変素晴らしい。グローバル30として、30校が国際化の拠点校に選ばれる中で、当面の選抜13校の中に明治大学も入っています。グローバル30やグローバルCOEなど、最先端の大学になりつつある。加えて、最近では文科省のGP (Good Practice)、よき実践にもなっています。

日高 明治大学は代議士も、大企業の経営トップも少ない。それ以上に起業家をもつと輩出しなければなりません。それは新しい雇用を生むし、国家にとって、母校にとつても一番良い。この間も

『週刊現代』で、明治の学生は好青年と書かれたが、それだけになってほしくない。特に付属は特色のある人材を輩出する一流校であってほしい。

金子 大学の評価は、やはりOBの活躍が決まる。OBの活躍を目標に、大企業に入る、あるいは起業家になる。バイタリテイのある卒業生を、大学として輩出してほしい。もちろん、そんな人間こそを、付属は育てなければなりません。

向殿 これは大学の問題です。例えば明治大学理工学部でドクターへ進んでいる学生は、明高出身が非常に多い。明高卒は、大学院まで行つて勉強したくなる者が多いのです。他にも、いろいろな分野で活躍をしています。

金子 今年、学部の卒業生が5人、国家第一種を取った。そのうちの2人が明高出身なのです。明高が育てたからこそですが、それは出身学部の手柄になる。学部長表彰がありますが、明大明治校長表彰はありません。そのような制度も作りたいと思っています(※3)。

向殿 明高の教育が、そこで花咲いたのですね。だから、明高をもつ少し宣伝し

たほうがいい。明治大学の中核になって
いるにも関わらず、皆が知らないだけな
のです。

OB会の立場から如何ですか。

尾島 私は10年ぐらいい前に、向殿先生
から非常にいいアドバイスを頂いて、今
もそれを指針としています。人間の人生
というものはウォンツ、ニーズ、シーズで
ある。ウォンツ、自分の希望どおりにいく
人間は、ほんの数パーセントに過ぎない。
ニーズ、一生働くわけだから大事なこと
だけれども、ほとんどの人間はシーズで
生きるのだ。要するに、種をまけ。その
場所、住めば都になるように、自分を
磨け。大学が望んでいる人物像、超二流
の人間とは、社会的に勝利する人間にな
れという意味も一部分あるでしょう。

でも、総明会の会員を見るといろいろな
人間がいるわけです。その会員同士が
常に情報を取りながら仲良くやってい
く。加えて学校を支援していく。この二
つのポリシーは今後も変わることはあ
りません。総明会自身がこれから50年、
100年とやっていく上で、昔のポリシー
を継承していくことが大事です。もう一

度申し上げますが、総明会にはリーダー
になる会員もいれば、そうでない会員も
いる。でもやはり同窓生ですから、みん
なで和気あいあいとできることが我々の
務めです。それを常に考えています。

関谷 明大の卒業生は本当にたくさん
いて、いろいろな業界で活躍しています。
重要な役割に随分就いています。明高
は、われわれの頃は商業の子が多かった。
それがいつの間にか、随分変わってきた。
何も政治家になるだけが主ではないと思
います。

尾島 総明会の後輩たちを見てみると、
親孝行をしている者が多い。これは、本
当に宝だと声を大にして言いたい。これ
が明大付属の良いところで、今の日本に
欠けているのではないだろうか。そし
て、困難も逃げずに乗り越えていくとい
うスタンス、これも非常に自慢に思っ
ています。

尾島 会長は以前の会報誌に、「学力の
蓄積だけではなく、生きる力と生きる知
恵、これが人間教育で、強い個性につな
がる」と書かれていましたね。

尾島 私が育ち、今もいるところが京橋、

八重洲で、老舗企業が多いのですが、み
んなが共通して言うことは、*「ぶれるな、
確信を常に持て、判断を即決しろ」*
ということ。また、懇意にしている四
百年企業の扇子屋さんは、*「二のことは
やるな」*と言う。余力があっても他に手
を出さず、質素儉約をしろうということで、
みんな長い商売をやっています。

日高 素晴らしい。日本の誇りです。二
百年、三百年、四百年も続いている企業
は、世界に多くはない。

尾島 質素儉約、整理整頓など死語に
なっているが、このようなことがとても大
事だと感じています。

飯田 「二のことはやるな」とは、いい話
ですね。だから、長寿企業が世界の中で
日本が一番多い。

**体育部顧問の経験がある先生方に文武
両道について伺います。**

飯田 明治大学と明中高では、文武両
道と言っても全然意味が違います。いわ
ゆるチャンピオンシップを争うようなス
ポーツは、大学でも力を入れなくてはな
らない。大学は国全体のスポーツの担い
手でもあるからです。それはもう、別の

世界です。

大学での文

武両道の凄さ

は、卒業して

初めて分かり

ます。体育会

の学生は、卒

業すれば圧倒

的に頑張る。体の鍛え方も、頭の鍛え方

も違う。抜きんでているからです。社会

に出たら、すぐに一流になれる素材がた

くさんいます。付属は、ある意味では甲

子園に出てもらいたいし、花園に行つて

もらいたい気持ちがある一方で、いろい

ろなスポーツに挑戦しながら体を鍛える

というのが理想です。そこで初めて、文

武両道という言葉が当てはまるのではな

いか。

金子 文武両道は、口で言うは易し、行

うは難しです。甲子園に行つてくれと

言われても、それだけでは文武両道には

ならない。勉強も必要で、そうでなけれ

ば現状では学部に入れないかもしれない

い。そこがジレンマです。一つは、組み

なのかもしれません。甲子園に行けるよ



飯田 付属に

うな生徒がい
たら、最低限
の学力は付け
させるので、大
学はきちんと
受け入れてほ
しいです。

甲子園に行け、花園に行けと言ったら、
その生徒は責任を持つて大学は取らな
ければならないでしょうね。

金子 明治大学のアスリートには、素晴

らしい選手がたくさんいる。

向殿

もう付属校は、偏差値ばかりはや

めましょう。

今までの話をまとめると、明高は、一定レ

ベル以上の学力のある生徒を大学に送

る。大学側は受け入れる。生徒も先生

も安泰とすることなく、気付きをもって

行動していくと良いでしょう。

金子 そのような仕組みを作つて、付属

の生徒も教師も、情熱をもつてやる。

日高 最も大切なことは、積極性、挑戦

する心、情熱、リーダーシップ、そして、大

きな志を持つこと。私はそれが、個を強

くする基本だと思っています。ただ就職し
ようという勉強だけではなく、社会で貢
献しようという心構えがある、そのよう
な人材を育成していきたい。社会のため
になるトレーニング、リーダーシップを養
う。それは決してできないことではなく、
絶対にこれからもオール明治が捨てては
ならない、原点だと思っています。

付属は、最もそれができる訓練の場です。
ぜひ付属も、物事に積極的に取り組む
こと、知恵を出すことを主体として、
中学校からトレーニングしてください。

向殿先生から生徒に対するアドバイス

はあります。

向殿 常に明るく、前進あるのみです。

百年後も明るく、前向きに行こう。世の

中はポジティブに行つたほうがいい。ポ

ジティブに、倒れても前へ。それが明治

の良さです。いろいろなことがある、ひ

どい目にもあつたこともあるけれども、それ

でも前へ。

金子 やはり、個を強くする。社会的な

評価などは別にして、それぞれ、その場

の場で輝く個であつてほしい。最後に格

好の良いいことを言います。聖書に、「木

はその実によって知られる」という言葉があります。木が良いか悪いかは、成った実で分かる。つまり、卒業生が立派になつて成果が出れば、「そうか明治大学とはそういう大学か」と評価されるのです。

向殿 大学は卒業生によって評価されることですね。

最後に関谷副会長から締めめの言葉ををお願いします。

関谷 本当に素晴らしい意見がたくさん出て、勉強になりました。やはり、理事長が言うようにチャレンジです。私も、中高はプラスバンドをやっていました、大学でチャレンジして少林寺拳法部に入りました。そこで鍛えられて今は監督をやっています。私の他にもフエンシング、ゴルフ、空手等の監督や、助監督、理事など、明高卒業生は大変な数になります。そのぐらい、実は成っています。

これから百年以上、良い実を沢山付けてもらう木になるように、われわれみんなで頑張っていかなければなりません。ということで締めくくりたいと思います。本日は皆さま、長時間にわたり有難うございました。

「座談会を終えて」

新しい100年は、今以上に輝きを放っている母校であってほしいとの思いから、本音ベースで明大明治に対する基本的な考え方、具体的な取り組み、課題、要望などを語っていただきました。ではなぜこの座談会が実現したか？

ご出席者及び多数の関係者一同が、質実剛健に裏打ちされた自由性と多様性の伝統を引き継ぎ、第一級の「心・知・体」を伴う人物を世界に向けて輩出していきたい」との想いを共有していたこと、もっと単純に皆、本当に明治が好きでよくしたいと思っていたからではないでしょうか？



司会を務めた
と、義明
先生、岩月
吉田、田中
から幹事学

また「木はその実によって知られる」、卒業生の輝きが母校への貢

献につながる。今以上に奮起しないといけないと感じました。

最後に、座談会開催に向けて、大学・高校・総明会各関係者の絶大なる御支援とご協力を賜りましたこと、この場をお借りしてお礼申し上げます。

司会・編集・昭和60年卒 関紺会

岩月 義明

関紺会は、私が高Ⅲの英語を担当した教え子達である。今年2月、会報委員が数多くの企画案を持ってきた。100周年記念でもあり、彼らの熱い心意気を感じた。私も学校側の窓口として、この座談会を何とか実現したいと思った。その後、各方面との調整を進め、岩月君との打ち合わせを重ねて本番を迎えた時は感慨深かった。

明治大学も本校も新しい時代を迎えている。この座談会が本校の将来を考える一助になってくれれば幸いである。

明治大学付属明治高等学校・中学校

総務主任 吉田 重幸



今も知ろう！ 明中生・明高生を解析！

特集2



闘紺会の同期から「娘を明治中学に入学させたいが、今の生徒はどれくらい勉強して合格したのかな？」との素朴な思いからスタートした、“現在の生徒像を知りたい！”。その答えを直接生徒にアンケートすることで解き明かす。アンケートは、中1～高IIIの6学年各1クラスに対して実施。先生方の多大なるご協力のもとで、ホームルーム等の時間等を利用して回答してもらった。

どこから通っているの？

1959年当時は生徒が、圧倒的に東京都・区部、特に城東から猿楽町校舎に通っていた。通学圏の拡大や交通網の発達によりその比率が段階的に低下するものの、本年度総明会幹事学年の高Ⅲ時（1984年）においても6割超えの水準であった。2008年以降東京都・市部からの生徒が飛躍的に増えて区部と市部とで拮抗、今回の調査において、市部からの生徒が区部を上回る結果となった。また区部の内、城西からの生徒が多い。下町っ子が激減していることが分かる。他県においては、千葉県から通う生徒が、1984年は17.6%だったのが、現在は1.0%と激減している。



下町っ子が
激減したのは校舎が
移転したからね。

年度		1959	1980	1984	2002	2008	2012
東京都・区部	都心 千代田、中央、港	88.5%	68.7%	3.7%	52.1%	36.1%	0.5%
	副都心 新宿、文京、渋谷、豊島			7.4%			2.4%
	城東 台東、墨田、江東、荒川、足立、葛飾、江戸川			31.5%			4.9%
	城南 品川、目黒、大田			6.9%			5.4%
	城西 世田谷、中野、杉並、練馬			10.2%			21.0%
	城北 北、板橋			5.1%			1.5%
	東京都・区部 合計			64.8%			35.6%
東京都・市部		1.3%	4.7%	5.1%	7.4%	34.0%	37.1%
神奈川県		2.5%	9.1%	6.0%	14.4%	18.2%	17.1%
埼玉県		3.1%	7.9%	6.5%	13.4%	9.4%	6.3%
千葉県		4.6%	9.4%	17.6%	12.3%	2.3%	1.0%
その他		0.0%	0.2%	0.0%	0.4%	0.0%	2.9%

保護者の職業は？

会 社員比率が60%超となっている。次点は自営業、公務員と続く。過去の統計資料がなく明確に比較できないが、1984年当時の同期生の半数以上が自営業であったことを考えると隔世の感がある。



昔は自営業の社長の息子が多かったのよね。

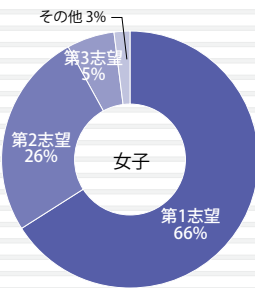
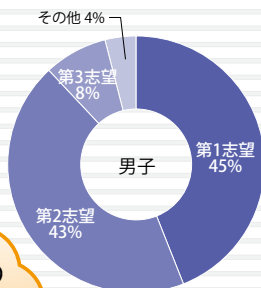
保護者の職業	
会社員	62%
自営業	18%
公務員	7%
専門職	1%
その他	12%

本校は第何志望だった？

中 高全体で見ると第1志望は53%、第2志望は37%となるが、男女で比較すると、女子の第1志望が66%と、男子を21ポイント以上離している。



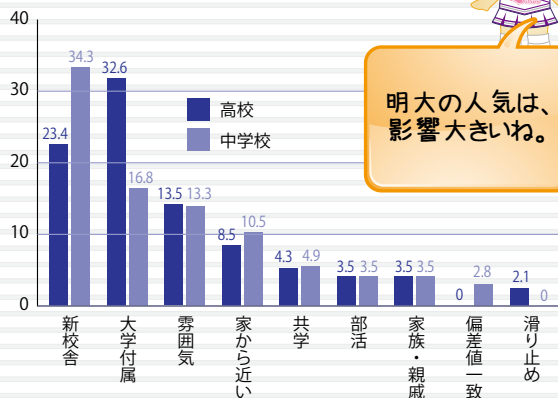
この第1志望の比率の違いは何だろう？



本校志望理由を教えてください。



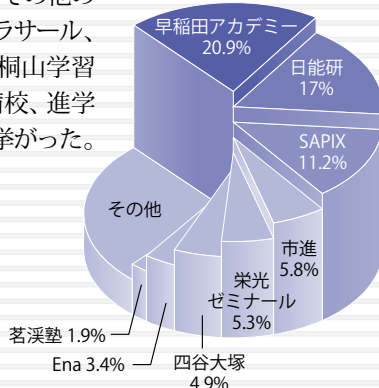
明大の人気は、影響大きいね。



新 校舎の魅力が第1位、大学付属で受験がないことが第2位の志望理由となった。高Ⅲ、高Ⅱでは大学付属を志望理由としている比率が高い。なお、就職率がよい、明大野球部に入部したい、明大の一番人気、授業体験が楽しかった、プールがないところ等の意見もあった。

学習塾はどこに通っていたの？

早 早稲田アカデミーが中学・高校共に1番人気だ。日能研、SAPIX、市進と続く。その他の塾としては、おぎしん、ラサール、学協、egg、創研学院、桐山学習指導会、希学園川崎予備校、進学舎、志学舎などの名前が挙がった。



塾に通わなかったと
解答した生徒は3名、
素晴らしい！

受験時、塾以外で毎日平均何時間、勉強した？

塾 塾以外の勉強で4時間超がNo.1と驚く結果。明治が難関校になり、勉強しないと合格できない状況を映し出している。全般的に女子のほうが、長時間勉強している傾向がみられる。入試合格最低点も、男子より女子のほうが10数点も高いと聞く。男子も頑張れ！



今どきは、
コツコツ勉強する
生徒が多いんだ。

家での受験勉強時間	高校			中学		
	男	女	割合	男	女	割合
1 時間以内	16	3	17.9%	10	7	17.3%
2 時間以内	9	7	15.1%	16	12	28.6%
3 時間以内	16	7	21.7%	15	3	18.4%
4 時間以内	8	7	14.2%	4	5	9.2%
4 時間超	12	9	19.8%	13	11	24.5%
無回答	7	5	11.3%	1	1	2.0%

本校に入学して良かった点は？

全般的には、新校舎がきれいで設備も整っている、良き人間関係を構築できた、先生が良い、部活がきちんとできる、などが上位を占めた。その他回答としては、付属校、教室・トイレがきれい、伝統がある、授業が分かりやすい、偏差値も高く自慢できる、制服がよい等の回答もあった。



昔だったら、校舎の魅力が一番なんて回答する生徒なんていなかっただろうな。

- 第1位 新校舎できれい 16.0%
- 第2位 良い人間関係 15.2%
- 第3位 設備充実
(グラウンド、図書館等) 13.9%
- 第4位 先生が良い 8.9%
- 第5位 部活がちゃんと出来る 7.2%
- 第6位 学校生活が楽しい 6.3%
- 第7位 雰囲気良かった 5.9%
- 第8位 のびのび/自由 3.8%
- 第9位 成長出来た/強くなった 3.0%
- 第10位 家から近い 2.1%
- 第11位 付属校 1.7%
- 第12位 教室・トイレがきれい 1.7%

高校卒業までに身につけたいことは？

- 第1位 英語力・語学力 38.2%
- 第2位 社会人基礎学力 6.9%
- 第3位 資格取得 6.9%
- 第4位 主体性・得意分野探し 4.3%
- " 一人暮らし力(自立心) 4.3%
- 第6位 スレゼン力・コミュニケーション力 3.4%
- 第7位 礼儀・挨拶 3.0%
- 第8位 社会で踏ん張る力 2.6%
- 第9位 パソコン(情報処理)力 2.6%
- 第10位 リーダーシップ 1.3%
- " 生活習慣(勉強するくせ) 1.3%
- " 教養・常識 1.3%

第1位は英語力・語学力、2位は社会人としての基礎学力、資格取得を身につけたいと考えている。その他少数意見としては、状況判断力、プラス思考、数学、体力などがあった。



語学力向上は最大の一芸なのか？
世界へはばたけ!!

本校の良いと思う伝統は？

良い伝統	割合
応援団	16.0%
行事（文化祭）	10.4%
独立自治の精神	6.6%
質実剛健	5.2%
先輩との良好な関係	4.2%
団結力	3.8%
クラブ活動	2.8%
紫色・紫紺	2.4%
明治大学にいける	1.9%
六大学野球	1.9%
学生が明るい	1.9%
男気	1.4%
愛校心	1.4%
校歌	1.4%
OB の存在	1.4%
挨拶	1.4%

やはり1番は応援団、次いで文化祭等の行事、独立自治の精神となっている。その他回答としては、明大にいける、六大学野球、学生が明るい、男気、愛校心、校歌、OBの存在、挨拶、自由な校風、適当感、真面目などの意見があった。



応援団No.1だけど、
男子団員大募集！
社会人になっても
通用する稀有な
経験にもなるよ！

進路希望学部等はどこ？

商学部、政治経済学部、理工の順で人気がある。中学生の回答は半数以上が“まだわからない”との順当な結果が出た。



相変わらず、
商学部・政経学部が
人気ですね。

進路希望学部	高校	中学
商学部	22.5%	7.5%
政治経済学部	22.5%	7.5%
理工学部	8.1%	10.4%
法学部	9.0%	3.8%
農学部	4.5%	3.8%
国際日本学部	4.5%	1.9%
文学部	2.7%	2.8%
明大にない学部	0.0%	4.7%
国公立大学	3.6%	0.0%
情報コミュニケーション学部	1.8%	0.9%
総合数理学部	2.7%	0.0%
経営学部	0.0%	1.9%
まだわからない	14.4%	54.7%
無回答	1.8%	0.0%

将来、就職したい職業は？



どの道に進んでも
他に負けない
第一級を
目指そう！

第1位	教員・公務員	9.1%
第2位	会社員	6.3%
第3位	弁護士・検事	3.4%
第4位	研究職/エンジニア	2.9%
"	メーカー(物づくり)	2.9%
"	公認会計士	2.9%
第7位	アナウンサー/TV局	1.9%
"	芸能(演劇・ダンサー)	1.9%
第9位	自営業(家業)	1.4%
"	サービス業	1.4%
第11位	スポーツ選手、外交官/国際機関、SE、漫画家、マスコミ、金融、旅行、キャビンアテンダント	1.0%

教員・公務員が第1位であるが、会社員(=会社から給与支給)とすると、比率は18%に跳ね上がる。保護者もサラリーマンが多いための結果ともいえる。また未定・或いは回答なしの比率は中学で48%、高校でも45.4%の結果となった。



好きな芸能人や有名人は？

合計114名の芸能人や有名人の名前が挙がった。生徒数だけ好きな芸能人や有名人がいることがわかった。その中でも、女子だけで票を集めた嵐(男性アイドルグループ)、男子だけで票を集めたスギちゃん(お笑い芸人)が3.4%で1位、次点として長友佑都(サッカー選手)、北川景子(女優)、新垣結衣(女優)が続く。明大の卒業生として、長友佑都、北川景子、向井理(俳優)が上位にいる。

みんなバラバラ
個性的なんだね。
集計が
大変だった！

第1位	嵐	3.4%
"	スギちゃん	3.4%
第3位	長友佑都	3.0%
"	北川景子	3.0%
"	新垣結衣	3.0%
第6位	向井 理	2.5%
"	いきものがかり	2.5%
第8位	桐谷美玲	1.5%
第9位	渡辺麻友(AKB48)、Kis-My-Ft2、堀北真希、Mr. Children、KARA、竹之内豊、佐々木 希、ノースリーブス(AKB48)、大島優子(AKB48)	1.0%

学校移転により通学圏は西にシフトし、自営業の保護者が激減している等、想定以上に生徒を取り巻く環境は変化している。現役生徒が同窓会を開催するときは、同窓の飲食店ではなく、インターネットから店を探すのかな、と余計な心配をしてしまう。一方で本校の良いと思う伝統は？などでは、昔も今もそれほど認識は変わっ

ていない。この辺りは脈々と続く伝統の継承が行なわれているのかもしれない。調布の地において一都三県から万遍無く生徒が集まる"天下の明治"を目指して欲しいと思います。ご協力戴きました諸先生方、生徒の皆様有難うございました。

昭和60年卒 闘組会 大貫俊隆(企画・アンケート) / 岩月義明(集計・分析)



小 5・6

町男子校時代の紫紺祭を見学。応援団の舞台を見てその一体感に感動、憧れを抱き、明治中学に入学（女子1期生）。共学化で

男子高の伝統が無くなっていくと聞き、憧れていた部分が無くなって欲しくないと思うた。小学生時、学芸会の裏方などが好きだったこともあり、生徒会本部に入り、学校が少しずつ変化していく様子を目の前で見てきた。そのうちにもっとこうだったら、ああしたらしいのと思うようになっていたところ、同級の水谷さん（現副会長）に「一緒にがんばってみない？」と声



生徒会本部 生徒会会長 高Ⅱ 芦沢 柚香
(陸上競技部)

を掛けられたこともあり、生徒会長立候補を決心。今年1月の選挙で当選し、4月に就任。

「役職は予想以上に大変で、毎日がとても忙しいです。学校を今までは違う視点で見ることができ、また詳しくなりました。1年という任期ですが、私のできることを精一杯頑張りたい、少しでもこの学校のために何かしていけたらうれしく思います」

頼もしくも、笑顔ではきはきと答える芦沢さんは、猿楽町近辺で生まれたという。初の女子生徒会長となったのは、きつと運命だったに違いない。

初の女子○○長誕生!!

共 学化初年度は

面白そうと考え、明治中学に入学。反面、男子の割合が多いことに驚いた。女子1期生なので、自分達で何か作り上げていけたらという思いもあり、応援指導班チアリーディング部に入部。その後、中学生生徒会副会長に立候補するも落選。「あの時は男子の組織票に負けました」と笑いながら答える。



生徒会本部 生徒会副会長 高Ⅱ 水谷 百花
(応援指導班チアリーディング部)

きています。が、中学・高校全体で先輩・後輩の仲が良いことや、ノリが良いことなど、男子校時代

からの良き伝統は受け継がれていると思います。芦沢さん（生徒会長）と共に、この1年間、頑張っていきたいです。また、4名と少なくなってしまう応援団リーダー部を絶やさないでいって欲しいです」

この夏、高校野球・西東京大会で懸命に応援するチアリーダーの中でも、ひと際張り切って応援する水谷さんに光るものを感じた。

「男子校だったというイメージは少しずつ変わって





本

学志望理由を聞く
と「小さい頃より明

高OBである父(昭和59年卒)から明治の良さは聞いていたと思いますが、明

高志望は父の勧めではなく、自分で決めました」と真剣な眼差しで

きっぱりと答えた。入試の時期が近づくにつれ、

睡眠時間を減らし、一日7時間勉強した。

「入学してみて、学校全体に一体感があり、雰囲気が良いと感じました。

新入生歓迎会での応援指導班を見て感激し、挑戦してみよう

と、応援指導班に入学しました」

応援指導班の同期に男子がいらないこともあり、高II

と、応援指導班に入学しました」



応援指導班 団長(班長) 高Ⅲ 押田 華穂

の秋、同期女子の中から次期団長に指名された。

「中学の時に生徒会長をしていたこともあり、人をまとめるということには嫌いではありません」

今後の明高について

は、「伝統は伝えていくものもあり、自分たちでつくっていくものもあります。変えていくものは変えていくつもりで、時代に適応していつてもいい」

精神な顔つきで真剣なものに、校歌のエルをきる押田さんを見て、

同期の応援団OBは「自分の代の団長より上手い」とニヤリと笑った。

調布へ移転、共学となり5年目、創立100周年を迎えた本年、創立以来初の女子〇〇長が誕生！インタビューを敢行した。

取材・編集：昭和60年卒 闘紺会 大貫 俊隆

特集3

明

明

大OBの父を持つが、自身、明大に入りたくて付属である明高を志望。

入学すると、男子校最後の代と一緒に、男子校の雰囲気はとても新鮮で楽しく感じたという。「同じ共学といっても、公立中学と違い、明高は、ノリが違っらしい。「先生方は女子には優しい」とも。

中学時代、剣道部であつたこともあり、剣道部に入部。明高は共学となつて3年目であつたが、2つ上、1つ上に女子部員はいなかった。同級は、男子1名、女子3名。先輩たちや北村先生に主将になることを勧められた。

「監督やコーチの先輩

「やほり共学となつて変わったことも多いとは思いますが、〈質実剛健〉〈独立自治〉など、明治らしさを後輩たちには継承して欲しいです」

真面目に受け答えし、約30名の部員をまとめる主将ではあるが、写真撮影時に、面を取って乱れた髪形を照れながら気にする大野さんを見て、剣道部OBの私は微笑ましく思った。

方にも、頑張ってみないかと言われ、やってみようと思つた」

今や剣道部も、女子部員数が男子部員数を上回つた。

「やほり共学となつて変わったことも多いとは思いますが、〈質実剛健〉〈独立自治〉など、明治らしさを後輩たちには継承して欲しいです」

真面目に受け答えし、約30名の部員をまとめる主将ではあるが、写真撮影時に、面を取って乱れた髪形を照れながら気にする大野さんを見て、剣道部OBの私は微笑ましく思った。

方にも、頑張ってみないかと言われ、やってみようと思つた」

今や剣道部も、女子部員数が男子部員数を上回つた。



剣道部 主将・部長 高Ⅲ 大野 史織

方にも、頑張ってみないかと言われ、やってみようと思つた」

今や剣道部も、女子部員数が男子部員数を上回つた。

「やほり共学となつて変わったことも多いとは思いますが、〈質実剛健〉〈独立自治〉など、明治らしさを後輩たちには継承して欲しいです」

真面目に受け答えし、約30名の部員をまとめる主将ではあるが、写真撮影時に、面を取って乱れた髪形を照れながら気にする大野さんを見て、剣道部OBの私は微笑ましく思った。

方にも、頑張ってみないかと言われ、やってみようと思つた」

今や剣道部も、女子部員数が男子部員数を上回つた。

「やほり共学となつて変わったことも多いとは思いますが、〈質実剛健〉〈独立自治〉など、明治らしさを後輩たちには継承して欲しいです」

真面目に受け答えし、約30名の部員をまとめる主将ではあるが、写真撮影時に、面を取って乱れた髪形を照れながら気にする大野さんを見て、剣道部OBの私は微笑ましく思った。

方にも、頑張ってみないかと言われ、やってみようと思つた」

今や剣道部も、女子部員数が男子部員数を上回つた。

「やほり共学となつて変わったことも多いとは思いますが、〈質実剛健〉〈独立自治〉など、明治らしさを後輩たちには継承して欲しいです」

真面目に受け答えし、約30名の部員をまとめる主将ではあるが、写真撮影時に、面を取って乱れた髪形を照れながら気にする大野さんを見て、剣道部OBの私は微笑ましく思った。



特集4 恩師からのメッセージ

年間テーマを掲げ活動している闘紺会へ
高Ⅲ時の担任の先生5名からのメッセージ

「闘紺会」から「新世輝」へ

昭和60年卒高ⅢA組担任 山田 伸夫

本 校が100
周年を迎え
た記念すべき年に
「闘紺会」の皆様が
幹事学年であるこ
とに不思議な縁を
感じます。干支で
考えますと丙午・昭和41年生の
多い学年です。創立後百年間で
丙午生まれは唯一この学年だけ
です。十干十二支で考えますと
昭和28年生（癸巳）から昭和46
年生（辛亥）までの19年間も唯
一ということになります。なぜ
この学年が強く印象に残ってい
るかと申しますと、丙午の年は
出生者数が非常に少なく、中学
受験を彼らがしてきた時に合格
発表者数の読みを誤り、中1当
時は179名3クラスと1クラ



ス60名でスター
トをし、B組の
担任を私がして
おりました。中
2になる時に当
時の校長清水義
汎先生（故人）に

校長室に呼ばれ「君に次年度中
2の「学年主任兼A組担任」を
やって欲しい」と依頼されまし
た。小生32才の時です。即座に
「生徒数が多いので4クラス編
成にして頂けるのならお引き受
け致します」と答えました。1
クラス増やすとなると単純に2
名の専任教員を増やさなければ
なりません。少し無理かなとは思
っていましたが、数日後「何と
かしてみる」との御返事を頂き、
中2、中3と4クラス編成に

なったことを記憶しております。

高校からの入学生は例年です
と100名以上はいるのです
が、この年は内部進学生が多い
ので合格者数も抑え、入学者は
確か60名弱でありました。高I
在籍者数236名（例年より30
名位減）、高IIになり222名、
高Ⅲ卒業時は216名と年々
減っていったのです。高Ⅲでは
A組を担任致しましたが、明
治大学への推薦入学率は高い
学年でした（例年ですと250
〜260名の卒業生のところ
216名であった為）。

丙午の学年であったので色々
な事件が毎日のように起きたと
いう括り方はしたくありません。
学校としても中学・高校の入学
試験で生徒数の把握、合格者数
の読みで失敗をしたのも要因の
一つだと思っています。現在振
り返ってみても、深く印象に
残り想い出をたくさん作ってき
た学年の諸君が立派に成長し、
一致団結して幹事学年を務め上

げている姿勢に敬意を表します。

明治高校の新しい百年への期
待としては「卒業生があつてこ
そ現在の学校が存在しており、
総明会の発展、学校の発展で
ある」と常に意識しております。

学校側も全員一丸となつて総
明会により一層の理解を示し、
積極的に協力することが大切で
す。OB・OGを大切にしてい
ない学校は結果として伸び悩ん
でいるのが現実です。本校は公
立校でなく私立校なのです。私
学であるからこそ出来る教育活
動全般（入試制度も含め）につい
て抜本的に考え直す時である
と思います。時代は変わつても創
立者初代校長鶴澤総明先生（故
人）の教育理念（男子校以外）は
今も受け継がれているのです。

明治高校・明治中学校は来
年度より「新世紀」の始まりで
す。「闘紺会」から「新世輝」へ
夢を継続していつて下さい。

総明会の益々の御発展を祈
念しております。

100周年史の編纂について

昭和60年卒高ⅢB組担任 藤田 昭造



全 国の高等学校
校や中学校

では、創立を記念
して各節目に記
念事業を行って
いる。記念事業は、
式典を実施するだ

けでなく、校友会館の建設や、
記念誌(校史)を刊行する学校
もある。本校には校友会館はな
いが、記念誌として、これまで
『六十年の歩み』、『明治大学
付属明治高等学校・明治中学
校 創立80年記念誌』、『九十
年の歩み』が刊行されている。
記念誌は、学校の設立に関する
ことだけでなく、そのときに至
までの変遷を知る手がかりとな
るものであるから、長期間にわ
たって資料の収集が行われ、そ

れに基づいて執
筆される場合が
多い。本校の最
新の記念誌は、
『九十年の歩み』
であるが、これ
は『六十年の歩
み』を要約し、
プラス30年間の
教育課程の変遷、
学校行事、
総明会活動につ
いて叙述した
ものである。

2011年度から創立100
周年事業の一環として記念誌の
編纂が組み込まれた。早速、校
内にある『六十年の歩み』およ
び『九十年の歩み』を編纂する
ときに使用した諸資料を調査
したところ、校舎が移転(猿楽
町から調布)したことによるた
めか、散逸したものが多いらし

いことがわかった。曖昧な判断
となったのは、通常、編纂過程で
収集した資料は、保存とともに
目録を作成するのだが、『六十
年の歩み』・『九十年の歩み』の
ときに目録を作成した形跡がな
く、資料の確認が難しかったか
らである。

100年史の編纂には、資料
収集だけでなく、平行して目録
づくりをすることにした。この
作業について森朋久氏(明治大
学農学部講師)の協力を得るこ
とができ、今秋には目録の印刷・
製本が完成する予定である。

また、収集した資料の一部は、
『PTA会報』第138号(初代
校長鵜澤総明「履歴書」)および
『明治高等学校・中学校 創立
100周年記念事業NEWS』
(明治中学・明治高校のホーム
ページからダウンロード可)の
「100周年編纂余語」に4回
(第1号(明治中学校の創立)、
第2号(初代教頭 村田 勤)、第
3号(校友会雑誌)、第4号(明

治中学校の校舎)にわたって収
録されているので、ぜひ参照し
ていただきたい。

11月17日に行われる100
周年記念式典にこれまで収集
した資料をもとに記念リーフ
レットを配布する予定である。
記念リーフレットは、明治中学・
明治高校100年間のこく一
部を示したものに過ぎないもの
である。明治高等学校・中学校
100年史は、これから編纂に
人も費用もかかることが予想さ
れます。私たち教職員だけでな
く、多くの人びとの協力がなけ
れば完成することができません。
今後とも総明会の皆様にもぜひ
とも協力がいただけますようお
願いいたします。



特集4 恩師からのメッセージ

年間テーマを掲げ活動している闘紺会へ
高Ⅲ時の担任の先生5名からのメッセージ

昭和60年卒卒業生・闘紺会の皆様へ

昭和60年卒高ⅢC組担任 大野 正隆

お 久し振りで
す。ご卒業

後27年、在学時の
3年間を加えれ
ば何と30年。まさ
に光陰矢の如し。

そして学校創立

100周年という記念すべき
年に総明会幹事学年、本当にお
めでとうございます。

さて、この度、闘紺会の会報
委員の方から「我々の代の思い
出」「今後の明高生への思い」
「(小生の)近況」についての原
稿依頼がありましたので、紙面
の許す範囲で書かせていただき
ます。

諸兄の学年は三年間担当い
たしました。その間いろいろ
なことがありました。印象に



残っていること
を二つ挙げま
す。一つは一年
生の林間学校で
のサッカーです。
田んぼ(実はグ
ラウンド)の中
の泥まみれの闘いでした。

試合が終わったあとのことです。
宿舎の前で学年主任の故三
田行男先生が生徒の帰りを今
や遅しと待ち構えていました。
すると向こうから得体の知れな
い泥の物体がゾロゾロとやって
来ました。それが生徒だと判明
した時、三田先生は腰を抜かさ
んばかりの驚き様でした。でも
これは元気すぎる生徒たちの
「序章」でしかありませんでし
た。それは言わずもがな、です。

忘れ得ぬシーン二つ目は修
学旅行最終日のことです。これ
は諸兄の方がより鮮明に記憶
されているかもしれません。お
世話をいただいた運転手さん、
バスガイドさんに各クラスの寄
せ書きと御礼の品を差し上げ
ました。すると一人のガイドさ
んが感極まり、涙を流して泣き
出しました。

身だしなみのよい明高生と
の旅をまだおしまいにしたくな
かったのかもしれない。あの時
は僕もぐっときました。そして
教師であることの喜びを与えて
下さった生徒たちには、ありがと
うという外ありませんでした。

ご承知のように諸兄の母校
は2008年度より男女共学
となりました。人口減少時代に
入り、女性の社会進出はますます
重要なものになるでしょう。
そのため家庭においても、社会
においても男女が互いにパート
ナーとしての役割を果たしてゆ
くことが肝要となるでしょう。

男女共学は異性に対する理解
に資するところ大であると考え
ます。「近況」は紙面の都合上、
省かせていただき、再会した時
の楽しみために取っておこうと
思います。



昭和60年卒の担任していた当時の
大野先生



高3修学旅行：別れを惜しみ泣
くガイドさん



高1林間学校：泥まみれ
サッカー直後(阿部先生の
文章の中にも出て来ます)

「闘紺会」の諸君、 今、扇子は閉じたままです。

昭和60年卒高ⅢD組担任 安部 友己

昭和57年4月7日、校長の退任・着任、始業式と続いた後の一年D組の教室で浅井・東・天野：：出席を確認し、仮日R委員、各係を決め、影の軍団を指名してクラスがスタートしたが、三年間の国語の授業計画は、漸減していく在籍人数に合わせ変更せざるを得なかった。この頃「D組は元気があつて良い。」と喜んでおられた学年主任の三田先生が、5月25日、五島君が四階からタイプし、救急車の音を聞くことになった辺りから林間学校で雨のテニスコートでサッカーで30センチ程の泥池に変えてしまった滝沢君を先頭に、目以外真っ黒になった生徒の集団が宿舎に向かつてくる様子を「山が動いた」と口角泡を飛ばして力説される等々、感動される事が



多くなつていく姿を今も鮮やかに思い出す。これらの出来事でさえ闘紺会諸君の激動の明治物語序章に過ぎなかったことは、その後の数々の活躍が証明している。

本日の消滅「バルタン」と佐藤康彦君が日Rで紹介して始まった二期、クラスの人数が減る中、炎暑のつじけ丘グラウンドでの草むしりを早く終わらせ、松枝先生を感心させるような技も諸君は身に付けていた。因みにクラス対抗リレーD組は、佐藤・鳴原・出羽だった。鈴木重之君が日誌に「一人でやるのは大変疲れた。」と書いていたように、諸君はサボることなく、真面目に掃除に取り組み、男子校らしい爽やかな教室環境を作ってくれた。

雪中の裸のマラソンの不規則な掛け

声を聞く三学期、田中宏昌君が「志士達は希望に燃え進級す！」書いて迎えた二年生は、目安箱にギヤグを入れ、換気扇で黒板消しをはたいて清掃時間を短縮し、「LOVE大好き宇都宮君がチータイと掃除をさぼった」と宇都君が日誌に書くような長閑なスタートであった。雪の中の家庭訪問を初め、亡くなられた赤松、新井、水落各先生の遺愛を受けたものの、学年集会は度々催され、多忙な日々を過ごすこととなったが、スキーでインターハイに出た山本基君の笑顔もあつた欠席のいないデイズニールランドのクラス会で締め括ることができたのは、食事代の赤字を忘れさせてくれた。

いよいよ高Ⅲ、日R委員、和田直弘・宮島賢・飯畑の諸君でスタートしたD組。木下君が遅刻で皆勤賞を逃したが、修学旅行における昼夜を問わない諸君の活躍は目覚ましく、細金君と田中宏昌君の部屋に入った以外は、誰の部屋に入ったか、覚えてられない程だった。亡くなられた保坂・雨宮両先生のご薫陶も受け、学年全体が推薦に向け取り組む中、バドミントン部関東

大会に出場する等、諸君のエネルギーは最後まで衰えを知らなかった。

前記はほんの一例だが、諸君が過ごした三年間の男坂生活、男気と躍動感の一端を感じてもらえただろうか。単なるノスタルジアではなく、社会でも活躍しているだろう諸君の体幹は、ここでしっかり作られたのではないだろうか！今年のテーマが「新しい百年へ」ということだが、中高生が身に付け、鍛えておくべき根本的な事柄は、今も昔も共学になろうと同じだと思っている。時代に敏感であるのは、対応としては必要だと思いが、自分だけが幸福な社会など有り得ないわけだから、個人を強くすることと他を思い遣る感性が共に涵養されるような学校生活を生徒には送って欲しいし、凛とした佇まいを持った明中高の生徒を育てたいと思っている。そうすることで「愛校心」も育ち、「総明会」も積極的に継承されていくのではないだろうかとも思っている。

諸君の益々の活躍を祈念してこの辺で筆を置きます。末筆ながら実行委員会の諸君のご苦勞と配慮に心から感謝します。

特集4 恩師からのメッセージ

年間テーマを掲げ活動している闘紺会へ
高Ⅲ時の担任の先生5名からのメッセージ

闘紺会のある思い出に寄せて

昭和60年卒高ⅢE組担任 岸 哲利

私は、40歳に
して社会

人からこの学校
へ、昭和60年卒
闘紺会の学年の
高三時までの担
任経験はなかつ



りするが、どう
もうまく行か
ない。担当して
いるクラスも落
ち着きがなかつ
た。「クラスの
ゴミ箱から煙

が」と普段やさしい数学の先
生から私に報告があった。「な
ぜそんなことが！」当時まだ

の運営や生徒指導には手こず
り、この学年の思い出は、い
いものばかりではない。どこ
か、悪戯好きの、やんちゃ坊
主で、ハッキリ言って、普段
の勉強より、部活をはじめ、
もつと他の遊びで熱を上げる
雰囲気の学年のように感じら
れた。

うとした時期だった。私は、
丁度四十肩で、黒板に字を書
くことさえ出来ず。まして、
手を挙げて、指導することも
出来なかったのだ。

N君のことは、今も忘れ
ない。喫煙のことで家に電話
をして、家庭での生活にもつ
と注意してくれるようにN
君のお母さんに頼んだ。そこ
で、N君のお母さんから、意
外な答えが返ってきた。「実
は家でもそのことについて、
困っていて、陰でこそそそ吸
われるよりも、と思つて、彼
用の灰皿を用意しているの
です」優しい母親の声の中に、
言うことを聞かない息子の反
抗に、ほとほと手を焼いてい
る様子がうかがわれた。

そのお母さんが、それから
数ヶ月後に病気で突然亡くな
られた。数名のクラスの生徒
を連れて葬儀に行った。N君
は、立ち直り、明大へ推薦さ
れ、進学した。それから四年、
明大卒業時、N君は、R社
に就職したと私に報告に来て
くれた。規模は小さい会社だ
が、その社長の先見的な、
心意気に触れ、仲間を誘つて

即その会社に初の学卒として
就職したという。それから23
年、彼の頑張りで、昨年その
会社の社長となり、一部上場
を果たした。昨年7月、新宿
四丁目にある本社にN君を
訪ねた。開口一番「先生、英
語はまだ大丈夫ですが、タバコ
はキツパリ止めていますよ」
と私に告げた。あの高三時の
生意気で、反抗的な彼の姿と
共に、お母さんの電話での言
葉が思い出された。



明日の100年へ 100の提言

創立100周年・100名から・100字で、単なる寄せ書きではない「提言」を集めたい。そんな単純な発想の企画ですが、非常にバラエティに富み、深く、愛ある100以上の「提言」が、幅広い年代から、集まりました。

「羽ばたけ、未来へ。羽ばたけ、世界へ。」

明治高等学校・中学校創立100周年記念キャッチフレーズより。

100周年を記念して、総明会としての今後に残る新しい仕組み、例えば、実社会の組織と同様に、ネット空間上にも母校支援の輪を広げる組織を構築してはどうだろうか。日本はもとより、世界中で活躍をしている卒業生と連携して母校を支援できる仕組み作りをスタートさせよう。

向殿 政男(昭和36年卒 明駿会)

調布移転で遠くなってしまい、なかなか見に行くことは出来ないが、長堀前理事長はじめ関係者の経営路線がしっかりと出来てきていると思うので、今後の明高には、良いかたちで進化していくことを期待している。

福田 二郎(昭和30年卒業同期会)

今後の百年は何といっても、グローバル化、国際化の中にあって、いかにその存在感をアピール出来るかです。まず、圧倒的な語学力と国際的な視野を持ち、特にアジア圏の振興発展に貢献出来るような人材の育成が大事！

佐藤 仁(昭和39年卒 三九会)

大学附属校として、明治大学の新たに付け加えられた"世界へ－「個」を強め、世界をつなぎ、未来へ－"、またグローバル30の拠点大学の方針に従うべく、海外一流大学進学の可能性をも視野に入れたカリキュラムへの取組。

前田 一男(昭和42年卒 M41)

授業の中にスピーチやプレゼンテーションの機会を設け、自分の考えを積極的に人前で的確に表現できるようになって欲しい。また、海外に出て、日本を客観的に見据え、そのすばらしさを理解し、自身を持って欲しい。

藤ノ木 守(昭和61年卒 新世輝)

受験勉強とは異なる広い教養が身についた、数値化出来ない人間性の部分が優れている、社会に出てから役立つ強い人間を育ててください。せっかくの付属校なのですから・・・。

植村 成典(昭和60年卒 闘紺会)

数年で人材のグローバル化は急速に進む。明治を卒業したから何とかなる、なんてことは無い。日本の常識は世界の非常識ぐらいの視点で、横並び文化から脱却し、「個」のエッジを研ぎ澄ませ。明高生Fight！

山崎 暁(昭和61年卒 新世輝)

単に偏差値が高いだけの人間ではなく、真に人間味豊かな卒業生を送り出してほしい。そのために、幅のある授業・生活指導ができる個性的な教師を沢山揃えてください。

鈴木 裕朗(昭和60年卒 闘紺会)

明高生は大学で、そして社会で中核になるべき存在。まずは大学でゼミ長やクラス委員、サークル幹部や飲み会幹事でもいい、まとめ役を率先して引き受けて、組織に貢献できる人になって欲しい。

阿部 康一郎(平成5年卒)

人間力を高める教育を行っていくべき。困難な事が目の前に現れたら、その壁にぶつかっていく力。対人関係を円滑にするコミュニケーション力。知識や語学力よりも土台となる人間力。そこそが質実剛健・独立自治！

宮下 崇(平成1年卒 社会科教諭)

明高がこれからあるべき姿は地域密着型の高校であるべきだと思います。調布市のお祭りや催し物へ積極的に参加し、地域の方々から愛され、紫紺祭を中心とする多くの行事が地域の方々でいっぱいになると良いと思います。

岸上 翔平(平成24年卒)

現在教師が生徒へ一方方向の授業を行っていますが、双方方向の授業が必要です。そのため、小人数で先生と机を囲むゼミ方式が良いと思います。それによって発言力が鍛えられ、「個」を強くすることができると思っています。

末次 志行(高Ⅲ)

創立100周年という節目の年を在校生として祝う事が出来る幸運に恵まれましたね。次の100年をより輝かしいものに発展させていくのは皆さんです。for the NEXT、未来に向かって羽ばたいてください。

原田 珠枝(PTA副会長)

今の明高は生徒に付属生らしさを要求しているのに、結局進学校のように大学、大学と言い、型にはまった勉強を押しつけているような気がするのです。これからは学校として付属校らしさを出せる教育をするべきだと思う。

小林 裕雅(高Ⅲ)

明高がより深化していくためにこれからは、他人を引きつける独創的な発言力の強さを求めたい。今、明高では「個人」のカラーが失われつつある。次の世代の先駆者として、周りを染め上げ続ける行動力を培ってほしい。

石川 慶太郎(高Ⅲ)

「木はその実によって知られる」

特集1 座談会の文中24ページの4段目。金子校長のお言葉より抜粋。

母校が調布へ移転し、共学化となったことは知ってはいるが、学校自体の様々な情報をOBに向けて、もっと分かりやすく、常時、伝えてほしいと思います。

木村 節男(昭和30年卒業同期会)

総明会の目的は会員相互の親睦と母校への賛助であるが、親睦はそれなりに深めていけばよい。賛助が大切である。今の明治高校やここに学ぶ後輩達が何を必要としているのか、それに応えられる同窓会でありたいと思う。

山崎 秀樹(昭和50年卒 明紫会)

総明会をOB・OGはもとより、そして明高に携わった教員の方々や、退職された方々も含めた会にすることはいかがでしょうか。例えば、先生方がもっと多く参加すれば、先生に会いたい若い世代も参加すると思います。

森田 聡一(昭和60年卒 闘紺会)

応援団OB会会長を4年間務め、明高関係者の人間性の素晴らしさに感動を覚え、また日々感じています。OBの頑張りが明大の受験者数日本一につながったとも思います。みなさんにもそれを感じて欲しいと思います。

田村 正彦(昭和30年卒業同期会)

今はわからなくてもいい。20数年後の幹事学年を終えた後、明治で本当に良かったなと心の底から思える時が必ずやってきます。よき仲間との繋がりを大切に・・・。

吉武 孝生(昭和50年卒 明紫会)

同じ学び舎で学んだもの同志、「老若男女」誰でも気軽に参加ができる総明会を目指しましょう。何十年か後に卒業直後の後輩と肩を組み校歌を熱唱できる会がいいですね。伝統を重んじながらも柔軟に頭で行きましょう。

衛藤 雅一(昭和56年卒 明翔会)

「木はその実によって知られる」

「幹事学年制度」28年振りに懐かしい同級生と力を合わせる事は素晴らしいことですが、若年会員の参加しやすい組織を目指し、複数学年で、将来的には女性を含めた運営が必要と考えます。

山本 伸幸(昭和60年卒 關紺会)

総明会幹事学年の年、四半世紀ぶりの同期との再開。そこから第2の青春がスタートする。また、初対面の先輩も気がつけば生涯の師となる。そんな総明会の伝統を守ってほしい。

田中 重幸(昭和59年卒 明心会)

最近まではめっきり明高関係には関与できていませんでしたが(((^^))、同期有志が開設してくれたfacebookのおかげで繋がりが持てて良かったです。総明会でもそのような場があると良いと思います。またそのために、各学年幹事を縦で束ねる場というか、連絡手段があると更に総明会が活性化するのはないでしょうか？

伊藤 正貴(昭和63年卒 昭和戊辰乃会)

現代社会の変化のスピードはすさまじい。現在、在校中の生徒が社会人になる時、どのような世の中になっているのか予測がつかない。総明会の各分野で活躍されている方々から、社会の厳しさや仕事のやりがい等について、現役生徒に本音で話していただく機会がもっと増えると生徒への良い刺激になると思う。

吉田 重幸(総務主任・英語科教諭)

総会運営システム「幹事学年制」。活動メンバーは自営業よりも会社員が圧倒的に増えている。このままでは、5年、10年先に制度疲労が生じるのは明らか。そこで幹事を複数学年にて担当することを提案します。まずは2学年にて、時期を見て、3学年に広げるというもの。将来的には20代にも協力してもらう。これにより、組織的な運営が可能となり、個々人においても現況に則し、相当な負担軽減が図られるものと考えます。

鈴木 重之(昭和60年卒 關紺会)

創立100周年おめでとうございませう。明治の素晴らしい伝統はたくさんの方、先輩方のおかげで今日あります。明治の学生としてこの伝統にふさわしい学生生活を送り、後輩に良い見本をみせてほしいと思います。

大塚 絵美(PTA監事)

「現役生ファイト！」

先輩・先生・親から現役明中高生へ向けた熱きメッセージ。

明治中学・高校応援指導班のテレビ番組を観たが、共学となった今でも、スパルタもあり、自分が現役だった頃の良い雰囲気を感じられた。チーターの血もまだ残っている。このようなことも残して欲しいと思う。

清水 敏雄(昭和30年卒業同期会)

明治は一つ。明高の伸び伸びとした環境の中で、クラスや部活での横の絆、そして先輩後輩の縦の絆の大切さ、人間関係をじっくり学んで下さい。

井家上 哲史(昭和51年卒 明々会)

勉強でも仕事でも、言われたコトができない奴はバカだ！でも、言われたコトしかできない奴は、もっとバカだ！常に向上心と相手への思いやりの気持ちを持ち、現状に甘んじることなく、自分の決めた道を進んでいこう！

樋田 哲次(昭和52年卒 男子校根性組)

世界で仕事をするとか驚くことが山ほどある。例えば、自分の仕事場・生活圏は地球全体と考える常識・・・。自然、宗教、歴史、価値観の違いを乗り越え、明中高諸君！君達の目指すグランドは広い。面白い人生を生きよう！！

前田 忠昭(昭和39 三九会)

「資格・手に職・英会話」⇒中高時代に全部は無理かも知れませんが、自分が「やっておけば良かった」という反省のベスト3です。

竹口 忠克(昭和60年卒 關紺会)

「現役生ファイト！」

この厳しい世の中を生き抜いていく為には、自分自身で色々な経験をしてみる事が大切だと思います。そして色々な人々に会って、ネットには載っていない人脈を作り、明治で培った人間力を磨きをかけて頑張ってください。

狩野 智雄(昭和56年卒 明翔会)

現役諸君！クラブ活動をしている人は是非、先輩・後輩の付き合いは続けて下さい。社会人になってからは得られない財産です！クラブに入っていない人でも明治高校が1つの家族です。声高々に明高卒と名乗りましょう。

並木 功(昭和58年卒 明輪会)

自分の好きなことは何ですか。野球、ゲーム、電車、アニメ、どんなことでもいい。好きなことを仕事にできるよう、目標を持って高校生活を過ごしてもらいたい。好きなことが仕事になれば、必ず社会が君を必要とする。

小林 克敏(昭和60年卒 闘紺会)

これからは人としての在り方が問われる時代です。人との出会いに感謝し、人を大事にし、良い仲間を作っていただきたい。過去の常識にとらわれず、着眼大局、着手小局、考えるより感じる事、そして行動し、自己実現していただきたい。

横山 一実(昭和61年卒 新世輝)

明高ではマンドリン部に在籍していました。卒業後も仲間と社会人マンドリンオーケストラを立ち上げ、今も一緒に楽器を弾いて楽しんでいます。学生時代の仲間は人生最大の財産です。皆さんも大切にしていって下さい。

岡崎 正和(昭和63年卒 昭和戊辰乃会)

学生諸君は大いにやんちゃすべし。失敗を恐れずやりたいことをやれ。そこから学ぶことは貴重なことが多く、大人になって笑い話の種になるから。また、それを容認する学校が「個を強める」学校なのでは。

鴨下 裕彦(昭和56年卒 明翔会)

今のうちに好きな事をどんどんやってみてください。それは1つではないかもしれない。ならば全部やれば良いと思います。そして、その中から自分だけの道を見つけ出してください。決して慌てないように。時間は充分あるのだから。たとえ回り道になったとしても、たどってきた道の中から得られるものも必ずあるはずだから……。

大山 輝芳(昭和59年卒 明心会)

人の一生の中で中学生・高校生の時期を如何に過ごすかが将来を左右する事になり、これからの人生の礎になる事を理解してほしい。理想を常に持ち、自己確立に努め、真の友人を得るように努力してほしい。

柴(宇都宮) 貴(昭和60年卒 闘紺会)

刻苦研鑽し自身を磨き、周囲の人々が豊かになることが、自分の幸せに繋がるということを心に刻んでください。学識も経験も礼節も豊かな人脈作りの礎です。後輩諸君、多くの人達と共に豊かな人生を歩んでください。

渡辺 智郎(昭和60年卒 闘紺会)

社会で活躍するという事は、相手がそうして欲しいと思った事を120%で返せる事。その時が来た時の為に準備して下さい。全ての経験はチャンスを活かす為のもの。「いいパスは、走り続ける人に飛んで来る。」

鵜飼 友義(昭和61年卒 新世輝)

現役の皆、卒業後大学に行く仲間や、違う道に進む仲間がいると思うけど、その先々で色々な選択そして試練が待っているはず。何事も失敗を恐れず前向きに行動を起こせば少し遠回りになっても良い結果が待ってるよ。

宮井 文博(昭和61年卒 新世輝)

「現役生ファイト！」

世の中には自分とは異なる考えを持つ人がいます。大切なのは是非を問うことではなく相手の意見にも耳を傾けること。学生時代には多くの出会いがあり、積極的に他者と関わり、複数の視点から物事を考えられる人となって下さい。

羽田野 嘉一(平成18年卒 白雲会)

大学に入学すると、校歌を歌う機会が減るので、この素晴らしい校歌をいつまでも忘れないでほしい。また、大学において、明高出身者ばかりでかたまるのは良くないと思う。見聞を広め、友人を増やしていこう。

平 裕太郎(平成21年卒)

明高では応援指導班に所属し、敬語や先輩に対する礼儀など、社会に出て役立つことを沢山学びました。チアで得た笑顔も対人関係を良くしました。女子も男子も是非応援指導班に入り、様々なことを得てほしいと思います。

阿部 亜梨紗(平成24年卒)

付属生の高校入試実施を提案します。中学から高校にあがる節目に自分の能力を客観的な数値で確認する機会があれば、学習に対するモチベーションが上がり、高校生活の目標がより明確になるのではないかと考えます。

神崎 恭子(保健体育科教諭)

情報化やグローバル化が叫ばれているが、今一度、足下となりうる二点を磨いていくことが必要であると思う。一つは「やりきる情熱」、もう一つは「歴史に学び、日本人として誇りを持つ」ことである。

蓮池 辰之(英語科教諭)

皆さん、伸び伸び過ごしてください。失敗してもどうってことありません。

山崎 健一(昭和63年卒 昭和成辰乃会)

現在の高校生活、そして大学、そして、その先… 何が待っているのかは分かりませんが、何事にも、人が嫌がることにも積極的に行動、そして参加して欲しい。必ずや、自分の成長につながるはずだから。

播磨 良祐(平成21年卒)

なぜ今こういうことをしなければならないのかな、大学は辛いこともありそう、就職も厳しそう、などネガティブなことばかりではなく、もっともっと先もあるので、ポジティブに考え、高校生活を送って欲しい。

林 弘之(平成21年卒)

「自分はこれをやった」と言えるものを、学生の間に見つけてほしい。うまくいっても、失敗しても、自分で決めたことに打ち込んだという経験は、自信につながり、その人の魅力として人にも必ず伝わると思う。

金田 由美(国語科教諭)

社会で活躍するためには想像力が欠かせません。「いま」「ここ」にいる自分のことだけでなく、過去や未来、広い世界の中での自分を考える必要があります。つねに好奇心を忘れず、幅広い知識や教養を身につけて下さい。

江竜 珠緒(司書教諭)

社会で活躍できる人は、知識や教養、仕事にあった性格、良好な人間関係など、いろいろな要素が必要ですが、それ以上に大切なことは、どんなときでも物事を前向きにとらえる「プラス思考」の考えが必要です。

本橋 宏之(数学科教諭)

100周年おめでとうございます。調布校舎に移転し、とても恵まれた環境のもと勉強・部活に励む事が出来て良かったですね。友人を大切に、これからも楽しい明治での学校生活を過ごして下さい。応援しています。

若菜 聖(PTA監事)

100周年おめでとうございます。在校生の方には、受験のない付属校の特性を生かし、失敗を恐れず様々な事に挑戦し、将来に向けての確かな基礎造りをしていただきたいです。皆様のご活躍を応援しています。

北林 智子(PTA副会長)

後輩に向けて、勉強をするだけではなく、人と話すことを大切にしてほしいと思います。相手の考えを理解し自分の意見を伝えることは難しいものです。友人と会って話し、学生を楽しむことも今できる経験だと思います。

脇 拓哉(高Ⅲ)

明治高等学校・中学校という恵まれた環境の中、6年間(3年間)を過ごさせてもらえる事に感謝して、一生の思い出・友達を作ってください。次の100年への礎になれますよう、期待しています。

比留間 三佐子(PTA会計)

伝統ある明高をよりよくしていくには、生徒が学校について良く知り、また学校をもっともっと好きになることが必要だと思います。愛校心を大切にして下さい!!

和田 瞳(高Ⅲ)

明治は注目され、評価が上がっている。では、生徒一人一人はどうだろう。どんな力を持てばいいのだろうか。何か一つでいい、誇れるものを持てばいいと僕は思う。歴史を作るのは一人一人だ。それぞれ輝く何かを持とう。

赤須 通和(高Ⅲ)

「LOVE 明治！」

提言の中から「明治」を愛してやまないメッセージを抽出

君たちの100年後は、医学の発達でまだまだ壮年期かもしれない。あつという間の近い将来かもしれない。グローバル化は、宇宙規模に広がっているかもしれない。ただ、その中でも、母校を愛し校歌を愛し続けてほしい。

坂口 泰通(副校長・国語科教諭)

旧明高は、かなり寂れている。もし、取り壊されても、ここに明高が、そして男坂があった証を残したい。「男坂に明高あり」という伝説を残していくイベント等をやってほしいと思います。男坂夏祭り、男坂文化祭、男坂体育祭、新入生の男坂訪問。

尾崎 博之(昭和63年卒 昭和戊辰乃会)

私は応援指導班に6年間入班していました。各部活の応援、激励と「明治のため」という想いで務めてきましたが、現班員、そして、現役生徒の皆さんも、「明治のため」の応援、激励を頑張ってもらいたいと思います。

高島 周太郎(平成22年卒 明雄会)

仕事、年齢、性格、考え方、何から何まで違うのに『明治』の旗の下で、一所懸命になれる。なんなのでしょうか、それは単に「好き」だからです。他に表わしようがありません。今までもこれからもいつまでも・・・。

近藤 敏彦(昭和50年卒 明紫会)

伝統ある明治高校硬式野球部が、甲子園に出場し、甲子園の空に白雲がながく事を切に願う。そのためには……。

須藤 貢一(昭和56年卒 明翔会)

「文武両道」

「文事ある者は必ず武備あり」(『史記』 勉学と運動(スポーツ)の両面に秀でた人物たれ。

明高生諸君、大学の四年間はあつという間だ。どう過ごすかが重要となる。私は体育会の運動部への入部を勧める。ぬるま湯の六年間を改め、心身を鍛え直し、真の明大魂を持った立派な社会人になって欲しい。

関谷 芳久(昭和44年卒 男坂倶楽部)

文武両立をかざしているが、文のみ突出している現状で、武(スポーツ)をもっと優先的に強くして欲しい。特に野球部に力を入れて、早稲田には負けないような野球部を望みます。

桑崎 安弘(昭和50年卒 明紫会)

早慶の看板学部卒業生に、就職、その後の社会でも負けない人財の育成並びに早慶の付属高校・中学にも負けない魅力ある学校に今以上になって頂きたい。甲子園には47年間出場しておりません。ご支援をお願い申し上げます。

一泉 二郎(昭和51年卒 明々会)

私の夢は、甲子園で明高の校歌を歌うことです。学校、教諭、現役生、OB、父母が力を合わせて、本気で甲子園出場を目指すことができる環境を整備してほしいです。自分たちが果たせなかった夢を後輩達に託します。

五十嵐 明彦(平成6年卒)

付属高の利点を最大限に生かして、一芸に秀でた学生の育成や部活動の強化を強く願います。特に硬式野球部の甲子園出場、そして、校歌「白雲なびく～」が甲子園で流れる事を目指して、微力ながら応援したいと思います。

飯野 善明(昭和56年卒 明翔会)

学力向上も当然必要なことですが、ぜひ部活をやってほしい。知識や視野が広がるだけでなく、広い人間関係の構築につながります。将来OB・OGとなったとき、きっと何かの形になって役立つことがあるはずです。

片桐 泰裕(昭和61年卒 新世輝)

超難関校になってしまったので、ちょっと敷居が高い感じがします。勉強ばかりでなくもっと部活などに力を入れていけばと思います。

志村 康樹(昭和61年卒 新世輝)

一部を除き中1から高Ⅲの6学年で行う部活動。一貫校でも珍しい。上級生との差を痛感。厳しいことも多い。しかし、知らずに社会の縮図を垣間見て、将来の自信に必ず繋がる。勉学もしつつ、部活動にも専念していこう。

大貫 俊隆(昭和60年卒 闘紺会)

「やさしい お・こ・ご・と」

時には厳しくもやさしいお小言に耳を傾けることも大切である。

学校訪問した際、在校生と接して感じた事です、廊下ですれ違っても黙礼も挨拶ありません。私も在学中、率先していた訳ではありませんが、訪問時にOB・OGのほうから積極的に挨拶をすれば良いと思います。

光岡孝之(昭和63年卒 昭和戊辰乃会)

若くてパワーにあふれ、でも無知で無礼な諸君。どうか人に迷惑をかけない程度にたくさん失敗をして、涙を流して下さい。人を好きになって下さい。本をたくさん読み、イヤホンを外し、耳をすませて下さい。世界は君たちのものです。

朝倉 一寿(PTA会長・昭和54年卒 明誠会)

電車の中や、歩いているとき携帯電話を見てる人多いけれど、携帯はポケットに入れて、たまには周りを見回してみよう。もっと上を向いて!!

何か新しい発見があるぞ。

島村武史(昭和59 明心会)

明治で教わって、皆に伝えたい格言を二つほど。「人は見かけによる。」原則と例外を取り違えないでね。私も40歳こえてから、かなり言動や衣装に気を遣っています。もう一つは、「何時までもあると思うな、親と金。」以上。

上野 拓哉(昭和61年卒 新世輝)

「伝統の継承と変革」

「新しい100年へ」「明日の100年へ」守るべきもの。変えるべきもの。

調布に移転して共学となった明中・明高。明治らしさを残しつつ、良い意味で変わってほしいと思います。私も、生まれ変わったら、共学となった明中・明高の生徒となり、通てみたいものです。

大澤 正二(昭和30年卒業同期会)

伝統とは、それを守っていくだけではいずれ廃れる。廃れる前に軌道修正を行い、時には抜本的な改良を行い、高いレベルを保ちつづけてこそ伝統なのである。伝統とは、受け継ぐものではない。自ら作るものなのだから。

依元 正美(明治白駿会会長)

ゆとり教育以後、バンカラが失われつつある。応援団で指導している事は、日本人にとっても大切な部分が多い。バンカラ明治、ひいては日本の良き伝統を守るつもりで、応援団リーダー部(現在4名)を残してほしい。

前田 治行(昭和45年卒 獅子の会)

総明会がもつDNAがあると思うのです。明高を中心に、各同期会・倶楽部があり、その先に総明会がある。絆が深いがそうかといって排他的じゃないが個性も違う。「のれん」は磨き育てるもの—個性を磨き続ける事が伝統を次世代にバトンタッチする事だろうと。

尾島 育四郎(昭和41年卒 41明友会)

100年の遺産(伝統)を次の100年に受け渡していくために、卒業生は、総明会の会報や自らの肉声で遺産(伝統)の中身をわかりやすく伝え、現役の生徒は、その遺産(伝統)の継承と新たな創造(創造的破壊)を行なってほしい。

大西 静士郎(昭和52年卒 男子校根性組)

私は幹事学年の年、大先輩17会の故安藤さんとト部さんに会う機会を得ました。その時の印象に残った言葉は「我々は正しいと思った、先輩でも先生でも意見を言った」です。皆さんも是非、屈せず。これが「明治魂」だと思って。

石黒 理樹(昭和52年卒 男子校根性組)

「伝統の継承と変革」

権利自由、独立自治、そして質実剛健。いつまでもその気質のある学校であってほしい。最近の平準化されていく多くの私学をみていとさみしい気持ちになる。その中に混ざらないでほしい。

小林 謙之(昭和57年卒 明魂会)

質実剛健、独立自治、5分前精神、先生の愛(怒り?)のムチ、卒業しても一致団結。共学になっても、卒業しても忘れないでほしい。社会に出てからもきっと、いや必ずその精神は役に立つはず。頑張り、明高! 負けるな、明高! いつも心に、校歌を!

田中 嘉一(昭和60年卒 闊紺会)

明高の伝統を継承していくためには、明高の気質や心意気を理解し合える環境作りが大事だ。その一つとして、卒業生の子供をより多く入学させ、質実剛健・独立自治の精神を学校の内外で教えていくのはどうだろうか!!

土田 正昭(昭和61年卒 新世輝)

母校の100周年。とても喜ばしいことです。社会に出ても、不思議と同期や先輩、後輩とは繋がるもの。その繋がりが、100年の長きに亘って続いている明高を誇りに思います。この伝統をいつまでも守って下さい。

栗本 宜長(昭和61年卒 新世輝)

100年の間に先輩方によって培われた明高らしさを、これからの100年に向かって更に進化させ、総ての卒業生・在校生が「これぞ我が母校明大明治」と胸を張って誇れる素晴らしい明大明治にしてほしいと思います。

吉野 正敏(昭和61年卒 新世輝)

勉強ばかりさせていないで、昔のように自由な校風をお願いします。

清水 孝浩(昭和61年卒 新世輝)

「質実剛健」「独立自治」。先輩を敬い、後輩を助け、同期を大切に。勉学だけではなく、人間力を身に付ける。卒業して歳が経つほど母校が好きになる。例を挙げれば枚挙に暇がない素晴らしい我が母校。この伝統が未来永劫続くこと。ワイルドだぜイ。

熊倉 章雄(昭和54年卒 明誠会)

社会に出て気付いたこと。明治の学び舎で培われた組織の中で「個」を活かす術。これが「明治の伝統と力」。是非、この熱い想いを信じ、母校に誇りをもち、社会で出て活躍されることを期待しています。

関川 一浩(昭和57年卒 明魂会)

行動する以外、問題を解決することはできない。困難多い時代、力強い行動力を育む伝統を守り続けてください。

高澤 誠司(昭和61年卒 新世輝)

「有り難い」とは「有る」ことが「難しい」ことで、歴史の成せる業もまた一朝一夕に得ることの出来ない「有り難い」もの。伝統に捉われる必要はないが、先人の軌跡に各自の行動が足跡として残り後輩達に受け継がれる。このことこそが「有り難い」。自分達はどんな歴史(足跡)を刻むのか?

山口 正次郎(昭和61年卒)

現明治中学野球部監督をしています。自分はいく選手に「一つ一つのプレーをきちんとやりなさい」と言います。これは高校時代、監督から言われた言葉です。また技術以上に礼儀、挨拶、返事を指導します。部活動を通してこういった明高の伝統を引き継いで欲しいです。

田中 拓樹(平成23年卒)

平成20年、中学・高校の多感な時期に、男女が互いの価値観を認め合い協力する意義を学ぶ事が重要であるとして共学化して以来、伝統を継承する大切さと、変わる事の潔さを実感させられる毎日でした。今後も明高らしさを失わず、『これからの100年』の礎を築いて頂きたいと思います。

長谷川 敦子(PTA副会長)

創立100周年、おめでとうございます。保護者として記念すべき年に関わらせていただける事を嬉しく思います。PTAとしても100周年事業に取り組んでおります。先輩からの教えを後の方へお伝えしていく事を肝に銘じ、活動しております。

遠藤 順子(PTA会計)

本校の建学の精神である「質実剛健」「独立自治」を問いつける！すべては「校歌」に集約されている！！

木村 綾乃(養護教諭)

100年の伝統を継承していくためには、現在の私たちが日々の生活での学習、部活動、学校行事に全力で取り組むことが大切だと考えます。そのことは将来において私たちが誇れる学校づくりにつながると 생각합니다。

金 承恵(高Ⅲ)

男女共学になり、校風も変わりつつあると思いますが、男子校の時の良い所を残しつつ、指導していただけたらと思います。社会に出て第一線で活躍出来る様、自分の意思を自分の言葉で表現出来る様になって欲しいです。

渡壁 順子(PTA会計)

番組の取材で約2年間お世話になりました。明治高校の印象は、生徒たちが愛校心を持ち、仲間と団結し、一緒に何かをやり遂げる楽しさを教えてくれる学校。今後もこうした校風が受け継がれていくことを期待します。

村井 明日香(フジテレビ「ザ・ノンフィクション 花の中学生応援団」ディレクター)

私が高校に入学した年に明治高校中学は全学年が共学になった。共学という新しい門戸を開きつつ、質実剛健・独立自治の校風や伝統を守り続けている。新しい風を取り込みながらも「明治らしさ」を強く守って行きたい。

銀屋 夏帆(高Ⅲ)

共学化してから変わった事が多くありました。男子校時代を経験した最後の代として私達が伝えたい事は、根本にあるものは変えないで欲しいということです。私達の先輩方が残した伝統や意思を受け継いでいってください。

大橋 寛也(高Ⅲ)

明高の伝統を継承していくためには、明高生であることを誇りに思い、全力で学校生活を楽しんで、愛校心を養うことが大切だと思います。私もたくさん明治の良さを発信していきたいです！

田村 裕菜(高Ⅲ)

総明会会員(OB/OG)をはじめ、先生、PTA役員、明治白駿会、そして現役最高学年の高校3年生など、関係各位総勢104名の方々より提言を戴きました。5月5日開催の総明会主催100周年記念祝賀会から寄稿募集を開始しましたが、1ヶ月後に集まった寄稿は僅か数名。その後、多くの皆様に様々な人脈を駆使して戴き、また各行事・会合では口頭で、更にイン

ターネットを利用、そして学校関係にご協力戴き、当初より約3か月近く掛かって、漸く100件以上を集めることが出来ました。ご協力戴いた全ての皆様に深く感謝申し上げます。この提言集を「明日を考える礎」としたいと思っています。ありがとうございました。

編集・文責：昭和60年卒 闘紺会
大貫 俊隆

創立100周年記念事業

明治大学付属明治高等学校・中学校 創立100周年の
記念事業をご紹介します。

式典・祝賀会

平成24年11月17日(土)、明大駿河台キャンパス・アカデミーコモンにて開催予定。当日は、「100年の歩み」DVD放映、記念講演、功労者表彰、ビデオメッセージ放映、特別演奏などが予定されている。

特別展示

大正元年3月、あと数日で竣工予定の明治大学付属明治中学校駿河台校舎が類焼。その幻の校舎の模型を2年前に制作、本校1階に展示。故三木首相直筆「白雲なびく」を新装し図書館に設置、等。

広報戦略

校舎内ラッピング、ラッピングバス、敷地内街路灯フラッグ、横断幕、ポスター等、さまざまな広報戦略がなされている。



募 金

平成22年12月17日～平成24年5月31日までの集計で、募金件数563件、総額 91,870,202円。来年3月末日まで受け付けている。

校内行事

平成24年11月3・4日の紫紺祭、PTA講演会(P62参照)、明高卒業生顕彰式(P65参照)などが、創立100周年記念を冠して開催。
また、新たな行事として「ショートフィルムコンテスト」が行われる。
対象は高校生でクラス毎に制作する。9月末までに撮影、2学期末までに作品提出、本選が来年1月25日に行われる。

記念誌

現在、目下編纂中であり、記念式典・祝賀会では記念リーフレットを配布予定。詳しくは、P35の藤田先生の寄稿をご参照ください。

教育振興 プログラム

「鶴澤総明教育振興・奨学金プログラム」が創設された。最大の狙いは、上記募金による寄付金(積立金)を原資とする奨学金の活用による、海外留学・体験学習、受け入れ留学生との交流等様々を通じて、グローバル社会におけるリーダーを育成することである。

グローバルスタディプログラム

◎グローバル人材育成プログラム

海外協定校・提携校(以下海外校)に生徒を長期(6か月以上)派遣する。

◎「世界を知ろう」フィールドワークプログラム

コンテスト等の成績優秀な生徒を海外に派遣、現地の交流でグローバルな能力の涵養を図る。

■英語スピーチコンテスト(第1回 平成24年6月12日・第2回 平成25年2月25日)

教育振興 プログラム

◎海外交流体験プログラム

海外校と共同で実施する生徒間交流等に参加する生徒を支援する。

■上海・建平中学国際交流(2011年9月25日～10月1日)

◎訪問留学生サポートプログラム

留学生をホームステイ先として受け入れる家庭を支援する。

■米国より留学生受け入れ(2012年6月11～30日)(P61)

◎文化・スポーツ海外交流支援プログラム

海外校と共同で開催する研究発表、演奏会、交流試合等に参加する班・部を支援する。

●この他、チャレンジ奨学金プログラムとして、ドリームフォロー奨学金、文化・芸術・スポーツ奨励奨学金も創設。

※詳しくは、明高中ホームページで「創立100周年記念事業NEWS」をご覧ください。

創立100周年記念 第1回英語スピーチ・コンテスト

最前列左から、伊藤さやかさん(中2)、岸本明香里さん(高1)、神馬春香さん(高2)、柳父はるひさん(高1)、笠井里紗さん(高2)。
中段左から、福田響子さん(高1)、勝又大智君(中3)、府川華菜さん(高1)、井上龍一君(高1)、藤橋亜寿美さん(高2)。
上段左から、審査員の国際日本学部 廣森友人准教授、審査員の国際日本学部 オマール・カーリン特任講師、審査員の政治経済学部 フィリップ・ジドウィッツ教授、金子光男校長。



本コンテストは、創立100周年記念事業「鶴澤総明教育振興・奨学金プログラム」の一環として、6月12日(火)鶴澤総明ホールにて開催された。48名の生徒から応募があり、第一次、第二次選考を経て、ファイナリスト10名が選ばれた。審査員3名がそれぞれ、英語20点・内容20点・印象等10点の計50点で採点。学年ハンデは1学年につき3ポイント、時間制限の誤差ポイントによって順位が決定する。生徒、先生、保護者ら、計約1000人が見守る中、本校初の画期的なイベントが開始された。参加者達は、緊張しながらも堂々と、ジェスチャーを加えながら、全て英語でスピーチを行い、各々の熱いメッセージを訴えた。第1回の第1位は、高2の神馬春香さん。ネイティブに近

い発音で、グローバルな輪が広がるSNSの重要性を、東日本大震災の事も交えて訴えた。3名の審査員から「日本は外国から感謝、信頼されている。どんどん海外へ。男子がんばれ!」(廣森氏)、「英語は重要。来年2月の次回に向けて勉強しよう。」(カーリン氏)、「こんなに楽しいスピーチコンテスト審査は初めて。全身を使って話そう。」(ジドウィッツ氏)と講評を戴いた。入賞5名には、金子校長から夏季海外交流プログラム(オーストラリアかニュージーランドの予定)参加費全額が、それ以外の5名にも半額が、奨学金として授与された。近年グローバル化が進んで行く明高を、目の当たりにしたイベントであった。

編集・文責

昭和60年卒 闘紺会 大貫 俊隆

★スピーチ・コンテスト入賞者5人にいろいろ聞いてみました★

質問内容 Q1:なぜ参加しようと思いましたか? Q3:入賞したときの気持ちを教えて下さい。
Q2:そのテーマにした理由は? Q4:入賞後、周囲の反応はどうでしたか?

第1位 神馬 春香 高II (有志茶道部)

スピーチテーマ: Get Along with the Global Society (国際社会と仲良く)

- A1: 英語で劇などをする英会話学校に通っていて、英語で表現することが好きだった。
英国での経験の力試しみたいなのところも多少あった。
A2: 単にSNSだと面白くないので、これから何を話すのか、気になるタイトルにした。
A3: リハーサルで失敗していたので、1位と発表された時、「どっきり」だと思ったほど、最初は信じられなかったが、純粋に嬉しく、今後の自信につながると思う。
A4: 同級生の友人がすごく喜んでくれた。来場していた母は泣いていた。

第2位 岸本 明香里 高I (女子硬式テニス部)

スピーチテーマ: True Consideration (本当の思いやり)

- A1: 以前から海外にホームステイしたかった。また、新たなことに挑戦したいという思いがあり良い機会だと思った。
A2: 「思いやり」という言葉はよく耳にするが、その中身について考え、「本当に(True)」相手を考えて自分が働きかけるような「思いやり(Consideration)」について、みんなに述べたかったから。
A3: 最終まで残れたことがとても嬉しかったので、第2位という順位は信じられなかった。
A4: 友人や親はとても驚いていた。祝福を受けて、やっと実感が湧いてきた。

第3位 柳父 はるひ 高I (応援指導班チアリーディング部)

スピーチテーマ: Do You Have Hope for the Future? (将来に対する希望はありますか?)

- A1: 海外へ行ってみたい、ホームステイしてみたいと思っていた。
A2: 10年後の自分を考えた時、仕事に就いて充実した生活を送っていたと思ったから。
A3: 審査員講評でも触れてもらい、とても嬉しかった。あまり練習ができず、前日もつかえていたが、本番はうまくいった。最後まであきらめないでよかった。
A4: 中間テストの英語に失敗し、補習になってしまった私が3位に入賞したので、皆にとっても驚かれた。

第4位 伊藤 さやか 中2 (応援指導班チアリーディング部)

スピーチテーマ: If You Have Nothing... Share Your Vigor! (何もできなくても元気を送ろう)

- A1: 英語の授業後、先生に呼ばれ、参加をすすめられた。すすめられたことがとてもうれしくてがんばった。
A2: 松山千春さんが「知恵のあるやつは知恵を出せ。金のあるやつは金を出せ。何も無いやつは元気を出せ!」と言っていて、中学生である私は何も出来ないで、元気を与えられたらと思った。
A3: 入賞できるとは思っていなかったで、とてもうれしい気持ちで一杯でした。
A4: 家族もととても喜んでくれたが、先輩や、先生、友人などたくさんの人に声をかけられうれしかった。

第5位 笠井 理紗 高II (女子硬式テニス部)

スピーチテーマ: Be Curious (好奇心旺盛であれ)

- A1: 家族との海外旅行、イートンサマースクール、上海・建平中学研修を経て、海外文化を学ぶことが好きになり、英語でスピーチすることに挑戦したくなった。
A2: 海外へ行ってみて視野が広がった。中国にも親近感が湧いた。相手を知ればもっと相手を好きになれるということを知った。
A3: 入賞が目標だったので本当にうれしい。多くの人にお礼と感謝を伝えたい。
A4: 多くの人に祝福され、また、ほめてもらえた。

ほか出場者の氏名・スピーチテーマ

勝又 大智(中3) Let's Use Japanese Trees! (国産材木を使いましょう)

福田 響子(高I) Importance of Face to Face Communication! (対面コミュニケーションの重要性)

府川 華菜(高I) The Pets Which Can't Go Home (家に帰ることができないペットたち)

井上 龍一(高I) The Japanese Self Defense Force (日本の自衛隊)

藤橋亜寿美(高II) The Future of Kanji (漢字の未来)

2012年11月3日(土/文化の日)・4日(日)

創立100周年記念 紫 紺 祭

今年は創立100周年記念の年です。紫紺祭 P T A バザーも着々と準備を進めております。

明治大学付属明治高等学校・中学校100周年記念カレンダーをはじめ、P T A オリジナル記念グッズの販売も致します。

総明会の皆様のご来校をお待ちしておりますので、是非 P T A バザー・グッズ販売コーナーにお立ち寄りください。

明治大学付属明治高等学校・中学校 P T A
文化祭実行委員会 委員長 齊藤 文子

プレミアム大吟醸酒「男坂」総明会会員限定販売申込書 FAX0259-87-3105

氏名	
お届け先	
TEL	
申込内容	720ml @2,000円 本

男坂

お申込みいただく際は、本ページをコピーして、必要事項をご記入の上、FAXにてお願い致します。尚、お支払いはクロネコヤマトコレクト(代引)となります。「商品代金+送料+手数料」

株式会社 北雪酒造
新潟県佐渡市徳和2377番地2
TEL0259-87-3105 FAX0259-87-3173

第48回 総明会 総会・懇親会 詳細は2-3頁をご覧ください

2012年11月25日(日) ハイアットリージェンシー東京(西新宿)

皆様のお越しを一同お待ちしております

幹事学年
昭和60年卒

闘 紺 会



学校報告

SCHOOL REPORT



平成24年1月29日(日)

『吹奏楽班 第53回定期演奏会』

吹奏楽班第53回定期演奏会は、平成24年1月29日(日)、昭和女子大学人見記念講堂にて開催された。この日は冬の澄んだ空気に青空が映える好天だったが、風は冷たく、凍えるような一日でもあった。しかし会場に一步入ると、開演前にもかかわらず場内は熱気に包まれており、それは外の寒さとは対照をなすものであった。

人見記念講堂といえば、国内外の名門オーケストラの公演にも使われるコンサートホールである。その客席が空席もまばらになるほどに聴衆で埋め尽くされた光景は壮観であり、間もなくの開演に向けて何か胸の高まりを感じずにはいられなかったことをはっきりと記憶している。そして定刻13時に開

演となった。

第一部は「祝典のための音楽」から始まる4曲であった。明快で華やかな旋律が迫力あるハーモニーとなって響いてくる。練習の成果だろうか。ぎこちない感じは全くなく、音で綴る心地よい詩のようであった。

第二部はポップス・ステージであった。軽快な曲が次々と繰り出されてくる。歌も踊りも交えた演出は、かつて定期演奏会のステージにいた我々卒業生にはまったく経験がなく、驚きの連続でもあった。会場も盛大に盛り上がっており、とても楽しい時間を過ごすことができた。



そして第三部のステージは再び一転する。ここでの3曲は曲調を巧みに表現した芸術的な演奏であり、重厚感にもあふれた壮麗な響きは今の吹奏楽班の実力を堂々と披露したものであった。とりわけ最後の曲となった「王は受け継がれゆく」は壮大な交響詩であり、聴衆の惜しみない拍手はいつまでも鳴り止むことはなかった。

今回、実に20数年ぶりに吹奏楽班の演奏を聴いて思うのは、あの頃の我々が標榜していた手作りの音楽会が今となってはこれほどすばらしいものに進歩し発展した、という感慨である。吹奏楽班のこれからの活躍にはいつまでも声援を送りたいと思う。

文責：昭和60年卒 闘紺会 吉田 真実

平成24年2月5日(日)

『マンドリン部 第53回定期演奏会』

練馬文化センター小ホールにてマ

ンドリン部の第53回定期演奏会が開催されました。三部構成の第一部はクラシックの名曲を2曲、そしてオリジナル曲を1曲。少人数ではありますが、逆にそれを活かして1本の楽器の音色が聴衆に届くように、非常に精緻な完成された音楽表

現を感じました。

第二部は中学生演奏とコンクール受賞曲、協奏曲。いずれの曲も自信にあふれた堂々とした演奏です。

第三部は指揮が本校OBでもあられる音楽監督の久保田孝先生にかわり、またオケも人数を増やしてマンドリンオリジナルを3曲。大編成の曲への挑戦、意欲が情熱となって迫ってくるような感動的なクライマックスへ。約30年前に自分たちも演奏した曲も数曲あり、さすがに指つかいまでは思いつきませんが、メロディーは驚くほど正確に蘇ってきます。不思議です。

演奏会終了後、久保田孝先生にご挨拶をさせていただきましたが、学生たちへのあたたかい視線に、すばらし

い音楽家であると同時に優れた教育者であることを改めて感じました。先生の30年に及ぶ指導に感謝を憶えるとともに今後のマンドリン部の活躍、そしてそこを巣立つ若者たちの未来に胸が高まります。

マンドリンの演奏は一般的にはなじみの薄いものですが、明治高校のOBの方は在校時、休み時間などに教室の片隅でつま弾くその音色をごく自然に聴いていたに違いありません。定期演奏会に足を運び、その音色に触れれば遠い学生時代の記憶がまざまざと蘇ることでしょう。演奏が音楽としてすばらしいのはもちろん、そういった意味で他部のOBの方々も十分楽しめるはずですので、来年はより多くのOBの方々にもお越しいただければと思います。

文責…昭和60年卒 闘紺会 齋藤秀海



平成24年2月19日(日)

『第2回 紫紺の下に』

第2回「紫紺の下に」が紫紺ホールにおいて四部構成で開催された。

第一部は吹奏楽班によるポップス・ステージが行われた。中高班員総勢91名が奏でる「心をひとつにした明治サウンド」に酔いしれ、心地良いひと時であった。

第二部は明治高校応援団チアリーディング部によるステージが行われた。鮮やかな衣装に身を包んだチアリーダー達の演技は会場を優しい笑顔で包み、男女共学ならではの華やかなステージであった。

第三部は友情出演として早稲田大学本庄高等学院応援部によるチアリーディングステージとリーダー紹介が行われた。母校を応援するという同じ志し

をもった本庄高等学院応援部部員の熱い思いを感じたステージであった。

第四部は明治高校応援団リーダー部による校歌・応援歌・拍手の紹介が行われた。「第一応援歌 紫紺の歌」から始まり「学生歌」、チアリーディング部と共に行う「チャンス・パターン」、「嵐の拍手」等の紹介があり最後に「校歌」で締めくくる構成であり、会場と一体となり大いに盛り上がりを見せた。60年以上の歴史を持つ伝統ある応援団リーダー部の名に恥じない気迫あるステージであった。

最後に団長以下、平



成24年3月に卒業するリーダー部2名、チアリーディング部6名の幹部による応援団活動の最後となる挨拶があり、華やかな舞台の幕は閉じられた。明治高校が共学に変わり、応援団もリーダー部、チアリーディング部の二部構成になり四年が経過した。しかしながら、時代が変わっても、伝統を重んじ、「質実剛健」の精神の下に活動する姿は、変わりなく受け継がれている事を確認できたステージであった。

文責：昭和60年卒 閼紺会 紫宇都宮貴

平成24年3月10日(土)

『第64回 明治大学付属明治高等学校卒業証書授与式』

平成24年3月10日、朝から冷たい雨の降る中、明治高等学校・中学校講堂紫紺ホールにて第64回明治大学付属明治高等学校卒業証書授与式が執り行われた。紫紺ホールの前列に

卒業生徒、後列には保護者が着席し広い会場は満席であった。

開式、国家斉唱の後、田中徹太郎教頭先生から学事報告があった。本年度の卒業生の総数は255名(男子195名、女子60名)。明治大学や

他の大学への進路が発表された。

卒業証書授与は卒業生徒全員の名前が呼ばれ、総代として女子生徒が金子光男校長先生より卒業証書を受け取った。改めて男女共学校になったと感じられる光景であった。

続いての賞状授与は、優等賞2名、3カ年皆勤賞37名、3カ年精勤賞31名、特別教育活動表彰2名、総明会賞5名、学校外団体からの表彰7名が呼び上げられた。その後金子光男校長先生からの式辞。「いざさらば!」という最後のお言葉が力強く印象的であった。理事長、学長、PTA会長と祝辞が続ぎ、最後に総明会会長、尾島育四郎氏が卒業生徒に今日から総明会の一員とのお言葉

があった。

送辞、答辞と続き仰げば尊しの合唱が行われた。最近この歌を歌う学校は減っているようだが、卒業式にはあっているように思った。涙ぐんでいる保護者も多く見かけられた。

そして卒業生の退場。私たちの頃は制帽を投げて大声をあげて退場したが、今の生徒は担任を先頭に整然と歩いている。しかし、その顔は自信に満ち溢れて明るい未来に向かっているようであった。

式後、各クラスで卒業証書が渡された。教室に女子生徒がいることに全く違和感がない。完全に男女共学になったのだと時代の移り変わりを感ぜさせられた。学校創立99年、そして男女共学2期目の卒業生たち。君たちにはこれからの100年に向けて新たな伝統を築いてもらいたい。文責：昭和60年卒闘紺会中町晋一



平成24年4月6日(金)

『2012年度 明治高等学校・中学校入学式』



鵜澤総明ホール、聞きなれないホールの名前に首をかしげながら、取材開始。昨年まで紫紺ホールと呼ばれていたが、駿河台のリバティータワー1階が「紫紺ホール」と新規命名されたため、初代校長鵜澤総明先生の名にちなんだ、名称変更である。紫紺も捨てが

たいものであるが、やはり胸像が見守るがごとく、この名称が秀逸と考えるのは私だけであろうか。少し早めに入り、取材活動を開始。午前9時30分、式の司会を務める総務主任吉田重幸先生が新入生

を前にリハーサルを開始。主にお辞儀の仕方を中心に指導。その後、マンドリン部の演奏。演奏していた部員の半数が女子生徒であることに、共学化の実感がわいてきた。

マンドリン部の演奏と入れ替わりに、入学式にて演奏するために吹奏楽班が舞台上に陣取る。こちらも女子生徒が目立つ気がする。

開式、中学166名、高校262名の新入生があらたな希望を胸に学び舎に入ってきた。

金子校長の式辞を題すると「鉄は熱いうちに打て」。校長の話を傾聴する新入生および保護者。ビデオ撮影や写真撮影が盛んに行われた。程なく来賓の方より祝辞があり、まとめて次の

ような要旨に。日高明治大学理事長…
①リーダーシップを養え②多くの物事にチャレンジ。失敗を恐れずに勇気度胸 ③心から信頼できる友を作る

富宮明治大学学長…①他者との出会い ②力強い心と身体 ③広い心を持って

総明会員でもある朝倉会長は、新入生に向けて、「君たちは父母として先生という2本のレールの上の列車に乗っている。一人で乗っているのではない、先輩、後輩そして同輩がいる」との暖かいメッセージを伝えた。

しめくりは校歌3番まで。舞台上にスクリーンが掲げられ、そこに映し出される校歌の歌詞。さすがに新入生が主役な式であるので、校歌3番まで唱和できる人は少なかったが後には、きつと、3年または6年後には、「白雲なびく」を胸に、有為な人材が巣立つところであろう。

文責…昭和60年卒 闊紺会 鈴木重之

平成24年4月20日～23日

『吹奏楽班 台湾演奏会』

2012年4月20日～23日。明治高校吹奏楽班は台湾国際音楽祭に日本代表として招待され公演を行なってきました。2011年のウィーン楽友協会単独公演に続きこのところ国際舞台での吹奏楽班の評価は非



常に高くなっています。台湾での吹奏楽は国民的に人氣があり、演奏した生徒たちもまるでスター扱いで写真を撮られたりサイン攻めにあったり・・・コンサートの後は「出待ち」がいてホールから

出られなかったりと、本当に大歓迎を受けました。

合計3公演はどの会場もスタンディングオベーションで大盛況。交流した台北市立景美女子高校では英語でコミュニケーションを取り、2時間余りの交流でしたが最後は別れを惜しんでバスからずっと手を振っていました。慣れない食事と環境(台湾の方々はとても時間におおらかで、スケジュールは有って無いようなもの・・・)。リハーサルのはずが突然本番だったり、借りるはずの楽器が届いていなかったり)の中でも生徒たちは常にお客様を楽しませるという目的のために全力で集中して音楽に取り組んでいました。

最終日には唯一の観光があり楽しみにしていましたが、国立故宫博物館の滞在時間がなんと1時間！1番有名な「白菜」を見るために30分並んで・・・5分見て帰国・・・まあ、大変な珍道中ではありましたが、非常に実りの多い台湾ツアーでありました。

最後になりますがこのツアーのことを明治大学校友会台湾支部幹事長の鍾様にご連絡申し上げたところコンサート会場に立派なお花をいただき、さらには夫婦で会場にコンサートを聴きに來てくださり、大変ありがたかったとともに明治の絆が世界でも強いことを生徒たちと一緒に実感し、また感激しました。改めて卒業生の皆様に御礼申し上げます。

文責：吹奏楽班顧問鈴木正人先生

平成24年6月9日(土)

『100周年PTA講演会』

文化厚生委員会は、PTAの皆様
の家庭教育に適した文化活動を行
います。主な活動は年一回講師の先生を
お迎えし、講演会を開催しております。
教育・生活向上の為講演を通して参考
にして頂ければと思っております。



今年は、6
月9日に行
いました。創
立100周年記
念の年とい
う事もあり
ましたので、
講師の先生
には、本校
卒業で、世
界で活躍さ
れている明
治大学

理工学部情報科学科教授の向殿政男
先生をお迎え致しました。「私たち
身の回りの安全を考える」こんにやく
ゼリーから原発・放射線まで」をテー
マに、講演をしていただきました。向
殿先生のご専門は安全学です。色々な
安全が取り沙汰されている昨今、丁寧
に分りやすくお話しして下さいました。
日常生活の身近な問題を取り上げて
下さいましたので、大変勉強になり
ました。

また向殿先生の明中高時代の楽し
いお話も伺えて、母校を愛して下さい
ている温かいお気持ちも伝わって参
りました。

今年は特別な年でございますので、
多くの皆様にご参加頂けるように例

年以上にお声掛けをしました。金子
校長先生をはじめ、教職員の皆様方、
PTA役員、学級・常任委員の皆様方
それぞれで協力をして頂き、文化厚生
委員はクラス・クラブ関係のお知り合
いの方に一軒一軒電話でお誘いしま
した。当日は、食堂の食券販売機の所
で講演会のお誘いをして急遽参加され
た方もおられました。その結果多くの
方々が参加して下さいました。先輩方
にもいらして頂き楽しい一時を過ごさ
せて頂きました。参加された皆様から
は「とても貴重なお話しを伺えて良か
つたです」と多くの声が寄せられてお
ります。本当に、皆様のご協力に感謝の
気持ちで一杯でございます。

また来年度喜んで頂けるような講演
会を開催出来ますように、委員一同努
力して参りたいと思っております。

文責：PTA文化厚生委員長

淵野宏枝

平成24年6月11日～30日

『シアトルからの留学生』

6月11日から30日の20日間、アメリカ合衆国ワシントン州シアトルからマッケンジー・クウエン・孝君（18歳）が留学生として高校三年生に受け入れられた。以前、英語科講師として在籍されたマッケンジー先生の息子さんだ。

「僕が、日本の高校生を体験してみたい、と父に話したら、親友の並木先生（中学教頭）とメールでやり取りしてくれて、明高へ留学できるようになった」
彼は余程難しい言葉でなければ、日本語は今の学生語も話せるし、



英語スピーチコンテストで挨拶するマッケンジー君

英語はもとより、中国語、スペイン語も話すことができ、「英語スピーチコンテスト」では4カ国語で挨拶したほどこだ。

但し、授業については「全て日本語なので難しかったですが、先生方が面白くて楽しいです」とのこと。

明高生については、「とても面白いし、楽しいし、優しく、みんないい人たち」で、一緒にゲーセンやメ

イド喫茶にも行ったそう
だ。

「明治高校に長くいられないのはとても残念なこと

です。3週間という短い時間にはできることは限られています。出来たら、残って、文化祭や球技大会を楽しめたら、どんなに良いことでしょう。今回の留学で、唯一の不満です。」

「明治高校はもつと国際関係を高めるといいと思います。今の時代は国々が頼り合っていますから、日本は時代に遅れないように、留学生をもつと受け入れ、他国の文化を学ぶことです」

今後は「日本の大学の英語プログラムに入学するつもり」だそうで、友人となった明高生と再会する日も近い。

グローバル化を推進している明高は、彼が言うようにきつとなっていくことであろう。

文責：昭和60年卒闘紺会大貫俊隆

平成24年6月23日(土)

『オープンキャンパス2012』



明治中学受験志望の小学5・6年の親子を対象とした、この体験型イベントは、6月11日午前7時よりWeb上で申込みが開始され、わずか10分で満席(参加定数:1500名※1

家族3名まで)となり、追加募集先着

300名)が行われるも、

またすぐに満席。追加募集

では授業体験のWeb予

約はできず、僅かな席数が

当日先着順となっている。

はつきりしない天候の

中、6月23日(土)午前中に



開催されたオープンキャンパス。開始1時間前、既に

受付には長蛇の列が出来ていて、中には娘さんと一緒の同期も見られた。

3つのプログラムの内、一番人気は「授業体験」で、全9講座(左頁別表参照)あり、この講座を受けて明治中学志望を決定した生徒が多いと聞く。集中して授業を受ける小学生、教室から溢

れんばかりの保護者を見て

も、大変好評を博している

ことが分かる。特に「理科

実験講座」は、先生指導の

下、生徒が実験補助を務め

るというものである。

2つめは「クラブ体験」



である。全20の班・クラブ(左頁別表参照)が参加。スポーツ系クラブ、文化系クラブともに生徒自ら企画・運営されていて、小学生に対し丁寧な説明、指導する姿が多く見受けられた。鶴澤総明ホールでは吹奏楽班の演奏及び応援指導班の応援が公開されていて、こちらも人気を集めていた。

3つめは広報企画で「先生と話をう」「中1と話をつ」「中1〜3年保護者による学校説明会」がある。中でも、中学1年生が小学生に対し一生懸命に話をしている姿は可愛くも真剣そのものであった。

そして、先生

方と連携して受

付や案内をテキ

パキとこなして

いたのは、近年

は男女ともに人



授業体験してみませんか			クラブ体験してみませんか	
国	合格への国語 坂口 泰通 先生	入試国語の大ベテラン が秘策中の秘策を伝授	サッカー部	将棋部
	ことばであそぼ 山口 弘 先生	お茶の水女子校時代の 超人気講座が復活	ソフトテニス部	書道部
語	四字熟語を勉強しよう 佐藤 秀加 先生	国語科のモダンが厳選 した四字熟語を披露	バスケットボール部	ESS
	ちずであそぼ 齊藤 信弘 先生	連続開講記録更新中の おなじみの講座	バドミントン部	歴史研究部
算	算数「関根塾」 関根 正人 先生	数々の伝説を生んだカリ スマが算数力を信増	卓球部	コンピュータ部
	明治ゼミナール 元谷 恒 先生	数学科のエースが入試 に出そうな問題を解説	剣道部	ダンス部
数	算数教室 中村 容子 先生	数学科ホープの明治数 学の真骨頂を堪能	吹奏楽班	図書班
	理科実験講座 櫻井 清孝 先生	明治中学・高校の精鋭 助手たちが実験補助	応援指導班	物理部
理	英語であそぼ 塩原 洋二 先生	英語科のニューフェイスが 新しい英語の魅力を	美術部	生物部
英			鉄道研究部	地学部

数が増えている生徒会本部。その活躍の場のひとつがこのイベントである。
取材の身であっても十二分に楽しめた紫紺祭さながらのこのイベントは、来年以降も有意義に行われていくことであろう。

オープンキャンパスに 山本寛斎氏が来校



本学応援団を長期取材したテレビ番組をたまたま観て、大変感動したという山本寛斎氏が

オープンキャンパスの応援指導班公開応援に来校されたので、コメントをいただいた。

「世間ではファッションデザイナーと認識されていると思いますが、オリンピック開会式規模のイベントを今まで数多く演出してきました。演出は全体を見なければならぬのですが、中学高校と6年間、応援団にいて、応援をリードする中で1500人の内の一人の動きが遅れてもそれを見抜ける能力がついたと思います。」

女子が共に活動していることにも驚きましたが、少年たちの純粋な姿に理屈抜きで感動しました。



素晴らしい生徒たちが育まれていると思います。」

急なインタビュに快く応じて戴き、本当にありがとうございました。

文責：昭和60年卒 闘紺会 大貫俊隆



『明治中学・高校報告』

班・部活動の報告

男子硬式テニス部

東京都中学校新人テニス大会

個人シングルの部

都大会進出

中3 E 松本 紀博

東京都中学校テニス選手権大会

個人ダブルスの部

第12位

高1 G 菊池 晃輔

高1 B 近藤 直幹

高1 C 小平 直紀

高1 G 守田 大輝

個人ダブルスの部

都大会進出

高1 A 奥本 尚樹

高1 G 田口 諒

個人シングルの部

都大会進出

高1 A 奥本 尚樹

高1 G 田口 諒

東京都中学校テニス選手権大会 東京都大会

個人ダブルスの部

東京都ベスト32

高1 A 奥本 尚樹

高1 G 田口 諒

団体の部

東京都ベスト16

東京都私立中高テニス選手権大会

個人シングルの部

第5位

高1 D 是枝 拓人

中学第9ブロック冬季研修大会

団体の部

準優勝

ソフトテニス部

第9ブロック春季大会

個人戦

優勝

中3 A 茂木 明梨

中3 B 西本 明日香

団体戦

準優勝

スキー部

第47回関東高等学校スキー大会 関東大会出場

中学野球部

第9ブロック中学校春季大会

ベスト8

第65回東京都中学校野球選手権大会

優勝(都大会・多摩地区大会進出)

硬式野球部

東京都高等学校春季野球大会13ブロック

優勝

美術部

第9回日台文化交流青少年スカラシップ

優秀賞

高1 D 磯兼 由梨奈

水泳部

第20回東京辰巳水泳大会

中学女子200mフリーリレー

優勝

中3 D 太田 葉月

中2 A 橋本 佳奈

中2 D 石垣 瑛玲

中2 D 権瓶 日向子

バレーボール部

全国私立高等学校バレーボール男女選手権大会

男子予選リーグ

第3位

柔道部

関東高校柔道大会 東京都第4支部予選

男子団体

敢闘賞(都大会進出)

関東高校柔道大会 東京都予選

男子団体

ベスト32

全国高校柔道大会 東京都第4支部予選

男子団体

敢闘賞(都大会進出)

全国高校柔道大会 東京都予選

男子団体

東京都ベスト32

高1 B 松本 拓也

高1 C 杉本 勇人

高1 D 竹内 峻己

高1 F 田中 康博

高1 F 横山 友幸

バドミントン部

東京都インターハイ予選

男子団体戦

ベスト32

バスケットボール部

東京都高校男子インターハイ予選

ベスト32

鉄道研究部

第37回日本写真家協会展 20歳以下部門入選

「東北の鉄道を守る」

高1 F 岡田 光平

卒業生の活躍 2011年度

本校卒業生2名が司法試験に、3名が公認会計士試験に、2名が国家公務員1種試験に合格いたしました。おめでとうございます。

なお、明治大学における成績優秀者と併せ、本年より行われる「明高卒業生顕彰式」(9月29日・紫紺館)にて表彰されることとなりました。今回は100周年を記念し、昨年度も対象となります。大学より、理事長、学長、常勤理事5名、本校より校長、副校長、高校教頭、中学教頭、高大連携主任が出席します。

司法試験合格者

吉田 朋師(平成14年卒)
平塚 有祐(平成17年卒)

公認会計士試験合格者

石垣 貴博(平成20年卒)

白坂 直己(平成20年卒)

新島 高史(平成21年卒)

国家公務員1種試験合格者

鈴木 寛(平成20年卒)

難波 信博(平成20年卒)

ご退職の先生

平成24年3月を以てご退職されましたのは、2名の先生です。

小西 哲男先生(保健体育)ご退職

西原 春雄先生(英語)ご退職

小西先生は、昭和50年より37年間、多くの生徒に保健体育を教え、中学教頭、高校教頭、副校長を歴任、剣道部顧問もされていました。

西原先生は英語の授業を担当され、スキー部顧問をされていました。

先生方、ありがとうございました。そして、お疲れ様でした。

硬式野球部が調布市より表彰

本年2月25日、硬式野球部が調布市・調布市青少年問題協議会より表彰を受けました。調布に移転して間もなくの頃より周囲の方々に貢献できなかったこと、飛田給駅周辺を週1度清掃していたことが評価されたものです。

吹奏楽班

3月25日に伊奈高校吹奏学部を迎え、第2回ブラスの祭典を開催。また、4月1日には、味の素スタジアム西競技場のオープン記念イベントに参加。会場を盛り上げました。

学校の近況が明治高等学校・中学校のホームページで詳しく紹介されています。是非一度ご覧ください。(検索サイトで明治高校と入力していただくか、以下のURLのサイトでご覧いただけます)

http://www.meiji.ac.jp/ko_chu/



新任先生紹介



名前：塩原 洋二

生年月日：1985年2月13日

出身地：東京都

出身学校：明治大学

担当授業：総合英語、英文法(中学1年)

担当クラブ：中学野球部、陸上競技部

抱負

Head, shoulders, knees and toes
♪という音楽が流れると、子どもたちは頭、肩、膝、つま先と順にタッチしていきます。小学校でやったことがあるのでしょうか。そのあとは言わずと知れたSimon saysというゲームをします。最初は教師のジェスチャー付きで、難易度が上がると口頭の指示だけで、生徒は指示通りの動きをしていかなくてはいけません。間違えた動きをすると失格です。どんなにトリッキーな指示をしても、クラスで3人ほどは勝ち残ります。

これは中学1年生1学期の命令形の導入です。ここまで全て英語しか

話しません。生徒は何をすればいいか的確にとらえます。そして、誰もが楽しそうに体を動かします。

また、毎回の授業のスピーチ活動として、生徒は自分の宝物を紹介します。事前に原稿を仕上げ、当日は原稿を見ずにスピーチをします。もちろん中学1年生の英語です。シンブルな英語ではありますが、重要な情報は伝えられます。

このような活動のように、子どもたちが英語が分かる・使える楽しさを体感してもらえような授業を続けたいと思います。

そして、将来生徒が活躍の場を広げるときに、英語力そのものはもちろん、英語を学ぶ上で経験したコミュニケーションの数々が役立つことがあれば幸いです。



新任先生紹介



名 前：佐々木 仁美

生 年 月 日：1978年9月26日

出 身 地：宮崎県仙台市

出 身 学 校：宮城県第一女子高等学校
津田塾大学

早稲田大学大学院

担 当 授 業：総合英語、英文法(中学2年)

担当クラブ：マンドリン部、ESS

抱 負

本年4月に明治中学・高校に着任し、現在、中学2年生の英語科を担当しています。非常勤講師としてお世話になった一昨年は、優秀な生徒や熱心な先生方に囲まれ、充実した教員経験を積むことができました。この度、再びこの歴史ある学校の教壇に立つ機会を得ることができて、有り難く感じています。ところで、私は大学院で東洋哲学を専攻していました。その頃出会った言葉で、私が特に大切にしているのが「学びて厭わず、人を誨（おし）えて倦まず」という『論語』の言葉です。『論語』というと古臭くて、頭が堅いというイメージがあるかもしれませんが

が、この一節は未来や変化に対して前向きであることの意義を伝えています。学校には毎年たくさんの新しい子どもたちが入学し、また卒業していきます。これから年を重ねるにつれ教員にとってすくには理解しがたい新世代の生徒も登場してくることでしょう。それでも私は「人を誨えて倦まず」の精神で、この学校の生徒たちと長く関わっていきたいと思います。と同時に、生徒においても「学びて厭わず」の精神を忘れない人間になって、卒業してほしいと思います。何が起きるか、先の読めない時代にあっても、自ら変わることを恐れず、新しい経験を楽しめる人間であること。明大明治の一員として、その応援をしていきたいと思っています。



新任先生紹介

名前：石黒 祥樹

生年月日：1986年10月12日

出身地：東京都

出身学校：世田谷学園高等学校
早稲田大学スポーツ科学部
スポーツ文化学科

担当授業：保健体育

担当クラブ：サッカー部、ソフトテニス部



抱負

創立100周年という大きな節目を迎えた記念すべき年に、本校での教員生活をスタートさせる事ができた事を大変嬉しく思います。真面目で素直な生徒たちと触れ合う中で、日々その責任の大きさを痛感しています。生徒が本校を巣立った先で、さらなる飛躍ができるように一杯指導していきます。

本校の生徒たちには、世の中を引っ張っていけるリーダーになってほしいと考えています。私の考えるリーダー像とは、実行力の備わった人格者です。そのために、社会に出るための準備期間である学校生活の中で、沢山の失敗経験をさせてあげ

たいと考えます。体育の授業は、実技教科という特性上、上達するためには小さな失敗を沢山しなければなりません。失敗は時に恥ずかしい事ですし、逃げたくなる事です。しかし、その失敗を積み重ねた先に成功があり、達成感を得る事ができます。そのような経験の一つ一つは些細な事かもしれませんが、ただ傍観しているだけでは得られない貴重な経験です。その一つ一つの経験が生徒の実行力を育む助けになると考えます。

高校3年間はあっという間に終わってしまいます。その短くも濃い3年間に様々な事を伝えられるように、私自身も精進しながら、全力で生徒にぶつかっていきます。私は、明治の看板を背負ったリーダーが世の中を牽引していく日は近いと確信しています。



Pickup CLUB



サッカー部



箕浦啓喜部長

2011年度、全国高校サッカー選手権大会東京都予選では、過去最高の東京Bブロックでベスト16まで進出し、前年度の優勝校である駒澤大学高校に対し惜敗したものの、最後まで諦めないプレイを貫き、とても印象

的な試合をしたサッカー部に注目した。

サッカー強

豪校は、セレクトシオン等による選手の補強をする中、明治高校は普通受験に合格した生徒を、中・高

一貫で育成し強化している。現在部員数は、高校・中学各60名強で、女子マネージャー3名を含む、120名超の部員数を誇る、全校生徒の約10分の1が在籍する大所帯である。

昨年より村主光平新監督を迎え、選手が自発的に考えて勝負にこだわりを持つようになり、それを「楽しむ」ような試合が彼らを成長させているようだ。

創部以来、顧問を務めていただいている田中教頭先生、中学サッカー部の顧問を長く務めていただいている清水先生、一昨年より副顧問として活躍いただいている清原先生に加え、新任の石黒先生に副顧問として加わっていただき、ますます充実の人員と

なっております。

校庭に人工芝の素晴らしいグラウンド持つ恵まれた環境の中、モットーである「フェアプレー」の精神を持ち、楽しく、厳しい練習を繰り返し、初心者の中1年から、6年間の一貫指導により、大学体育会で活躍するOBまで誕生している、好きな事に最大限の努力をするサッカー好きの少年たちが、強豪校の仲間入りをするのは、もう間もなくであると信じていたい。

キャプテンの箕浦啓喜君は、「今年のチームは、全国高校サッカー選手権大会東京都予選で優勝し、全国大会出場を目標に頑張ります」と力強く語ってくれた。

創部して17年のサッカー部が、「これからの100年」に何度も何度も全国大会に出場する事を期待したい。

文責…昭和60年卒 闘紺会 山本伸幸

Pickup CLUB



ダンス部



溝垣奈未部長

ラブであります。

“HIP HOP、パンキン、HOUSE、ROCK、ガールズ…”
これ何の事だか分かりますか？わかる方は、お若い方か、ダンス好きな方だと思えます。ストリートダンスの種類だそうです。

2012年

明治高校創立100周年の記念すべき今年に誕生したのが「ダンス部」であります。「これから100年」に発展して頂くて頂きたいク

気温が30度を超える真夏日の7月14日土曜日に取材にうかがいました。鵜澤總明ホール前の廊下で30名を超える女子生徒が、汗まみれでダンスの練習を行っていました。

部長の溝垣奈未さんによりますと、部員数高校生19名、中学生15名の計34名が在籍し、明治高校OBでもある、宮下崇先生が顧問となり、2009年にダンス同好会を立ち上げた現在大学二年生のOGを中心にコーチをして頂き、週4回の練習を行っています。

ダンス部のモットーは、「自分たちも楽しんで、観てくれる人に楽しんでいた」です。



部活動に昇格した今年度より、年に2回開催される高校生ダンスコンテストに出場し、入賞する事が目標となっています

すが、春に出場したコンテストでは、専門的な指導者がいない事もあり、ダンス強豪校との差を大きく感じさせられました。

生まれたばかりの「ダンス部」。この口惜しさをバネに是非頑張つて頂きたい。そして、もう一つの目標である、文化祭での“紫紺賞”を獲得出来ますようお祈りしています。

文責…昭和60年卒 閼紺会 山本伸幸



木のぬくもりを生かした
より良い空間をご提案します。

ちょっとしたメンテナンスの ノウハウお教えします!!

ご自身でビル管理をされている方など、
ちょっとしたメンテナンスを自分でされたい
方に、道具・材料の選定、施工ノウハウなど
指導に伺います。

- ◎マンション・オフィスビル
共用部・外部大規模修繕工事
- ◎共同住宅緊急対応メンテナンス工事
(悪天候・暴漢被害等による損壊に伴う緊急対応補修工事など)
- ◎マンション専用住居部分リフォーム工事
- ◎オフィスビルOA対応改修工事
- ◎店舗リニューアルに伴う改修工事
- ◎戸建て住宅
(木造・軽量鉄骨等) 全面メンテナンス、内装リフォーム設計施工

マルサンアークウッド株式会社

〒135-0033 東京都江東区深川1-3-11
パークフロントビル3階
TEL.03-6458-5103 FAX.03-6458-510
<http://www.e-03.co.jp>

マルサンアークウッドパートナー会社

看板・手摺・鉄骨部・建物に係わる金属部のメンテナンスのプロフェッショナル。

有限会社 リンクスコーポレーション

代表取締役 **田村 達也**

〒263-0001 千葉県稲毛区長沼原町268-4
TEL.043-250-0101 FAX.043-250-0131
E-mail links_tamu@ybb.ne.jp

ガラスの事故・サッシ・ドアなどのトラブルに即対応。網戸の交換なども対応します。

箕田硝子株式会社

代表取締役 **佐味 忠明**

〒160-0007 新宿区荒木町20
TEL.03-3359-4755 FAX.03-3357-4682
E-mail mimoda-g@nifty.com

内装・造作のプロ。棚一枚から全面リフォームまでていねいな仕事で幅広く対応。

有限会社 マイスターホーム

工事担当 **瀧川 博光**

〒273-0118 鎌ヶ谷市中沢1223-9
TEL.047-444-8897 FAX.047-498-6560
<http://www.meisterhome.jp>

給排水関係、水回りのプロです。一戸建てから、高層ビルまで施工実績豊富です。

有限会社 リプロス

代表取締役 **五関 俊行**

〒272-0816 市川市本北方2-34-30
TEL.0120-48-1010
TEL.047-338-8830 FAX.047-338-0004

電気総合のプロフェッショナル。LED電球交換・緊急対応も迅速です。

有限会社 大野電器商会

代表取締役 **大野 修一**

〒261-0026 千葉県美浜区幕張西2-7-5
TEL.043-271-3794 FAX.043-271-3725
E-mail ohno@ohnodenki.co.jp

祝 創立 100 周年



植村成典 昭和 60 年卒 闘紺会

株式会社ガジーゴ
金券ショップ チケッティ
<http://www.tickety.jp/>

新小岩店 東京都葛飾区新小岩 1-51-3 Tel:03-5879-3929
錦糸町店 東京都墨田区錦糸 3-4-10 Tel:03-6658-8930
御徒町店 東京都台東区上野 4-1-1 Tel:03-5812-4463
北千住店 東京都足立区千住旭町 3-8 Tel:03-5284-7570



同期会 班クラブOB・OG会 活動報告

明高一期会(24年卒)	74
明二会(25年卒)	75
明高会(27年卒)	76
昭和30年同期会(30年卒)	77
明楽会(31年卒)	78
二年に一会(38年卒)	79
三九会(39年卒)	80
41明友会(41年卒)	82
M41(42年卒)	83
男坂倶楽部(44年卒)	86
獅子の会(45年卒)	87
四七四七同志酔会(47年卒)	89
翼明会(49年卒)	90
明紫会(50年卒)	92
明々会(51年卒)	94
男子校根性組(52年卒)	96
明誠会(54年卒)	98
紫魂会(55年卒)	100
明翔会(56年卒)	101
明魂会(57年卒)	104
明輪会(58年卒)	106

明心会(59年卒)	108
闘紺会(60年卒)	110
新世輝(61年卒)	114
昭和戊辰乃会(63年卒)	116
硬式野球部OB会(明球会)	118
應援團OB会	119
剣道部OB会(見心会)	120
スキー部OB会(明雪会)	121
バレー部OB会	122
バスケットボール部OB会	123
サッカー部OB会	126
放送班OB会	127
物理部OB会(明物会)	128
歴史研究部OB会	129
ごとう会	130
卯の木会	131
明治高校を甲子園に送る会	132
ヤマダ大感謝祭	133
松枝先生23回忌	134
小西先生送別謝恩会	136

『明高一期会』
いちごかい

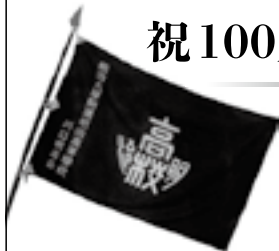
昭和24年卒 内藤 功

私たちの会は明高一期
会といえます。昭和18年
(1943年)4月に旧制明治中学校に入りました。戦
前戦後の学制改革により、出
るときは三つに分かれました。昭和24年(1949
年)3月に明治高校卒
業の人。昭和23年(1948
年)に旧制中学の五年
卒業の人。昭和22年(1947
年)に旧制中学四年修
了の人。みんな一緒に仲良く
明高一期会でやってい
ます。ここ十二年來は、
毎年6月の土曜日に、
神田のどこかで集まっ

ています。

みんな八十を過ぎました
が、この世代は、第二次大戦、
空襲、食糧難、戦争、敗戦、新
しい憲法、新しい教育と変化
のある時代を乗り切ってきた
ので、それなり根性がありま
す。一番最近の集合写真が、
平成21年(2009年)の会
です。真中にいるのが恩師栗
原圭介先生(漢文・故人)、そ
の右隣が恩師松本理三郎先
生(数学)。栗原先生の左は
栗原先生の御息。その他
は明高一期会の面々です。

祝100周年 川口明高会 (創立 昭和53年)



川口明高会旗

初代会長 大熊 康浩 二九卒

二代会長 目良 昇 三一卒

三代目会長 久松 勇 三三卒

四代会長 天野 洋一 三五卒

五代目会長 荻野 布昌 四十卒 物産

六代会長 石井 次男 四三卒

七代会長 由本 俊昭 四五卒

八代会長 土屋 悌一郎 四八卒

【事務局】

川口市 峯30714

石井 君忠 五七卒
048-29413780

『明二会』 めいにかい

昭和25年卒 小田川 玉城



明二会 会員も八十路の坂を超えました。私達の明治中学入学は昭和19年4月、入学式には鶴澤総明校長（明治大学総長・後の極東軍事裁判弁護団団長）の訓話を受け、「胸

には勲章、立派な人だなあ」と感銘し、「帝都の真中駿河台・・・」の校歌を初めて合唱し式を終えました。

学校には、胸に名前・背中に鉄兜・防毒マスク・腰に非常食の煎り米・足にゲートルを巻いて通学しました。やがて東京はB29の空襲が激しくなり、空襲があつた翌日は級友が欠席になり、先生からは何の話もなく、生死も不明、教室は菌が抜けたようでした。級友達は黙して語らず、明日は我が身と思つていたに違いない。学校では上級生は勤労働員され、私達は授

業とは程遠く焼け跡整理奉仕の日々でした。昭和20年8月15日玉音放送があり、戦争は五分五分の終戦かと思いましたが、敗戦という事で口惜しさに泣けました。

2学期が始まり、級友と宮城前に額ずき「天皇陛下申し訳御座いません」と二度三度唱えました。当時アメリカ兵は常に2名1組で戦闘服に自動小銃を肩に下げ行動していました。彼らと顔を合わせれば、睨みつけるのが最後の抵抗でした。私が明治中学1年から軍人組の（軍人志望）部員だったからだと思

います。戦後占領軍（GHQ）指令により明治中学校には校歌が無くなつていたのですが、数十年後一級下の卯木敏夫氏より昭和20年の入学式

は無かつたと聞かされました。「帝都の真中」の入学式は私達が最後の様です。毎年の総明会には明二会より数名出席、16人が出席したこともありましたが、「近年は我一人」寂しさは感じません、皆さんのお蔭です。

平成20年以降諸事情により明二会の総会・懇親会は開催されず、休眠状態でしたが、会員の希望もあり、今年幹事の再編をして6月16日に平成24年度の総会・懇親会が発足。参加14名、唯一の恩師松本理三郎先生をお迎えして、神楽坂で盛大に？開催致しました。よわい90歳の先生の元氣さに刺激され、あやかりたく次回を約束して終了しました。老いて益々盛んな明二会の級友達です。

『明高会』
めいこうかい

私共明高会は、全体での同期会は、ここ十数年間開催しておりません。とは申しまでも個々の気の合う連中での小グループの会合は、数多くございます。

夕方の一パイ飲みながら集まって、学生時代に返って話に花が咲き若返ります。中でも最大のグループは「小ふで会」でしょう。この会は元校長福島先生を囲む会から発足いたしました。

毎年六月の第三金曜日に銀座の三笠会館で開催されており。三笠会館は内藤彰氏（後に東京大学）が経

昭和27年卒 吉田 満

理の面倒を見ており、勝畑喜市郎氏の神田の実家が鮮魚のお出入り業者です。

昨年は、新田満夫氏（後に早稲田大学）が参加され、年々参加者が多くなっているのは正にオドロキです。これも連絡係の渡辺幹夫氏が毎回の通知をイヤガラス・マメにお知らせをして頂けるお陰です。しかし、総明会はなんと申しましても、学校全体の卒業生最大の催しです。本年平成二十三年度からは女性の卒業生もお仲間入りです。毎年廻り持ち担当の卒業生年の皆様も気合いを入れて

頑張っております。

本年は中学・高校創立100周年で、闘紺会の皆様が努力しております。せいぜい老骨にムチを打って参加してみませんか!! 楽しいですよ! 若返りますよ!

昭和二十七年卒

米山 耕右

昭和三十三年卒

米山 武男

昭和34年卒 明高野球部OB



丸マルキュー株式会社

代表取締役

宮澤 政信

〒363-8509 埼玉県桶川市赤堀 2-4
TEL: 048-728-0909 FAX: 048-728-3909

ホームページアドレス <http://www.marukyu.com/>



マルキュー ECOGEAR FishLeague PRIME AREA

小坂法律事務所

弁護士

小坂 嘉幸

昭和34年卒

〒110-0005
東京都台東区上野3-17-8
田沼第1ビル4F

TEL. 03-3831-6032
FAX. 03-3831-6037

『昭和30年卒業同期会』

昭和30年卒 昭和30年卒業同期会世話人 石田 彰之

私ども同期会は、平成24年6月29日（金）午後6時より、如水会館（千代田区一ツ橋）にて開催しました。



出席会員は26名で御来賓を併せ31名の盛会でした。当日は会員の全員から一人ずつ自己紹介があり壇上のメインマイクにて近況等を報告してもらった。宴酣なうちに約2時間はアツという間に経過した。その中で本文中の集合写真は、その時の延長線上の一齣です。明治高校在学時の面影は、歳はいつても残っていて高年生の頃の「ああなつかしい古い顔♪」だ。定刻を過ぎ終宴となり現役の応援団員のリードで「白雲なびく…」の校歌斉唱となった。

た。閉会にあたり次回は80才でまた逢おうとなったが、77才喜寿の祝いを迎えた年に再会しようとの声もあつた。また当会の名称を「三〇会」と名付けたらどうかの提案もあつた。

明治高等学校
昭和30年卒業
同期会
会長 宇田川 雄弘

株式会社フジモト
代表取締役

藤本芳徳

（昭和三十年卒 応援団OB）

〒三三八〇〇一
埼玉県さいたま市中央区大戸五二一八
TEL. 〇四八（八三一）六九一八
FAX 〇四八（八三三）〇二九〇

明治高等学校 昭和30年卒
同窓の友・共に社会奉仕活動をしませんか
駿河台ライオンズクラブが貴君の
入会申し込みを待ってます 連絡は下記へ
ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区
元地区ガバナー **宇田川 雄弘**
（東京練馬L.C所属）

●入会についてのお問合せ●
TEL 03-3993-5381 090-3138-4234

株式会社 伊勢宇本店
清酒「伊勢盛」発売元

代表取締役

大山 秀雄

昭和33年卒 庭球部OB

東京都台東区鳥越1-29-5
TEL.03-3851-5490
FAX.03-5687-4435

『明楽会』 めいらくかい

第48回総明会、創立100周年おめでとうございます
私共、明楽会は毎年11月第一金曜日に定期的に同期



昭和31年卒 佐藤 健一

会を開催しております。昨年は事務局長熊倉氏他1名に参加して頂き、若き後輩の参加に会員一同喜んでおりました。

毎年30名近い参加者の中で古き良き時代の思い出に花が咲きなつかしく語り、時の経つのも忘れる位です。

世を去る者、又久しぶりに再会する者、色々ありますが一人でも多く参加者が増える事に会長として努力して参る次第です。

本年も来る11月2日(金)に日比谷公園「松本楼」に

て開催致します。
今年はどうな顔ぶれが揃うか楽しみにして寄稿致しました。これからも総明会のますますの御発展を祈念してやみません。

祝 第48回 総明会
昭和31年卒
明 楽 会
会長 佐藤 健一

祝 第48回総明会総会
本校卒業50周年記念
昭和38年卒
二年に一会
会長 三浦 昭生

昭和37年卒
新麹町法律事務所
弁護士 福島啓充
〒102-0083
千代田区麹町3-7-4秩父屋ビル5階
TEL 03-3234-0511
FAX 03-3234-0510

昭和三十七年卒
柚木法律事務所
弁護士 柚木 司
〒101-0041
千代田区神田須田町二丁目三十一番地
電話 〇三三二九四六二九〇
FAX 〇三三二九四六二九〇

本校卒業 50周年記念 『二年に一会』

昭和38年卒 二年に一会 会長 三浦 昭生

ことは明中・明高創立
100周年、合わせて卒業50
周年の記念すべき年に当た
る、昭和38年卒の同期会「二
年に一会」です。高度成長期
の昭和32年から38年まで明



治中学校、明治高校で一日で
も一緒に学んだ、すべての同
期生が会員なのです。卒業
の翌年に第1回の総会、懇親
会を開いてから隔年、つまり
2年に1回、開催ごとに代わ
る代わる代表幹事を決め、昨
年10月8日(土)の都市セン
ターホテルでの第26回(写真)
まで、一度も欠かすことなく
「二年に一会」を会名として
同期会を開いております。

総明会幹事学年を拝命し
た、平成2年は日比谷・松本
楼、2年後の50歳を迎えた年
はホテルニューオータニ、平成
14年の第20回記念は目白・椿

山荘、人生の節目の還暦の祝
いも兼ねた第21回は男坂近く
のレストラン・ウインズを貸
しきって賑やかに開きました。

「質実剛健」「勇往邁進」の
校風のもと学んできた猿樂町
校舎に別れを告げ、調布に新
校舎が移転、男女共学化と新
しいMeijiのスタート
をきった平成20年には、旧校
舎を借りて、昔どおりの授業
を体験し楽しむの企画を
立て、2月23日(土)に前倒し
して松本理三郎先生、後藤朋
智先生、村野圭吾先生の恩師
3名が昔ながらの白衣を着
て教壇に立ち、生徒60名
が半世紀前の思い出にひた
りながら机に向かいました。
本校創立100周年、こ
としの総明会のテーマは「新
しい100年へ」今を知り、

明日を考える、だという。こ
の記念すべき年にわれわれも
卒業50周年記念「二年に一
会」祝賀会と銘打って、この
会報誌がお手元に届く頃の
10月27日(土)にハイアット
リージェンシー東京にて開催
いたします。会長・三浦昭生、
高橋正佑幹事長、関戸淳一
事務局長、知野誠一監事、常
任幹事が中心となり、新しい
100年へ、2年に1回とい
わずに毎年開催してまいり
ます。最後に幹事学年「闊紺
会」の運営、第48回総明会の
成功を祈念し、同期会「二年
に一会」の報告とします。

(文責 服部 紀夫)

東京都江東区高橋14-20
関戸 淳一
TEL 03-3631-2008
FAX 03-3631-2548

『三九会』

さんきゅうかい

昭和39年卒 佐藤 仁

母校の創立100周年
誠におめでとうございます。
100年の伝統を誇る
中学校、高等学校に在籍し
若き日の貴重な6年間を、
数多くの友と、親愛なる先
生方と共に過ごせた事を改
めて感謝する次第です。思
えば明治高校を卒業してほ
ぼ50年近くとなりました。

100年の歴史の約半分を
母校とのかかわりを持ちな
がら生きて来ました。

生徒会OB会（一一七
会）、同期会（三九会）、総
明会、そして明治大学を介
してのあらゆる交流と、私

の人生も「明治」なしでは
語れなくなっています。

我々の同期会『三九会』
も『五十才到達記念』『還
暦祝記念』と節目の会をそ
れぞれこなしたその後は三
年毎にいつもの通り日本橋
東洋の二階に集まってい
ます。昨年十月二十九日
（土）に夕刻五時から開宴

致しました。同期のマンド
リンクラブOBによる演
奏もいつもの通りです。約
80名のメンバーがさほど人
集めに苦労することなく往
復ハガキの通知で集まって
来ました。会えばいつもの

若き日の思い出話となるの
ですが、さすがにこの年に
なつてくると、体調にかか
わる話題がどうしても多く
なつて来ます。お互いに元
気でこの先何回この同期会
に出てこられるだろうか、
誰が最後まで出てくるのだ
ろうか、年二回やっている
春秋の『39会ゴルフ会』い
つまで出来るだろうか、最
後の一組になるまでやり続
けようかと、そんな話題
になります。

我々の年の平均余命は
八十三、四才、健康平均寿
命（元気でやっていられる
平均です）七十二、三才で
す。ということは後六、七
年経つとぐっと出席率が落
ちるかもしれません。我
「三九会」だけはそんなこ

とにならぬよう、お互いに
健康管理に留意して集まる
たびに「白雲なびく、……
おお明治!!」と元氣よく
やっていきたいものです。
次の100年には立ち会
えませんが、「明治」は永
遠です。サンキュー（39）
会でした。

(株)グローバル インシュアランス
保険総合コンサルタント

代表取締役

若松 弘昌

(昭和39年卒 明雪会)

〒141-0031 品川区西五反田2-9-7
ドルミ五反田アンメゾン1001号
TEL. 03-3491-0900
FAX. 03-3491-0934

昭和39年卒(元マンドリン部キャプテン)

Small Is Beautiful

21世紀は「心の経営」(仏教経営学)の時代(少欲知足の世界)

明治大学大学院特別招聘教授 明治大学校友会本部監査委員
明治大学連合駿台会副会長 明治大学公認会計士会副会長
明治大学商学部三上会会長 谷公認会計士事務所代表
浄土宗(総本山京都知恩院)僧侶(少僧都)

公認会計士 谷 慈 義

〒135-0004 東京都江東区森下2-19-8 谷ビル

TEL.03-3631-8029 FAX.03-3631-8076 E-mail s.tani@chive.ocn.ne.jp

(ユアサ商事株式会社 代表取締役社長・会長、東陽監査法人代表社員、明治大学特別招聘教授を経て、現職)

株式会社 シティ・ハウジング

代表取締役 佐藤 仁 (昭和39年卒 一一七会)

本社 東京都大田区西糀谷4-28-14

TEL03-3742-7177

FAX03-5705-8097

URL: <http://www.cityhousing.co.jp>

糀谷本店・京急蒲田店・蒲田東口店・大森駅前店・大森店・大井町店・雪が谷店

昭和40年卒

明 優 会

会長 大関清人

事務局 坪田達夫 TEL03-3947-2431

祝創立100周年

昭和60年卒

闘 紺 会

山本伸幸

柔道部OB

JY 上陽テクノ株式会社

代表取締役

阿 部 正 行 (昭和40年卒)

千代田区外神田 6 - 10 - 11

TEL. 03 - 3834 - 1329

よんいちめいゆうかい

『41明友会』

昭和41年卒 41明友会会長 菊池 博道

第48回総明会開催にあたり、闘紺会の幹事の方々、ご苦勞様です。

今年は明治大学付属明治

高校・中学校、創立100周年の年で、総明会主催で5月5日、記念式典も無事開催されました。

総明会会長尾島育四郎氏を中心とする執行部に御礼申し上げます。

我々41明友会は、昭和40年3月に、明治高校を卒業した、戦後子供が一番多い学年です。いつまでも若い気持ちでいましたが、年金を受給する年となり、複雑な感じでした。

今年の同期会を、4月21日同期の故工藤建次氏が、経営していた定席、ちゃんこ「巴湯」で、30名が二年ぶり

に、元氣な姿で出席し開催しました。

始めに物故者(今回は二名含む)19名に黙祷し、総明会の会長尾島育四郎氏が総明会活動報告した後、乾杯して全員が高校時代に戻り、楽しい二時間を過ごしました。

最後に応援指導班OBの角田敏彦、中山郁雄両氏の指導で校歌斉唱して解散しました。

掲載した集合写真は、歌手の廣瀬準氏(芸名井上哲也)の尽力で、当日出席者全員に渡しました。会計の小川秀次氏、交渉の菊本哲也氏の五名で、今回の同期会(二年後)の開催準備を始めています。

今回は野球部OBの諸氏の出席は有りませんでした

が、甲子園出場最後の学年です。

ぜひとも、もう一度甲子園に応援に行きたいものです。在校生の活躍を祈ります。

最後に総明会会員の皆様のご健勝を祈ります。

昭和42年卒

結城法律事務所

弁護士 結城 康郎

〒100-0014 東京都千代田区永田町2丁目14番3号
赤坂東急ビル11階

電話 03 (3506)1151 (代表)
FAX 03 (3506)1152
携帯 090(3104)1840

E-mail: yuuki-lo@bj9.so-net.ne.jp url: http://www.yuki-law.com

『M41』

昭和42年卒 新村秀男・結城康郎

M41の名前の由来は、明治
高校昭和41年度卒業生とい
う意味の「41」を明治で始終
(しじゅう)一番という語呂合



わせに引つ掛けて名付けられ
ました。

不定期に同期会を開催し
てきましたが、これからは覚え
易く夏のオリンピックに合わ
せて4年1回、あるいは、冬季
のオリンピックにも合わせる
と2年に1回開催しようかと
相談しているところです。

今回は、平成24年5月18日
(金)駿河台の紫紺館で開きま
した。紫紺館は初めてという
仲間もいて、卒業以来初めて
参加したという仲間を含めて
総勢約50名が参集しました。

物故者24名の黙祷から始
まり、参加者全員の短いス

ピーチも含め2時間の楽しい
ひとときでした。更に、二次会
にも繰り出し、最終的には午
後11時過ぎにお開きとなりま
した。お世話になった3名の
先生もご列席いただき、久し
ぶりの交歓となりました。我々
の世代は戦後のベビーブーム
でそろそろ定年という仲間も
多くなり、定年後の仕事のこ
とや孫のことが話題にのぼる
ことが多くなってきました。

合わせて、明高生のメン
バーの多い鎌ヶ谷カントリー
クラブでコンペを開き、在学
中、千葉県の野田市から片道
2時間30分かけて通学し、大
学は明治大学への推薦入学を
蹴って早稲田に行った茂木照
男氏が優勝しました。4年後、
ブラジルオリンピックの年に、
また会おうと企画しています。

中華ファミリーレストラン



孫悟空

細田店 葛飾区細田1-5-6
TEL 03-3650-0059

新村秀男

葛飾区議会議員
(昭和42年卒)

祝 第48回総明会総会

明治高校
昭和43年卒
同期会

紫 讃 会

昭和43年卒 「紫讃会」

福光税務会計事務所

税理士 福光登志雄

〒252-0303 神奈川県相模原市南区相模大野7-8-10
大塚ビル303

TEL 042-747-2933
FAX 042-747-2935

昭和43年卒

三田 幹男

紫讃会

有限会社 リフェスト

代表取締役 石井次男
(紫讃会・川口明高会)

〒332-0034
埼玉県川口市並木3-1-19
TEL 048-258-9752
FAX 048-257-5216
E-mail:ishii@nagashin.com

昭和43年卒 紫讃会

小田嶋 保男

東京都足立区中央本町 4-2 4-8

昭和四十三年卒
竹川忠芳法律事務所
弁護士
竹川忠芳
〒一〇五〇〇〇三三
東京都港区西新橋一〇二〇一三
虎ノ門法曹ビル四〇八
電話 〇三三五〇四一三〇八
FAX 〇三三五〇四一三〇七

中華料理
みずしん
水新菜館
寺田規行
(昭和四十三年卒 紫讃会)
東京都台東区浅草橋二丁目一番一号
TEL 〇三(三八六二)〇五七七番

紫讃会

堀内 繁

(昭和43年卒)

機械式時計専門店

株式会社ティーエス・ホリウチ
TEL 03-3831-9733
FAX 03-3831-9734

オフィスのAからZまで
エーゼット株式会社

服部 洋一 昭41年卒
服部 雄二 昭44年卒
大導寺 和幸 昭44年卒

〒101-0025 千代田区神田佐久間町4-22
TEL.3865-9577 FAX.3865-1162

昭和四十四年卒
味処・酒処 す吾六
家中 勉
〒110-0011
墨田区緑四一九一
電話〇三三六三二二三三

マイケル&マック

鍼灸・中医学・東洋医学・
脈診・漢方医療

千葉県市川市北方2-2-10
TEL&FAX 047-336-0763
HP:<http://www.michaelmac.com>

院長 **松本 明久**
昭和44年卒 男坂倶楽部

総明会 副会長 昭和44年卒 男坂倶楽部
ミートショップセキヤ

株式会社関谷商店

代表取締役社長 関谷芳久

<http://www.1129sekiya.com>

足立区西新井栄町3-8-5 TEL.03-3886-3318 FAX.03-3886-5803

建物の新築・リフォーム・耐震診断

ワイシー企画 株式会社

代表取締役 **藁谷 豊** (昭和44年卒)

〒359-0007 埼玉県所沢市北岩岡263-1
TEL.04-2990-5111 FAX.04-2990-5005
E-mail yutaka0912@ah.wakwak.com
URL <http://www.yc.jp.com/>



私達は、皆様と共に“快適な環境”について考えたい。

清掃事業・廃棄物処理・リサイクル

代表取締役 社 長 **毛塚 眞次** (昭和44年卒)

品川運輸株式会社



〒140-0011 東京都品川区東大井2-1-8
TEL 03-3761-0165 FAX 03-3763-0656 URL <http://www.shinagawa-unyu.co.jp>

『男坂俱樂部』

おとこざくらぶ
 ～一人でも多く同期会に参加して欲しい～

昭和44年卒 早川 忠志

私は韓国ドラマが好きです。今、見ているドラマは「夏の香り」です。「春のワルツ」「夏の香り」「秋の童話」「冬のソナタ」の4部作の一つで



す。このドラマを観ていると、天気雨のシーンがありました。その時、男優のソン・スンホンが「虎の婿入りだね」と言うとき、女優のソン・イェジンが「狐の嫁入り」と言う台詞のやり取りが色々な意味で

印象に残りました。印象に残るといえば肉の万世で催された昨年の同期会です。藁谷が総会終了20分前に到着した。仕事の都

合で遅れたと思うのだが、時間に遅れても出席する気持ちには頭が下がる。

また、及川と私がダブル司会をして進行係を努めたのだが、当日私は治療の副作用が出て体調が悪かった。それを及川が見事にカバーしてくれて助かった。最初及川にダブル司会の依頼をしたが躊躇していた。学校を卒業してから今まで総会に一度も出席した事が無く、懇親会で誰と話をしたらよいのか不安だと断りの返事だった。そこで私は総会に出席すると楽しい気持ちになると説明すると、快く受けてくれた。いざ総会が進行すると上手いき、いよいよ懇親会になった。及川はテーブルに着くと仲間と打ち解けて会話のキャッ

チボールが弾んだ。とても40年以上の再会とは思えない光景だった。出席すれば昔の仲間がフォローしてくれる男坂俱樂部の良い点だと改めて思った。及川は総会が終わると、2人で握手をしてこれからは毎年出席すると、笑顔で言ってくれた。総会が始まる前は緊張顔だったが、終わると充分に堪能した顔が今でも心に焼き付いている。

それにしても出席率が低い。介護をしたり、仕事の都合、その他の理由で毎年出席する事は大変かもしれないが、せめて3年に1度位は出席したらどうですか？特に私のように家では「粗大ゴミ」扱いをされてる者は、総会に出席すると極上の気持ちになれるよ。

『獅子の会』

昭和45年卒 笹本 和義

今年の例会は神田駅より

徒歩2分、「(神田)カンターラ、肉・ロック」という名前のライフハウスで、4月18日、午後7時より、参加者34名で、店を貸切にして行った。

昨年は神田明神で還暦のお祓いをしたが、その後、一年先輩の男坂倶楽部、一年

後輩の明潮会が同じく神田

明神で行った。

私たちの学年が先駆者となり慣例になればよいかも知れません。7時集合と言えど、水曜日という事で会社帰りの人も多く、最初はまばらで8時には全員集合した。

1970年代の高校時代の深夜放送黎明期の曲をリクエストしておいたので、あの頃の曲を聞けばあの頃の感情が懐かしく甦る。音楽が、店内を包み込んだ。久しぶりに参加したのは、定年を迎えて時間が取れる様になった人が参加していた。しかしまだ8割の人が、仕事に

携わっている人でした。今年のテーマは『新しい100年へ、今を知り、明日を考える』ですが、我々は明治高校生200周年記念は残念ながら、生きながらえていられます。前回同期会の吉田君(浴風会病院院長)のお教会で『10年を生きる目標を立てるには、60代前半の生活態度が70代前半の健康を予測出来る』と言っていた。でもその目標にしては「カロリーの多い肉、香辛料と塩分が多量に入った酒の肴で会合を開くとは?と思うのですが?でも今日は久しぶりの友人と楽しい会話、自分好みのお酒を酌み交わして、若き日の懐かしい日々にタイムスリップして、懐かしい音楽を聞き、ボーカルのオリエちゃんを見れば、若さが甦り、一日の清涼剤になれば?それでもいいかな!あと10年間しか自由に動けない人生ですが楽しい一日を過ごせば英気も養われ40年の会社人生から解放され、今度は自分の人生の目標が見つかるといいな今日一日になれば良いと思いました。自由な懐かしい時間は早いもので、もう10時には、ほろ酔いながら校歌を合唱して解散した。

花や鉢物のお届けします。

昭和45年卒

株式会社
ポトマックガーデン

代表取締役

平田 幸彦

〒107-0052

東京都港区赤坂7-8-13

TEL 03-3589-0687

FAX 03-3583-9423



昭和四十四年卒
弁護士
田中等
丸の内南法律事務所
〒100-0005
千代田区丸の内二・三
丸の内仲通りビル七・一七
TEL 03-3111-5151
FAX 03-3111-6040

肉の田じま

<http://www.nikunotajima.com>

1F 精肉小売 ミート&デリカ
2F 焼肉レストラン
3F すきやき・しゃぶしゃぶ・ステーキ

TEL 03-3649-4419
TEL 03-3699-8929
TEL 03-3699-5529



株式会社田島商店

本社 東京都江東区扇橋1-4-1
TEL 03-3647-2984 FAX 03-3699-7229

代表取締役社長 **田島 実**
昭和44年卒 男坂倶楽部

祝 第48回総明会総会

昭和45年卒

獅子の会

祝 第48回 総明会 総会

昭和46年卒

明潮会

(株)ライトハウス・コミュニケーションズ

代表取締役

齊藤 公義

昭和46年卒「明潮会」

〒104-0045
中央区築地1-4-8 築地ホワイトビル503
TEL.03-6226-6200 FAX.03-3542-8070

昭和47年卒
五木田・三浦法律事務所
南青山オフィス

弁護士

三浦雅生

〒107-0062
港区南青山6-8-15
TEL 03-5774-2090

(株)インタープランニング

代表取締役

堀 眞壽

昭和46年卒 明雪会

〒135-0003
東京都江東区猿江1-2-9
TEL.03-5600-3388
E-mail m.hori@inpla.co.jp

昭和46年卒

(株)ハナワトランスポート

代表取締役社長

埴 直樹

中央区日本橋箱崎町12-2

『よなよなどうしようかい 四七四七同志酔会』

昭和47年卒 廣野 宏士

《四七四七の皆さん！ハイ
アットリージェンシー東京に
集まろう》

1999年に、帝國ホテル
での総会でホスト学年を務
めました、昭和四七年三月卒
業の四七四七同志酔会です。

諸先輩、関係各位、また同
輩諸君のお蔭様をもちまし
て、当日は430名の方々の



同期の小林千春氏は明治高校野球
部の監督です。

ご来臨を賜り、大盛会のうち
に幕を閉じる事が出来ました。

我々が、ホスト学年を務め
てから、早や13年の月日が経
ちました。正に『馴の隙を過
ぐるが如し』時の過ぎゆく速
さを感じずにはられません。

我々は、ホスト学年担当年
に向けて『四十歳を過ぎてか
らの人間関係の再構築』と『同

級生同志、お互いがお互いの
人生にエールを贈り合おう』
を合言葉に掲げて96年頃よ
り準備に入り、邁進しました。
ホスト学年を終えた今でも、
このイズムを忘れずに同級生
の交流は続いております。

同期会は、思い立った時に
不定期に開催していますが、

本年は、総明会総会に便乗
して懇親会場での開催、とい

うことで我々の準同期会と
位置づけ、総会当日ホテルに
馳せ参じたいと考えておりま
す。四七四七同志酔会の皆

さん！ハイアットリージェン
シー東京に集まりましょう。
旧交を温めませんか。私達幹
事も出席しますよ。元気な顔
を見せて下さい。

また、来年は我々も『還暦』
であります。記念になる催し

を企画しています。同級生諸
君には、改めてご案内を差し
上げますので、乞うご期待！

闘紺会の皆さん、これまで
の準備、お疲れさます。盛
大な総会となることを祈って
おります。

祝 第48回 総明会

四七四七同志酔会

昭和47年卒一同

昭和47年卒
文具&スポーツ
有限会社 **コバヤシ**
小林千春
(硬式野球部)

〒343-0836
越谷市蒲生寿町9番39号
TEL048-988-2222
FAX048-988-2277

『翼明会』 よくめいかい

昭和49年卒 大前 実之

皆さんお元気ですか？昭和49年卒翼明会です。今年は高校時代の3年間を振り返ってみたいと思います。まず昭和46年4月明大記念館講堂において入学式が挙行されました。中学時代坊主だったので、みんなで毛生え薬をつけて競って伸ばしたものでした。年が明け「札幌オリンピック」「浅間山荘事件」がありました。やがて高校Ⅱ年に進学し、この年は明治高校創立60周年の年でもありました。二学期に入るとアメリカから交換留学生がやって来ました。彼の名前は確か「ゲーリー・トレント」君だっ

たと思います。英語の教科書を見せて「分かる？」と聞いた所「全然分かりません」と答えました。「アメリカ人に分からない英語教えてんじやねえ！」と自分はそれから英語が大嫌いになってしまいました。

この年の秋、私の所属する吹奏楽班は、初めて東京都予選を金賞で突破して都大会に進出しました。この年から都大会は、吹奏楽の甲子園と言われる聖地「普門館」で行われるようになりました。そして創立60周年式典が新宿厚生年金会館にて挙行されました。日中国交回復で上野動物

園にパンダが来たのも確かこの頃だったと思います。

高Ⅲになって甲子園の東京予選が始まり我が明治高校は、準決勝まで進みました。この試合、相手は早実で結果は1対0の惜敗でした。そして、長年親しんできた2号館と4号館が建て直しの為、取り壊し工事に入りました。明大野球部が8シーズンぶりに優勝しましたのもこの年の秋でした。そして、いよいよ12月最後の期末試験が行われました。試験最終日終了のチャイムが鳴ると「これで試験地獄から解放される！」と友達と抱き合って喜んだものでした。

年が明けて昭和49年3月2日に無事卒業、自分は3月4日が誕生日なので17才で高校を卒業しました(ちっとも

自慢になりません、すみません！)。母校が男女共学となり(うらやましい！)校舎も調布に移転して神田にあった頃をいつまでも忘れない為にも、総明会という場がある事に感謝したいと思います。


www.pep-mates.com

**オリジナル
クラブタイ ☆ ネクタイ ☆ 30本から承ります!!**

TEL 03-3663-8827 info@pep-mates.com



オリジナルグッズ企画・制作
ペップ・メイツ株式会社
代表取締役 大前実之(昭和49年卒・翼明会)

祝 第48回総明会 総会 波の会

昭和48年卒 卒業生一同

代表者 富永 栄之進
副代表 板橋 純三郎 尾崎 幸平
評議員 海老根 一介 雨海 重明

濱本義典

昭和四十八年卒
四国商事株式会社

〒二六五〇〇二六
中野区新井一五五十二
電話 三三八六五八六四
FAX 三三八六七六一九

たまりや

溜屋 近藤商店株式会社

創業寶永2年真心と癒しの心を大事にします。
安心と信頼の葬儀をご提供いたします。

代表取締役

近藤 俊彦

昭和48年卒

相談役

比留間 竹郎

昭和45年卒

〒120-0034 東京都足立区千住5-18-10
http://www.tamariya.jp/ TEL.03-3881-2562

ふぐ 季節料理
和牛しゃぶしゃぶ



岡本力三・恵市郎

昭和48年卒 平成8年卒

台東区浅草四丁目35番2号

電話 03-3874-2390

URL <http://www.uosei.com>

昭和48年卒 波の会

製菓原料卸(お米の粉)
株式会社山口商店

代表取締役 山口 隆

〒143-0016

大田区大森北1-17-2

TEL.03-3761-4838

<http://www.yamaguchi-shouten.co.jp/>

(株)カントー・エステート
不動産賃貸業・管理業

宮下 守正

昭和49年卒

荒川区西尾久1-20-12

M2ビル301

TEL.03-3894-8161

FAX.03-3894-3682

祝 第48回総明会 総会・懇親会

49年卒 翼明会

翼明会役員一同

『明紫会』

昭和50年卒の明紫会です。
7月7日7時より同期の卓球部だった田中純君の店、文京区小石川の「天しゃぶ」で



昭和50年卒 吉武 孝生

明紫会総会・懇親会を行いました。

参加者(敬称略)は、荒川明、伊波(今回初参加)、岩瀬、生越、太田、木屋、窪寺(事務局長)、桑崎(周年委員長)、衣笠、小島勉、近藤敏(ゴルフ委員長)、佐藤富、新橋、世古、高橋郁(前明治大学連合父母会会長)、高橋錦、田中純(初参加)、中里淳、沼田、服部栄(前会長だった)、巻田、町田、松永、三森、吉武(新会長になった)の総勢25名。

形通り、服部会長の挨拶に始まり、窪寺事務局長の進行

により会計報告、高橋監事の監査報告、事業報告、会長選任と議事は滞りなく順調に消化し、いよいよ乾杯。あとは、飲んで食べて喋って・・・。

懐かしい話、また、近況の報告など各自から述べていただきました。最後は、恒例の集合写真と応援団OBの三森君のリーダーで校歌斉唱。

時の経つのを忘れ店主の田中君のご厚意もあり10時もちかなり過ぎるまで過ごしてしまいました。素敵なお店で、良き仲間達とゆっくり心ゆくまで語り合いました。

幹事学年を終え、早10年。本年度の幹事学年は昭和60年卒の闘紺会。

盛会を祈っています。

祝 第48回総明会 総会・懇親会

昭和50年卒

明 紫 会

ターカム保険企画(有)

日本興亜損害保険(株)
NKSJひまわり生命保険(株) 代理店

祝! 100周年!

昭和49年卒 翼明会 代表
代表取締役 **竹澤 啓**

〒134-0083 東京都江戸川区中葛西3-14-4
TEL.03-3675-9955 FAX.03-3675-9922 携帯090-3200-6139
E-mail takezawa123@yahoo.co.jp

昭和50年卒 明紫会会長

袋物製造販売
(株)服部

服部 栄一

明治高等学校
昭和49年卒
翼明会

醍醐 敦
醍醐会計事務所
047-355-9301

(有)太陽精器製作所
昭和五十年卒 「明紫会」
代表取締役 **世古俊之**
〒一四三〇〇一五
東京都大田区大森西七一二
電話〇三三七六一九八八二
FAX〇三三七六一九八八二

吉武孝生税理士事務所
昭和五十年卒 明紫会
〒121
0813 東京都足立区竹の塚一三六七一
エンゼルハイム竹の塚駅前二一〇
TEL〇三二五八五一五二二八
FAX〇三二五八五一五二二九
E-mail:t.y@tax-yoshitake.com

昭和50年卒 明紫会

高橋郁夫

ダイアナ株式会社

DIANA

www.dianashoes.com

喫茶ペガサス

後藤義明 S45
フェンシング部

Clarion

後藤勇三 S50
硬式野球部


DASCO
DASCO

荒川産業株式会社

代表取締役社長 **前田稲一郎** 昭和51年卒

〒111-0024 東京都台東区今戸2-14-6

TEL03-3874-8191 FAX03-3874-8035

URL:http://www.arakawasangyo.co.jp



『明々会』 めいめいかい

昭和51年卒 萩原 秀紀

梅雨の真ただ中であるにもかかわらず快晴に恵まれた本年6月30日(土)、恒例の昭和51年明治高校卒業生

の同期会である明々会の総会及び宴会を開催しました。場所は昨年と全く同じ、上野不忍池のほとりにある「東天

紅・海燕亭」で、今年も清水先生を囲み(昨年は他の会とブッキングし、総会の途中からのご参加でしたが、今年は総会前のゴルフから参加していただきました)、実に31名の同期が集まりました。

今年の総会には、毎年参加するメンバーはともかく、久しぶりに出席するメンバーが何人かいた

(卒業後初めて参加したという者もいました)ので、即興で自己紹介と近況報告を行いました。思えば、卒業して

から36年、健康と孫の話題で盛り上がるという状態ですから、その当時と比べれば見る影もないほど姿形を変えた者もいたので、来年以降も自己紹介と近況報告は必ず行おうという声も上がった次第です。また、今回初めて明々会総会に参加した者がいたことを考えると、まだまだ連絡が届いていない者が多くいるのではないかと、皆でもっと広く声掛けをしようという話にもなりました。

そして、明治の校歌を斉唱し、総会と一次会を終えた後は、いつものように二次会場である「カラオケ館」にただ

れ込み、飲めや歌えの二次会に突入した次第です。

このようにして今年の明々会総会も盛会のうちに終了したわけですが、そのときの盛り上がった勢いで、8月25日の浅草サンバカーニバル当日、雷門近くで先着20名限定(確保できた店のキャバの問題です)の暑気払いを兼ねた明々会宴会を行うこととなりました。我々も既に50代半ばの壮年(要するにオヤジ)と化していますが、ご覧のとおりまだまだ元気です。第二の青春を、というわけにはいかないかもしれませんが、足腰が立たなくなるまで、このような付き合いを続けていければいいなと思っています。



藍
全

昭和50年卒
明紫会

お車のトータルサービス
代表取締役 服部 憲一
社長 (昭和50年卒明紫会)

(株)服部自動車钣金工業

〒179-0073
東京都練馬区田柄5-22-20
TEL 03-3990-8541
FAX 03-3998-0177
E-mail: ken@hattori-auto.com

焼鳥 和

昭和50年卒 明紫会
木屋 満

〒104-0032 中央区八丁堀 1-7-6
TEL・FAX 03 (5541) 5761

プラスチック製品製造
株式会社 プラテック

代表取締役

林 伸光

〒339-0034
埼玉県さいたま市岩槻区篠久保1137-2
電話 048-791-7311(代)
FAX 048-791-7312
E-mail Platec@image.ocn.ne.jp

祝 第48回 総明会総会・懇親会

明々会

昭和51年卒

慶應義塾大学

教授

栗野 祐二

昭和51年卒
明々会

厨房のアメニティを創造する
津守興業株式会社

代表取締役 津守 徹
(昭和51年卒 明々会)

〒332-0001
埼玉県川口市朝日5-5-22
TEL 048-222-6187
FAX 048-222-8584
E-mail:tsumori@luck.ocn.ne.jp

有有限会社トラストワーズイ
金属・アクリル・企画・製造
代表取締役社長 山田 眞也
(硬式野球部OB)
取締役専務 山田 健一
(硬式野球部OB)
電話 〇三・三六二・三三三八
〒113・〇〇四
東京都墨田区八広四丁目八番 千号

株式会社
レストラン・ピガール
明大1号店

ケータリング パーティー
各種お弁当承ります。

〒182-0033
東京都調布市富士見町4-23-25
明治大学付属明治高等学校・中学校内
TEL/FAX.042-480-9703
担当総括支配人 山口剛志

〒177-0033
練馬区高野台一丁目七
FAX 〇三・五九一・〇一五五
TEL 〇三・五九一・〇一五五
FAX 〇三・五九一・〇一五五

吉田 博

昭和五十一年卒 明々会
総合不動産業
株式会社 エヌエフヴィレッジ
代表取締役

銀座線 外苑前すぐ
豆菓子・おかきの店
青山但馬屋

太田垣 政紀

(昭和51年卒 明々会)

〒107-0061
東京都港区北青山2-7-11
TEL.03-3401-2843
www.aoyama-tajimaya.co.jp

『男子校根性組』

だんしこうこんじょうぐみ

昭和52年卒 会長 香取 輝忠

『歴史のお時間』

ここは調布市。偏差値73超の某一流高校の授業風景。科目は世界史のようだ。「今日は、かつてカンタ半島に栄

えたメイコウ国について学ぼう」「あ！チー

タ卿の独裁帝国！」生徒が叫んだ。「うむ。しかし民衆はかなり勝手気ままだったよう

だ。国土は狭いが多民族国家だった」教師は板書を始めた。「まず東部のエンコ族。彼らはサンジャという祭祀に明け暮れた」「衣装は：『ドンブリ』先生、これは食器の名では？」「同じものです」教師は頷いた。「頭に載せたのだろう」

「西部はタケノコ族。舞踊民族だ。デスコという円形舞踏場で『はっする』を踊った」教師は続けた。「南部のヤマノテ族は少数派の富裕層。他にフナバシ、カワグチなど多数の辺境部落があった。さらに政府直属の戦闘部族『エンダン』が凄い。彼らの日常の

歩行形態はウサギ跳びだ」「なぜですか？」「謎です」教師はきっぱりと言った。「ところで彼らの民族衣装『ガ克蘭』を紹介しよう」「中国の人民服みたい：」「また、これは彼らの主食の『Aパン』を再現したものだ」「パンですね？」「いや：粉と油の塊だ。今では豚も食わない。そのため『イモーヤ』や『モリターヤ』などの優れた穀物商人が台頭した」生徒たちは一所懸命ノートを取った。

「特筆すべきは『ブカツ』という身分制度だ。奴隷、兵隊、平民と位がある。カースト制の進化形態とみなせる」(ピンタ、ケリ、テッケン)教師は黒板に列挙した。「これらは言語が苦手な彼らの重要な意思伝達手段だった」「楽し

そうねー」「次週は皆で実演しよう」教師は続けた。「しかしこの帝国も、最後は国土を捨て、民族の大移動を遂げた」「なぜ？」「うむ：それは」教師は続けた。「男だけの民族だったからだ」「あちゃ！そりゃ繁栄せん」「：」なぜか教師は突如沈黙した。生徒たちはざわめいた。「確かに国土は狭かった。しかし我が祖先、メイコウの民には高い誇りがあったのだ」「我が？」「そしてこれがその証だ！」突如教卓に飛び上がると、教師は拳を振り、天に向かって絶叫した。「おーおーメイジー！！」ただ唯然とする生徒たちを尻目に教師の歌は続いた。「いでや東亜の一角に：」絶叫が調布の森に轟いた。



祝 第48回総明会 総会・懇親会

昭和52年卒

男子校根性組

<http://www008.upp.so-net.ne.jp/dankongumi/>

車山高原

蕎麦 **如月**

石黒理樹

昭和52年卒 男子校根性組

長野県茅野市北山3413-8
0266-68-2878
www.ab.auone-net.jp/~kisaragi/

昭和52年卒

佐藤大英

曹同宗圓通寺

墨田区向島3-11-6

Tel. 03-3622-7045

<http://www.entuuji.or.jp>

祝 第48回総明会 総会・懇親会

株式会社大西静商店

取扱商品: 貸事務所・パーティーグッズ

代表取締役

大西静士郎

男子校根性組(昭和52年卒)

〒101-0032
東京都千代田区岩本町2-10-2-1001
TEL.03-3866-6097 FAX.03-3866-6098
携帯.090-2533-0189
E-mail seishiro-o@nifty.com
<http://www.playave.com/>

練馬 高野台

ネーチャーズフォーレストグループ

代表 横山茂樹 (昭和52年卒男子校根性組)

本店 東京都練馬区高野台1丁目7番3号NFプラザ3-210

TEL 03-3996-0612 FAX 03-3996-0630

<http://www.neritaka.net/> E-mail: nfsy@opal.famille.ne.jp

中学入試をめざす小学生対象の算数塾です。

ティープロ算数
TEACHING PRO

代表 香取輝忠 (昭和52年卒)

千代田区神田神保町2-15 第一富士ビル6F

TEL 03-3263-0667 FAX 03-3263-0668 <http://www.tpro.co.jp/>

『明誠会』 めいせいかい

両国にて同期会

平成24年6月17日(日)

日時・両国・季節の料理ひび

き 16:00 ~ 19:00

参加者・31名

先輩・栗田 大西 有田

幹事学年・3名



昭和54年卒 岩佐 浩之

明誠会同窓会幹事・浅野・

内山・田中・中津・岩佐

今回の明治高校同期会は

天候にも恵まれ、多数の方に

ご参加いただきました。遠方

は中国からも参加いただきました

楽しいひとときを過ごしました。

話題は中学・高校時代の思

い出話、部活、そして先生方

に怒られた事など、話は尽き

ませんでした。

また、体力の衰え、病氣、

髪、離婚、孫の誕生など様々な

話で盛り上がり、あつという

間の3時間でした。

最初は、ホテル内のレスト

ランで計画しておりましたが、

五十路も過ぎると脂っこいものはNO!ということで季節の料理で有名な両国「ひびき」さんに決まりました。

今後とも熊倉会長を中心に、

おじいさんになるまで! 最後

の2人になるまで!! この

会を続けていければと思っ

ていますので来年の幹事、バス

ケット部の皆様、宜しくお願

いいたします。

幹事学年の3名の方、本当

にお疲れ様でした。今後も明

誠会同窓会が末永く続いてい

く為に先輩・後輩の繋がりを

太いものにしていきましょう。

皆様、この度はご参加くだ

さいましてありがとうございます

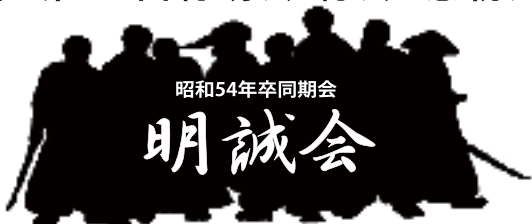
ました。来年まで健康に十分

留意し、この会の輪がさらに

大きくなるように期待したい

と思います。

祝 第48回総明会 総会・懇親会



昭和54年卒同期会

明誠会

http://1st.geocities.jp/meiji_s54/index.html

坂本自動車工業株式会社

坂本 裕康

(昭和53年卒紫友会)

東京都江戸川区篠崎町6-13-26

TEL 03-3670-4161

FAX 03-3670-4170

skmtjd@apricot.ocn.ne.jp

昭和53年卒 マンドリン部OB

弁護士 **高木 茂**

銀座法律会計事務所

〒104-0061 東京都中央区銀座4-10-3 セントラルビル6F

TEL.03-6228-4487 FAX.03-6228-4489

専務取締役

宮本 敏治

昭和53年卒

宮内庁御用達

藩勝本店

箸問屋

千代田区外神田3-1-15

TEL.03-3251-0840

愛三電機株式会社

代表取締役社長

公認会計士

河合 洋

昭和54年卒 明誠会

〒101-0021

東京都千代田区外神田 1-12-3

TEL. 03-3253-3611(代表)

<http://www.aisan.co.jp>

Wako Real Estate Investment Co., Ltd.

和光アールイーアイ株式会社

代表取締役

熊澤正幸

昭和54年卒

〒102-0072

千代田区飯田橋4-1-11 六洲社ビル

TEL.03-3512-0750

FAX.03-3512-0753

<http://www.wako-rei.co.jp/>

東京都墨田区両国二十一丁目三
電話〇三三六三一三三五六

代表取締役 **岩佐浩之**

昭和五十四年卒 明誠会

有限会社 両国あんこあられ本舗



株式会社クロス

昭和54年卒 明誠会

黒須康之

荒川区東尾久6丁目3-10

TEL. 03-3892-5426

暮らしの衣料 まつざわ
株式会社

調布松澤屋

取締役

松澤和昌

(昭和54年卒明誠会)

〒182-0026

東京都調布市小島町1-34-12

TEL 042-482-2634

昭和54年卒同期会

壺 伍 会

吉田 雅博

埼玉県川口市

昭和54年卒

明誠会

(株)朝倉鋳物

代表取締役

朝倉一寿

神田天井家

(旧天井いもや)

神田神保町3-1-14

(昨年より移転しました)

営業時間:11時~16時

日・祝祭日定休日

神保町駅A1出口より徒歩1分

TEL.03-6272-3306

『紫魂会』 しこんかい

昭和55年卒 大迫 好孝

昭和55年卒の「紫魂会」の今年最初の活動は、2月21日に御茶ノ水の中華料理・栃木屋で新年の顔合わせを兼ねて、3月で退職された小西哲男先生を囲む会を行いました。この日は火曜日とい

うこともあり出席者は少なめでしたが、剣道部OBを中心に楽しい時間を過ごしました。

また、「紫魂会ゴルフコンペ」もすっかり定着したメイ

年も新松田のチェックメイトCCで行われました。清水紀夫先生にも参加していただき、ゴルフだけでなく、そのあとの懇親会も盛り上がりを見せています。その成果もあつて今年の「総明会チャリティゴルフコンペ」でも入賞することができました。

年1回の同期会は、7月7日に例年通り、「肉の万世・秋葉原本店」で開催。参加人数は21名と少なめでしたが、

初参加や久しぶりの顔がみられ、少しずつですが同期の和が広がっていることが感じられました。（総明会幹事学年の「闘紺会」および次年度幹事学年「新世輝」のメンバー

8名も参加してくれました）

清水紀夫先生も駆けつけていただき、楽しく語らいな

がら美味しい酒を酌み交わすことができました。

各自の近況報告では、みんな50歳を過ぎたこともあり、子供の受験や自分の病気の話題が多いなか、市のテニス大会で入賞したなど自慢話を披露する強者もありました。渡辺裕之君のリードで校歌を熱唱した後も熱気は冷めず、そのままほとんど全員が2次会へ流れていきました。

こんな楽しい同期会も幹事のおかげで継続できているからこそだと感謝しています。みんな健康には十分気をつけていつまでも楽しい「同期会」をやりましょう。

また、「闘紺会」の皆様、これまでの準備、お疲れ様です。総明会総会・懇親会の成功を祈っております。



『明翔会』 めいしょうかい

50歳からの新たな旅立ち

昭和56年卒 寺村 一義



陸の輪を抜けて
いつてほしい」と
のエールを送られ

出席者のK君が満面の笑顔
でカニを頬張っていたのが印
象的だった。

我々、昭和56年卒の同期
は今年で50歳になる面々で
ある。外見だけで判断すると
「うそだらう」と思う輩もかな
りいるのは否定しないが、こ
れは紛れもない事実である。

そんな我々も幹事学年を
経験してから4年。今年も恒
例となった総会・懇親会を開
催することが出来たのはうれ
しい限りだ。時は6月30日
の土曜、場所は我が同期であ
る須藤君の舎弟の店、「わい
どぼー」である。今年は2年
に1回の役員改選の年であ
り、事前に役員に立候補した
7名が総会にて承認され今
後2年間、明翔会を運営し
ていくことになった。その新
役員の中から互選により「飯
野善明」君が新会長に選出さ
れた。さらに、鈴木前会長か
ら「さらに同期会としての親

さて宴会も終盤になり恒例
の校歌斉唱になると本日のス
ペシャルゲスト、1学年上の
W先輩の登場となった。なん
と校歌のエールを振っていた
だったのである。我々同期一
同、熱いものがこみ上げてき
たのはいうまでもない。ただ
先輩の薄くなりかけた頭頂部
に、油性のマジックペンで黒
い線が描かれていたのには何
か意味があったのだろうか？

須藤君の舎弟のお店とい
うだけあって、宴会の料理も
豪華でカニ・お刺身・揚げ物・
焼きそば等、50歳になる中年
には食べきれないほどだった。
アルコールも瓶ビールから始
まり・焼酎・ホッピー・挙句
の果てには生ビールまでセル
フで飲み放題だった。ただな
ぜかロシア産ズワイガニの甲
羅に「小林」との印字があり、

盛会に終わった一次会の
後、二次会にも20名余りの出
席者があった。さらに三次
会、最後にはさ迷える蝶のよ
うに錦の街に消えていった輩
もいて、楽しかった同期会の
夜は更けていったのである。



販売促進のパートナー

STAD

広告代理店

株式会社 スタッドプラン

TEL.03-6915-2711

www.stadplan.co.jp

代表取締役 千嶋 修

昭和54年卒 明誠会/明雪会会員

精密金属挽物加工
有限会社 高埜製作所

代表取締役

高 埜 雅 信

昭和54年卒 明誠会

〒131-0045

墨田区押上3-15-6

TEL.03-3617-4365

FAX.03-3612-2368

常住事務所

税理士・行政書士

代表 常住 豊

(昭和54年卒明誠会)

東京都北区赤羽西1-5-1-606

(アビレ・赤羽アボード I ビル内)

TEL.03-3905-6981

FAX.03-5963-7430

矢ノ目忠税理士事務所

昭和五十四年卒 明誠会

〒三五・〇〇四八

江東区門前仲町二・二・一六

えとりビル三階

電話 〇三・五六三九・七七八一

FAX 〇三・五六三九・七七八二

E-mail: yanome@yanome.jp

税理士

廣 田 敦

昭和55年卒

廣田税務会計事務所

〒330-0841

さいたま市大宮区東町2-201

TEL. 048-641-6679

FAX. 048-647-8383

紫魂会

渡辺 裕之

祝 明治高等学校・中学校創立100周年

祝 第48回総明会 総会・懇親会

昭和56年卒

明 翔 会

<http://www.k4.dion.ne.jp/~terachan/>

同期の皆さんホームページを御覧ください。
連絡お待ちしています。

税理士法人 狩野会計社

www.kanou-kaikeisya.com

代表社員 税理士

狩 野 智 雄

(昭和56年卒)

〒114-0002 東京都北区王子2丁目28番2号 Tel:03-3913-1964 Fax:03-3912-0835

IP:050-5517-4071 Mobile:090-1534-8396 E-mail:tkanou@kanou-kaikeisya.com

昭和五十六年卒
須藤司法書士事務所
司法書士

須藤 貢一

〒三五・〇〇四八

江東区牡丹二九一六九一四

TEL.〇三・三六四三・一六五〇

株式会社東新理興

板硝子・理化学製品は齊木におまかせ!

昭和56年卒 明翔会

代表取締役 **齊木 麻州男**

〒113-0033 東京都文京区本郷2-26-4
TEL.03-3814-7565 FAX.03-3818-0208

ヤマダ社会保険労務士事務所

社会保険労務士

山田 覚

Satoru Yamada

昭和56年卒 明翔会

〒245-0061
神奈川県横浜市戸塚区汲沢2-1-5-D607
TEL/FAX.045-865-6282



平成3年卒

常務取締役

廣田 拓郎

東京都台東区浅草橋2-13-9
TEL.03-3861-5151

<http://www.lighttec-inc.jp/>

総合建設・不動産

正宗産業株式会社

代表取締役 **市 川 洋 治**

(56年卒)

〒210-0834

神奈川県川崎市川崎区大島5-8-13

電 話 044-244-1054(代)

FAX 044-211-3256



KINGYO NO YOSHIDA

創業文政二年

がんばれ日本

長い歴史を通じて人々の心をなごまし、
生き抜いてきた金魚。その愛すべき金魚
の販売を私たちは江戸時代から現代まで
この道一筋に歩んできました。この地に
さらに充実した優良金魚の品種を満載し
皆様に喜んでいただければと思っています。
ぜひ御来店していただき金魚の美を
堪能してみてください。

〒124-0023

東京都葛飾区東新小岩 5-14-7 (1F)

TEL 03-5671-5550 FAX 03-5671-5557

<http://www.kingyo-yoshida.com>

37年卒 吉田信行
38年卒 増田利明

三つの約束

おいしい

安心・安全

健康



株式会社

ニシドウ

<http://www.jpnd.com>

wenaewe®
ORGANIC DOG FOOD

ウェナー・ドッグフード

食の安全

『明魂会』
めいこんかい

昭和57年卒 小林 謙之

でした。

今年度の同期会は、6月16日(土)にいつもとは趣向を変えて、屋形船で行いました。今年の企画立案準備をしていただいた幹事は、鳴海さん、岩崎さん、田中幹浩さんです。

夕方6時過

ぎ、勝鬨の黎明橋横の栈橋に集合、降りしきる雨の中、たくさんさんの同期が集まり、栈橋から出航する船を見ていました。が、集合時間になっても、

幹事の3人がみえません。本

当にここで大丈夫だろうかと思

い始めたころ、鳴海さんが

到着。その後の鳴海さんの言

葉に皆、耳を疑ったのでした。

『幹浩と岩崎は、船着き場の

場所を間違えて、今、タクシー

でこっちへ向かっているらしい

い』やおおや、なかなかスムーズ

な船出にはなりませんね。

ともかく、それから直ぐに幹

事二人が到着し、乗船出航となり

ました。

そうそう、お約束の幹事学

年も2名来られて、栈橋が見

えなくなるまで、船を見送っ

ていただきました。お疲れ様

さて、船は隅田川に沿って、

南に向かっています。大將と

おぼしき人に『スカイツリー方

向じゃないの?』と聞くと、『今

日は雨だから、スカイツリーは

中止!』えっ? そんなゆるい

のかよって思っただけど、後で幹

事に聞いたら、最初からお台

場コースだったそうです。やつ

ぱ、下町のおやはいい加減

な奴が多いねと、自分のこと

は棚に上げ、つくづく思いまし

た。さて船内では、菊地会長

のあいさつ、田中幹事の乾杯

のあいさつあと、参加者全

員がそれぞれの近況報告をい

いました。久しぶりに会う同

期との歓談、お酒、料理とも持

ち込み自由ということで、宮

下さんのおいしいウイスキーに

堪能したり、岩崎さんちの海

鮮風焼きそばを鉄板で焼いた

りして。もともとのメニューに

あるもんじゃもいいけど、やつ

ぱり、岩崎食品の海鮮焼きそ

ばの方が全然美味いね! おい

しく楽しい時間を過ごしまし

た。下船後、勝鬨近くのオー

ブン居酒屋で2次会。まだま

だ話が尽きない中、お開きと

なりました。今回の同期会よ

り新たに参加いただいた松本

さん、来年も宜しくね。

年々同期の集まりが増えて

くるのは楽しいことです。来

年は、会報委員担当チームで

幹事を務めます。皆がまた参

加したくなるような企画を考

えますので、乞うご期待!

最後に忙しい中、今回の同

期会を企画準備してくれた

幹事の皆様へ感謝とお礼を



祝 第48回総明会総会・懇親会
頑張れ！闘紺会！！

明 魂 会

昭和57年卒

<http://www.meikonkai.com>

神奈川歯科大学

大学院研究科長
生体管理医学講座薬理学分野
バイオリジカル研究所

教授 李 昌 一

昭和57年卒 明魂会

紙一般包装資材企画販売
近代紙業株式会社

〒340-0834埼玉県八潮市大曾根1420
<http://www.kind-ai.co.jp>

昭和57年卒 明魂会
地理研究部OB会

小林 謙之

KENJI KOBAYASHI
k-koba@kind-ai.co.jp

昭和57年卒 明魂会 岩崎広人



埼玉・蓮田名物
島田造り



乾麺「島田造り」は、製造元と直結した直販・通販のみの販売です。

おきなさと
翁の郷

有限会社 翁の郷

〒349-0133埼玉県蓮田市大字関戸280
<http://www.okina-no-sato.co.jp>

お客様フリーダイヤル
0120-8733-07
営業時間 9:00～18:00 / 火曜日定休

製造元

株式会社 **岩崎食品工業**
本社工場 埼玉県蓮田市大字関戸280

『明輪会』
めいわかい

平成24年7月22日(日)午後3時より明治大学紫紺館において「明輪会」総会が開



催されました。高橋君が進行役となり会則の制定・会計報告及び監査報告・WEB運営費用の予算化についてとすべての議事について可決承認

昭和58年卒 青木 正美

されました。大塚会長、並木・秋間副会長、高橋事務局長、門川会計、堂垣監査役には引き続き任期2年で役員を引き受けいただきました。特に会則の中に「総会の開催は原則として毎年7月の第一土曜日」と開催日を明記されたことにより来年以降明輪会の総会・懇親会は多くの参加者が集まることが期待されることとなりました。今回お会いできなかった皆様、来年は是非お会いしましょう。

さて、引き続き行われた懇親会は甘利君がおよそ30年ぶりに校歌を振るといふこ

ともあつてか、故鴨川君の奥様、大塚君・井上君ご夫婦、共立女子の亀田さん(六旗の集いでお世話になったようです)等々総勢約30名が出席しました。会長のあいさつ、副会長の乾杯、懇談の後、各自の近況報告、そして前座で「闘紺会」の鈴木君に応援歌を振っていただいた後、本日のメインイベントの我らの甘利団長が校歌(ここでは1番だけでした)を振りました。(甘利君は神田明神に参詣して心も体も浄めてきたようです)昭和63年卒の光岡君も急遽応援に駆けつけて大いに盛り上げてくれました。最後に故鴨川君の気持ちの入っている明輪会のシンボルと共に記念撮影をして閉会となりました。

2次会には4名の女性を含め約20名でカラオケに：：あつという間に終了の時間となり、締めは校歌というこ

とで再び甘利団長の出席です。全員で肩を組み「輪」になつて3番まで斉唱いたしました。翌日、彼は大丈夫だったのでしょうか？

最後になりますが、総明会の幹事学年の「闘紺会」の皆様お疲れ様でした。総明会総会・懇親会の盛会を祈念いたします。

昭和58年卒 明輪会

青木経営法務事務所

行政書士

青木 正美

東京都江戸川区南篠崎町4-25-4

TEL03-3676-5420

FAX03-3676-5421

祝 創立100周年
祝 第48回 総明会 総会・懇親会

め い わ か い
明 輪 会

昭和 58 年 卒

こ
こ
ろ
の
わ
の
わ

海鮮居酒屋
はなの舞湯島店

昭和58年卒 明輪会

井上直樹

東京都文京区湯島3-24-13

東京家具会館ビルB1

TEL 03-3836-5945

ホームページ

<http://r.gnavi.co.jp/g192815>

昭和58年卒 明輪会

有限会社 遠藤印刷

遠藤憲治

東京都千代田区飯田橋3-2-3

TEL 03-3262-2025

一番碾き蕎麦

よしみや

大塚 達宏 (昭和58年卒)

大塚 啓史 (平成23年卒)
明治大学2年

川崎市宮前区小台1-19-5-B1

TEL.044-853-0753

よしみや.jp



omori

建築資材総合商社
株式会社オオモリ・マテリクス

代表取締役 **大森清嗣** (長男 明治大学硬式野球部 主務4年)

本 社 〒101-0023 東京都千代田区神田松永町18番地

TEL.03-3253-9411 FAX.03-3253-9418

営業本部 〒135-0053 東京都江東区辰巳2丁目3番1号

TEL.03-5534-7700 FAX.03-5534-7708

有限会社 **クリーニング**

あかひや

昭和58年卒 明輪会

小野 洋

東京都目黒区鷹番3-7-18

TEL 03-3714-0452

建材・住宅設備機器専門商社

株式
会社 **タカムラ**

高村 昌秀

昭和58年卒

東京都世田谷区代田5-7-6

TEL.03-3414-5101

日本料理 手打ちそば

浅草 十和田

富永龍司

昭和58年卒 明輪会

台東区浅草1-13-4

TEL. 03-3841-7375

『明心会』
めいしんかい

明治中学・高校創立
100周年おめでとうござ
います。また、昨年度は47
回総会・懇親会にご参加及
びご協力いただき誠にあり
がとうございます。

昭和59年卒 田中 重幸

さて、我々明心会は幹事
学年である昨年、卒業以来
初（私にとつては）の同窓
会を開催し約27年ぶりに多
くの友と再会することがで
きました。お互い40代半ば
を超え頭部・腹部などはか
なり変化を遂げたものの、
すぐに皆高校生に戻り、中
には懐かしいあだ名で呼び
合う者もあり、大いに盛り
上がった次第です。昨年は
そのような同期会を2度開
催し、気持ちを一つにして
11月の総会へと臨むことが
できました。

さて、本年度同期会は、

6月23日（土）に恩師であ
る小西哲夫先生及び吉田重
幸先生をお招きして紫紺館
椿山荘にて開催いたしました。
小西先生は中学から高
校までの5年間担任をして
いた「鬼の小西」と呼ばれ
恐れられた先生です。その
小西先生の目に涙を見たの
は私の老眼のせいでしょう
か。吉田先生は我々が高三
時に新任教師として担任さ
れ、我々が教え子で初の幹
事学年にあたります。私を
始め昨年度幹事一同大変に
お世話になった先生です。
そんなこともあり今年も酩
酊状態の中、大盛況の同窓
会となりました。

思い返せば一昨年の夏、
男坂倶楽部の中河考樹先輩
に「明心会」と命名いただ

き2年が経
ちました。よ
うやく同期
の間でも浸
透し同期会
の名称とし
て馴染みのあるものになっ
てきました。人生2回目の
青春（？）を明治高校同期
と再び共に歩めることに感
謝します。

本年度幹事学年の闘紺会の
皆さん、本当にお疲れ様で
した。よき友とよき酒を！

昭和59年卒
大山 輝芳
明心会
硬式野球部OB

お酒の横濱屋
松見町店 店長



祝 第48回総明会 総会・懇親会

めい しん かい

明心会

昭和59年卒

<http://www.meishinkai.com/>

有限会社 共栄化工
一般装飾品鍍金

代表取締役

岩井 孝之

昭和59年卒 明心会 バレー部OB

〒131-0041 墨田区八広2-18-13

TEL.03-3617-6050

FAX.03-3618-0711

株式会社 エヌエスピー

World Wide Web Hosting
& Authoring Services

代表取締役社長

根津 光弘

昭和59年卒 明心会

<http://www.nsb.ne.jp/>

 @mnezu

有限会社 忠建商事

不動産の有効活用 売買・賃貸・企画・管理

昭和59年卒 明心会 硬式野球部OB

代表取締役

渡辺 憲一

〒224-0001

横浜市都筑区中川7-17-18

TEL.045-911-3011

<http://www.chukenshouji.com/>

田中重幸税理士事務所

昭和59年卒 明心会

税理士 田中重幸

〒272-0138 市川市南行徳 2-12-5-301

TEL.047-318-3965

<http://www.tanaka-kaikei.com/>

かつ亭 おし田

こだわりとんかつ

押田 光央

昭和59年卒 明心会


埼玉県草加市谷塚1-2-45

TEL.048-929-1318

<http://katsu-oshida.com/>



SHIMAMURA DESIGN

高いクオリティが不況を制す 
お気軽にご相談下さい。

グラフィックデザイナー 昭和59年卒 明心会





島村 武史

〒171-0052 豊島区南長崎3-31-14

TEL.03-5996-6828

E-mail:take-457@netjoy.ne.jp

<http://www.shimamura-design.com/>

-  ホームページ制作
 -  ロゴマークデザイン
 -  商品カタログ制作
 -  広告・会社案内制作
- その他いろいろ制作します。

昭和59年卒

ライフプランナー

渡邊 文夫

ソニー生命保険株式会社

新宿ライフプランナーセンター第9支社

東京都渋谷区代々木 2-1-5

J R 南 新宿ビル 15F

電話 03-5358-1709

携帯 090-4376-6146

SL 10-375-034

『闘紺会』 とうこんかい

昭和60年卒 渡辺 智郎

去る平成24年2月3日に

同期会を行い、三十余名の同期が参加、楽しく懐かしい時間を過ごしました。それからあつという間に半年が過ぎ、いよいよ幹事学年としての活動も佳境を迎えようとし

ております。

思い起こせば、数年前、付き合いの深い先輩から発破をかけられ、昔の名簿を頼りに同期と連絡を取るも、なかなか手ごたえを得ず、はらはらしながら昨年の半ばを迎えました。まだ、同期会の名前すら決まっていなかった頃、1人、3人、5人と同期が集まり始め、「何をやればいいの?」という言葉

を聴くことに胃の痛みを覚えつつ、手探りで総明

会幹事学年の活動を始めました。昨年末より月に2回の定例会を開き、回を重ねるごとに皆の活動に対する意識も高まり内容も充実してまいりました。真剣に議論する仲間たちの眼差しにいつしか不安も薄れ、同期であり、同志である感覚が芽生え、育ち始めました。

100周年記念グッズの製作に始まり、総会・懇親会場の選定、先輩各代のOB会への参加、チャリティーゴルフコンペへの参画、いよいよ、寄付広告募集、会報特集企画などとあわただしく活動して参りました。

同期と会う度に酒を酌み交わし、概ね次の日は二日酔い……。何の気兼ねもない仲間との酒がこんなに美

味しいものかと、飲み過ぎを反省することなく今日に至っております。各先輩方のOB会に参加させていただいた際には必ず「白雲なびく」を歌い、明治グッズ販売の際には先輩の男気に触れ、忘れかけていた何かを取り戻している自分に気付かされました。この文章は真夏に執筆しておりますので、まだまだ、本年度総明会総会・懇親会まで道のりが長そうですが、なんとか乗り越えた暁には、一番旨い酒を同期みんなで飲みたいと思います。



5月5日男坂にて



5月5日総明会主催100記念祝賀会壇上にて挨拶



5月17日定例会後 JRお茶の水駅ホームにて

かやば町 鳥徳

代表取締役 **鍋島 孝太郎**
(昭和60年卒 闘紺会)

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-5-6
店舗 TEL. 03-3666-4692 info@toritoku.com
iphone 080-4294-9674
mail kotaro.nabeshima@gmail.com

セブン-イレブン

墨田両国4丁目店
墨田鐘ヶ淵駅前店
墨田緑4丁目店

オーナー **船 越 大** 昭和60年卒 闘紺会

墨田両国4丁目店 〒130-0026 墨田区両国4-38-12 TEL:03-3633-5111
墨田鐘ヶ淵駅前店 〒130-0031 墨田区墨田4-9-1 TEL:03-3612-7119
墨田緑4丁目店 〒130-0021 墨田区緑4-20-10 TEL:03-3631-7088



ソーシャルキャピタルリアルティ株式会社

代表取締役

金 井 壮 昭和60年卒 闘紺会

〒106-0032 東京都港区六本木2-2-2 イトーピア六本木604
tel:03-6825-1010 fax:03-6825-1011
e-mail:s-kanai@socialcapital-r.com
宅地建物取引業 東京都知事 (1) 第90636号

祝 明高100周年



信頼と実績 不動産全般 東京都知事免許

株式会社 阿久津商事

代表取締役社長

田中 嘉一 (昭和60年卒 闘紺会)
Yoshikazu Tanaka

東京都北区中十条 3-13-10 〒114-0032
TEL 03-3900-7177 FAX 03-3900-2227
ytanaka@kitanet.ne.jp

Technology and Trust

闘紺会

株式会社立山電機工事

代表取締役 寺山 裕也 (昭和 60 年卒)

東京都江戸川区鹿骨四丁目 22 番 13 号
TEL 03-3670-0277 FAX 03-3670-3159
E-mail yuuya01@pop02.odn.ne.jp

<http://hkanto.misawa.co.jp/>

ミサワホーム東関東株式会社

船橋支店 支店長 矢 島 昭 夫 昭和60年卒
闘 紺 会

〒273-0005 船橋市本町 2-10-14 船橋サウスビル
● 代表 047 (432) 3311 ● FAX 047 (432) 5300 a-yajima@hnh.co.jp

昭和60年卒
(闘 紺 会)

駒沢公園行政書士事務所

行政書士 大 塚 大

〒154-0012 東京都世田谷区駒沢 5-12-7
TEL 03-3703-7076 FAX 03-3703-5809
E-mail houmu@pc.nifty.jp
URL <http://ootsuka-houmu.com>

ベルギービール専門店



代表取締役 鍋島 孝太郎 昭和60年卒 闘紺会
東京都中央区日本橋茅場町2-5-6 TEL. 03-3661-1934

家庭文化用品 荒物雑貨 総合卸
輸出入竹工芸品全般

株式会社 大園

代表取締役 大園 正純 (昭和60年卒)
本社 〒130-0014 東京都墨田区亀沢1丁目12番8号
電話 03(3624)5366 (代)
FAX 03(3624)5368

理化学器械製造販売
株式会社 矢 沢 科 学

代表取締役 矢 澤 徹
(昭和60年卒 闘紺会)

東京都文京区本郷 2-13-8 〒113-0033
TEL 03-3813-3831 FAX 03-3813-3830
<http://www.yazawakagaku.co.jp>

www.bwash.jp

TV・映画・音楽・モバイル etc.

エンタテインメント会社
株式会社 ブレインウォッシュ
代表取締役 / プロデューサー 高木 征太郎 平成4年卒

翔

SHO DESIGN

代表取締役

小林 克敏

昭和60年卒 闘紺会

各種店舗設計施工
株式会社
翔デザイン研究所
〒107-0052
東京都港区赤坂3-19-5
Tel 03 - 3582 - 7726
Fax 03 - 3584 - 5190
kat@sho-design.co.jp
<http://www.sho-design.co.jp>

日本酒生原酒専門店



日本酒ソムリエ
鍋島 孝太郎
昭和60年卒 闘紺会

東京都中央区
日本橋茅場町2-5-6
TEL. 03-3662-1019

『新世輝』 しんせいいき

昭和61年卒 鵜飼 友義

総明会の皆様、初めまして！ 昭和61年卒第37代生徒会長を務めました鵜飼友義と申します。

「四十而不惑」男四十を迎え、皆それぞれのフィールドで活躍をしているだろうそのタイミングで、誰ともなく同期で集まろうじゃないかと声をかけ始めたのが、今から4年前の春先の事でございました。

卒業アルバムや生徒名簿をひっくり返しては声を掛けまくり、集まった人数50名超。それに加え、懐かしい恩師の方々（田中徹太郎先生の奥様ですとか！）にもお越し頂き

ました。もう懐かしいのなんのつて、一気に十八の頃に戻ったかのように「古い顔」同士、語らい尽くした宴でした。各人それぞれの現在の活躍ぶりを聞くにつけ、何とも力強い同じ年同士が集まったものだと感慨にひたつた夜でした。

会報を拝読させて頂いたり先輩の方とお話したりするにつけ、同期の集まりはいいもんだと耳にする事が多いのですが、この夜が私にもとって同じ郷愁にかられた瞬間でございました。

そして一昨年、総明会の中で私ども61年卒が所謂「行

方不明学年」扱いであつたと知り、加えて再来年は幹事学年だぞとご心配なさつていとお聞きし、「いやいや先輩っ！私どもは元気にやっております！同期も声かけりや集まります！再来年の幹事学年？！何をどうするか全く解りませんが、何でもやりますよー！」と、意気込んで総明会評議員会に出席させて頂いた次第でございます。

早速「同期会の名称を決めるぞ、各人いいネーミングを持ち寄れって集まれー！」と声かけして同期会を開催したのですが、なんと、お招きした山田先生まで我々の同期会名称を考えて来てくれたのです。それは、他の案がかすむほど秀逸で、その場の全員が納得のネーミングでした。

『新世輝』 しんせいいき

100周年を越えて101年目。それは新しい世紀の始まりである「新世紀」、そこに私どもと同じ日に卒業された学年主任「村田輝雄先生」の名前の一文字目であり、私たちが声を張り上げて歌った第一応援歌「紫紺の歌」の冒頭「光輝みつ：」にもある「輝」の字を当てて「新世輝」。

後ろを見れば、62年卒以降も所どころ空いたままの後輩学年が見受けられます。101年目を迎える来年、私ども新世輝が先輩方のバトンをしっかりと受け継ぎ、そして後輩達と続く次の100年の礎になるべく心血注ぎ込む所存でございます。

101年目の「新世輝」皆様何卒宜しくお願い致します。

祝 第48回 総明会 総会・懇親会

新 世 輝

昭和61年卒

新世紀に向かってより一層ご協力のほどよろしくお願い致します



マツモトワークス

www.matsumotowax.com

株式会社 マツモトワークス

代表取締役 松本 年一

昭和61年卒

株式会社

高橋機械製作所

代表取締役社長

高 橋 誠

(S 61 年卒 新世輝)

Takahashi-kikai@nifty.com

〒116-0011

東京都荒川区西尾久 8-41-4

TEL 03-3893-8377

FAX 03-3893-8062

リフォーム 内外装工事

株式会社 **数寄屋建木**

代表取締役

上野 拓哉(S 61 年卒)

売買・賃貸・管理・コンサル

すきや不動産

文京区本郷3-26-8

03-3811-2963



BRAINSTORM

明大明治の社交場

日本橋のワイン酒場

vino e IL raccolta

昭和61年卒 水泳部OB

代表取締役

長谷川 隆洋

中央区日本橋2-9-6

TEL. 03-3231-0610

三重工業株式会社

代表取締役

片 桐 泰 裕

(S 61 年卒 新世輝)

y-katagiri@mie.email.ne.jp

〒141-0032

東京都品川区大崎3-6-17

大崎ビル内

TEL 03-3493-6731(代)

FAX 03-3493-6794

ふぐ ちゃんこ

焼き鳥

鳥 義

氏家 喜久雄

(昭和61年卒 新世輝)

墨田区石原3-17-3

TEL.03-3626-4466

帽子製造卸

株式会社 **東 栄**

代表取締役 **土田 饒**(昭和31年卒 明楽会)

専務取締役 **土田 正昭**(昭和61年卒 新世輝)

〒103-0002 中央区日本橋馬喰町1-3-5

TEL 03-3664-0810

FAX 03-3664-0033

E-mail toei@beach.ocn.ne.jp

『昭和戊辰乃会』

躍進する明治

昭和63年卒 昭和戊辰乃会 光岡 孝之

われわれ昭和63年、卒業は、翌年より元号が平成に変わるため、「昭和最後」の卒業生です。高校を卒業後、いまままで正式な同期会など行っており、いざ連絡を！と思っても連絡先がわからなかったりで、とりあえず声を掛け合えるもの同士で、平成23年11月5日に24年ぶりに同期33名が顔を合わせ、同期会発足式ならびに同期会命名式を行いました。

「お、太ったな」「ふけたな」「変わらないな」など、久しぶりの再会ではお決まりの文句が飛び交い、家

族の話、子供の話、仕事の話、名刺交換など高校時代は想像できない光景があたりこちらで繰り広げられました。

とはいえ、そこは明高生。ものの数分で高校時代のあのころに戻り、あつという間にビール、焼酎、徳利の空びんがゴロゴロと。「オーオー明治」の名文句とともに、二次会、三次会へ。眠らない新宿の街を謳歌しました。

【同期会の名称について】

冒頭のとおり、われわれは昭和最後の卒業生です。この年、昭和63年は、十干では、戊。十二支では辰の年

【同期の皆さんへ】

同期会は、毎年『明治高校文化祭初日の夜』に行います。今年は11月3日です。ぜひ、お集まりください（高校のHPを確認してください）。ちなみに同期とは中・高在学中（昭和58年～昭和63年）に一度でも黄色の上履きを履いたことがある人のこと。意味はご理解いただけますよね？待ってます！！

同期のみんな
連絡ください

光岡 孝之

昭和63年卒 昭和戊辰乃会

090-8568-1015

mitu3027-8489

@t.vodafone.nejp

硬式野球部OB会 明球会

会長 一泉二郎 (昭和51年卒)
ホームページURL <http://o-meiji.com/>
事務局連絡 E-mail: mail@o-meiji.com

総明開発株式会社

昭和57年卒 明魂会
硬式野球部OB会

代表取締役

染谷 貴男

〒340-0052
埼玉県草加市金明町473-4
TEL.048-946-2000
FAX.048-946-1700

明治中学・高校水泳部OB会

明水会

会長 高澤 邦雄 (S41年卒)



吉野 鮎本店

日本橋

高島屋さん真衣通！

昭和61年卒 吉野 正敏



乾漆普問屋

商標



神田 築地 神楽坂

昭和61年卒 鵜飼 友義

『硬式野球部OB会 明球会』
めいきゅうかい

〜明治高校硬式野球部創立80周年〜

昭和60年卒 硬式野球部OB会 原 健治

おお明治の校歌が甲子園で流れる日を信じ、野球部OB総勢120名が、3月24日内海島岡ボールパークに集結しました。朝からの肌寒い雨の日にもかかわらず、ボールパーク室内練習場内は、明治高校の甲子園出場を祈願する話題や懐かしい話が飛び交い、熱気を感じました。

参列者は、がむしゃらに球を追っていた高校時代に戻るかのよう、大先輩方のご挨拶や歴代監督の思い出話を、懐かしさに浸りながら目を細めて聞いていました。80年という伝統の重み、meijiの

ユニホームの威厳は、監督や先輩方から受け継がれ、現役以降の世代に引き継いで、さらに新たな伝統が築き上げられていくことでしょう。駿河台から調布に校舎が移転し、グラウンドもつじヶ丘から府中に。施設環境は都内の学校の中でも引けを取りません。それをどのように活用していくのか。

こうして集まった野球部OBと学校、保護者が一体となり、監督、コーチを全面的にバックアップし、選手の野球に取り組む意気込みを少しでもサポートできる体制を整えていく必要があると思います。

歴代監督のご挨拶の後、大卒 学応援団による応援歌の合唱、そして、最後は明治高校校歌。大先輩と肩を組み、世代を超えた「おお明治」の斉唱は、甲子園出場を現実のものと呼べる勝利の雄たけびのようでした。甲子園から遠ざかること45年。最後に出場したのは、奇しくも私どもが生まれた前の年。甲子園に出場した先輩方が、ご健在なうちに是が非でも甲子園出場を果たさなければなりません。

現役の選手たちも紹介され、応援団の盛大なエールの中、大変な激励を受けました。選手たちは、大きな期待を背にして、甲子園を目指し日々頑張っておりましたが、残念ながら今夏は、2回戦で敗退という結果でした。しかしなが

ら、この80周年を機にOBの輪は、選手たちの大きな励みとなるように最大限のサポートをしていきながら、今まで以上に深い絆で結ばれていくと感じます。そして、今まで明球会にご尽力されてきた諸先輩方を踏襲し、これからは私たちの世代が中心となって明治高校硬式野球部が甲子園に出場するために周囲の環境を整備することこそが使命だと考えております。

最後に、野球部創立80周年が盛大におこなわれたこと、また、私たちの世代への承継のきっかけを作っていただいた一 泉明球会会長はじめ明球会 役員の皆様のご尽力は、言葉では言い表せません。この場をお借りいたしまして、深く感謝申し上げます。



『明治大学付属明治高等学校 應援團OB会』

昭和37年卒 会長 高村 光昭

本年度、役員改選が行われ、新会長に指名されました高村光昭でございます。明治高校が共学化し、初の

女子の卒業生が誕生したかと思えば、初の女子團長が誕生致しました。日々、変化の連続が続いてきました。とはいえ、性別の差こそあれども共に、應援團として、母校の勝利のために、日夜練習を重ね、伝統の継承に努力している様を見ると、心強い気がします。もちろん、リーダー部員も頑張っていますが、人数が少ないのが悩みどころではあります。それでも、我々應援團OB会はリーダー・チア関係なく、現役の支援を続けて参りました。

さて、今後は、チア部員が多いことから、OG会員が飛躍的に増加していきます。当OB会の存在のあり方もいろいろと検討していかなければならない状況が続いていきます。まだまだ、共学化の流れへの対応が続いていくのは総明会も、各OB会も、同じような状況にあると思います。今後も各OB会とも様々な交流を深めて、各OB会のみならず、総明会がさらに活性化し、また、現役に対しても充分な支援が行えるようにしたいと思います。今後どうぞ宜しくお願い致します。

祝 第48回 総明会総会 明治大学付属明治高等学校 應援團OB会

会 長 高村 光昭（昭和37年卒）
評議員 佐藤 欣生（昭和28年卒）

『五大学附属高校
剣道大会』の創設『見心会』
けんしんかい

昭和46年卒 木村 茂

この度は創立100周年まことにおめでとうございます。諸先輩方が築かれてきた歴史の重みをあらためて感じます。

剣道部「見心会」の歴史も古く、本年3月には、小西哲男

先生が明治高校をご退職される際に「送別謝恩会」を執り行い、新たな歴史を刻みました。

見心会の歴史の中で特に重要な出来事に、「五大学附属高校剣道大会」の創設があります。同大会は、東京六大学のうち、東大を除いた五大学の附属高校が毎年8月に参集し、優勝を目指して技を競い

合うという、今年で実に57回

を迎えた伝統のある剣道大会です。そしてこの大会の創設者こそ、昭和31年当時、わが明治高校の3年生、戸谷好夫先輩であります。

過日、早大学院OBの福島正昭様より、大会創設に至る当時の様子を記した貴重なお手紙を頂戴しました。お手紙

は「昭和31年春、私が早大学院3年になった時、戸谷君から一通の書状が届きました。文面には『東京六大学附属高校剣道リーグ戦を開催しませんか』とあります」と始まります。当時高Ⅲの戸谷先輩が、伝

統ある剣道界でひとり大会を企画して他校に呼びかけ、これに各校の青年たちが応えて集い、全剣連への嘆願や後援の依頼など、大変な苦勞の末に大会を創設されたそうです。そしてお手紙は、「今考えてもよくぞ高校生だけでやり遂げたものと我乍ら感心しますが、これ偏に戸谷君の卓越した発想力と強烈なリーダーシップの賜物であり、あらためて感謝の意を表したいと思います」と結ばれています。

戸谷先輩がそれだけ苦勞をされて創設した剣道大会ですが、わが明治は毎年善戦をするも惜敗に甘んじており、殆どのOBが悔し涙を吞んでおります。唯一、昭和55年の第25回大会において見事に優勝の栄冠に輝きましたが、それ以降

この大会での優勝は私達の悲願で、そのためにOBが指導に当たっているといつても過言ではない程です。当初5校で始まった大会も今では12校となり、さらに中学生の試合が行われるまでに発展しました。3年後の第60回大会はわが明治高校が幹事です。

剣道の団体戦はチーム、全部員の和の力です。私達OBはそのことを生徒に教えるために、先ずは基本である礼節を自ら厳しく律しています。そして、生徒達が将来社会人として立派に活躍できる人材になれるよう少しでも役に立てればと思います。後輩の指導にあたっては、最後にになりましたが、お手紙をいただきました福島様、紙面をお借りして御礼を申し上げます。

『スキー部OB会 明雪会』

昭和57年卒 事務局 鳴海 浩樹

昨年の秋にお陰様で60周年記念パーティーが無事に終わった。と思つたらあつという間に正月が過ぎ、確定申告ですつたもんだして、一息ついて

も新年会に始まり暑氣払い、秋のゴルフコンペと季節毎の行事で親睦を図っている。現在秋の総会に向けて堀会長の下準備の真最中である。

ゴルフデンウイークが終わつたらしいのまにやら夏休みシーズンである。年をとると1年があつという間である。しかしながらそんな短く感じられる1年でも明雪会の諸先輩方はそれぞれに楽しみを見つけて充実した日々を送つてらっしゃる。とても元氣である。

現役の方に目を向けると、長年続いたインターハイの連続出場記録が途絶えてしまつた。とても残念なことではある。しかしインターハイに出場すること自体大変なことであり、ましてや雪上練習に制約のある東京にあつて連続して出場し続けることは偉業である。現在のスキー部は明雪会でも美人と評判の中村顧問先生と55年卒の菅野栄一

明雪会の会合としては、今年はず年に比べ顔を会わせる機会が減つたが、それで

監督がスキー部を率いている。菅野監督は言わずと知れた熱血漢であり、親分肌でもある。携帯に電話をする「男はつらいよ」が流れてくる。厳しいがとても面倒見の良い先輩で、監督を引き受けるにあつては指導者としての資格を取得するなど責任感と実行力も伴っている。たまに暴走してしまうこともあるが、それを補つて余りある魅力のある先輩である。多忙な仕事を遣り繰りして合宿にも足を運び、捲土重来を期し後進の指導に余念がない。今年の夏合宿は群馬県丸沼高原でプラスノーでの滑走練習を行ったそうである。そんな熱血監督と顧問先生の下で今後はスキー部の活躍に乞うご期待というところである。

スキー部OB会 明雪会

会 長	堀 眞壽 (昭46年卒)
副会長	戸張 毅 (昭47年卒)
津守 徹 (昭51年卒)	
名譽会長	若松 弘昌 (昭39年卒)
顧問	大津富士男 (昭28年卒)
佐藤 健一 (昭31年卒)	
大出 育男 (昭31年卒)	
藤井 英一 (昭32年卒)	
山田 和孝 (昭36年卒)	
小山 雅司 (昭37年卒)	
井上 進治 (昭38年卒)	
沼田 哲明 (昭50年卒)	
服部 憲一 (昭50年卒)	
岡本 雅仁 (昭51年卒)	
事務局	五十嵐公一 (昭54年卒)
菅野 栄一 (昭55年卒)	
吉口 市郎 (昭55年卒)	
狩野 智雄 (昭56年卒)	
鳴海 浩樹 (昭57年卒)	
深谷 劍 (昭62年卒)	
印田 誠 (平10年卒)	

めざせ
インターハイ!!
関東大会

『バレー部OB会』

昭和52年卒 事務局 樋田 哲次

当OB会は、昨年12月に恒例のバレーボール大会を学校体育館で開催し、OB 30名が集まりました。

今回は、平均年齢60歳の超高齢OBチームも現役高校生と対戦しました。

超高齢チームは10数年ぶりの試合で、身体は動きませんが、昔取った杵柄で技術と度胸でカバーし、それに楽しめました。

また女子部員も男子部員と同じくらいの人数になり、彼女らの甲高い掛け声が耳に慣れなくて苦勞しました。そのあと学校会議室で懇親会を開き、旧交を温め、親子ほどの離れたOB同士でも、バレーボールの話に華を咲かせました。その後、遅れて来たOBを交えて2次会を調布駅前のレストランにて8人ほどで行い、これにも70代のOBも参加していただきました。とても仲がよいOB会です。

今年の3月には、大学リバティータワー23階で「卒業を祝う会」を開きました。この会

には、昨年開く予定だったものの、東日本大震災が3日前に起こり、やむなく中止になったので、その時に祝うはずだった現在の大学1年生も併せて呼び、一緒に祝いしました(大学1年生7人、高校3年生14人、OB 12人参加)。

今年の6月10日には、初代顧問松枝正弘先生の23回忌を開き、総出席者約百名の内、バレー部OBは40人ほど出席し、先生のご子息弘樹氏も赴任先のドイツから駆けつけ、先生を偲びました。

さて、現在OBの総人数は、280名ほどです。その内、会費を納めている方は、約80名いらつしやいます。ありがとうございます。

現役の部員数は高校男子11名、高校女子16名、中学男

子10名、中学女子9名という陣営です。高校男子の戦績は、5月の関東大会予選はベスト32。6月の国体&インターハイ予選はベスト64でした。高校女子は新人リーグ戦4位で2部大会に出場しました。春季大会は一次リーグ戦5位でした。

中学女子は9ブロック大会の新人戦で1日目を勝ち進み、2日目に進出しました。

そして夏休みになって朗報が届きました。

高校男子が、関東私学大会でBブロック3位。

そして、六大学付属校大会で優勝しました。おめでとうございます。益々のご健闘をお祈りします。

OB会 連絡先: 樋田 哲次
携帯: 090-4539-1363
e-mail: toitetsu@nifty.com





『バスケットボール部OB会』 ～バスケット合宿記～

昭和38年卒 辰口 秀雄

後輩からの誘いで1泊2日、50年ぶりにバスケット部の合宿に行く事とし、老骨に鞭を打ち出掛けた。行き先は、北志賀高原「ホテルタガ



ワ」である。到着すると直ちに己の醜い体、顧みずスポーツウェアに着替えた。

バスケットをやる気は全く無く、ただ見るだけと決意して、体育館に入ると、声を枯らしながら元気の良い歓声が聞こえてきた。

各学年の部長と副部長が挨拶に来た。孫のような選手が礼儀正しく、ハッキリとしわがれ声で。

私はこの子達の先輩なのだなと。なんと可愛い選手達だろう。私の周りでは見ない素直で従順な少年、少女達が体育館に満ち溢れているの

だ！この雰囲気、この活気、そして思い出した、我が現役時代の自分の臭いだ。選手た

ちの練習を見学しながら、ついつい指導をしたいという衝動に駆られコートに出た。その時は現役のあの時の気持ちで。邪魔をしない様子を念頭に置いて、そして無事怪我もなく練習は終わった。

夜は食後に先生達の部屋に集まり約20名の大宴会である。酒を飲みながら礼儀正しい学生さんとの話をするのは、この上ない楽しいひと時で、話題の中で、時代の違い、同じ考えると、笑いの中に盛り上がり、酒の美味い事、ついつい呑み過ぎ、その夜は、遅くまで盛り上がった。

翌日二日酔いの体で練習場に入ると選手の心地良い

元気な声が響き渡り、再び現役時代を思い出させてくれた。

才能溢れる選手たちの練習を見、今は初心者、1年後2年後の成長を彷彿させる各選手の顔を覚えておこうと一生懸命集中したつもりが、覚える事の難しさを痛感した。この2日間で選手の試合、合宿を、見学する楽しみを見つけた。

またバスケット部の中になると、何と居心地の良さよ、これも年寄りの特権かなと思いつつ、昼まで選手たちの練習を見学し帰途に就いた。
楽しかった！先生、中学、高校選手皆さん、後輩諸氏有難う。



明治高校バスケット部OB会

めざせ!! インターハイ出場! 行くぞ! 関東大会!

名 誉 顧 問 山口 栄藏
晨 匡一郎

OB会会長 吉田 博 (S51卒)
副 会 長 米田 晴彦 (S53卒)
木戸 基満 (S57卒)
山下 康彦 (H4卒)

総務部長
木戸 基満
(S57卒)

RBC部長
小柳 貴裕
(S63卒)

財務部長
門川 隆之
(S58卒)

監 査
並木 功
(S58卒)

総合電設資材卸

伊東電機株式会社

代表取締役 **伊東 稔** 昭和59年卒
バスケット部OB

本社: 東京都江戸川区松島3-34-21

TEL.03-3654-9214~5 FAX.03-3954-9256

E-mail ito@ito-den.com

船橋営業所・松戸営業所

米田税務会計事務所

昭和53年卒

税理士 **米田晴彦**

〒130-0026

墨田区両国2-17-3

(両国高橋ビル3F)

TEL 03-3631-8878

FAX 03-3632-3346

E-Mail: yonetakaikai@tkcnf.or.jp

有限会社三友金型

ゴム金型 設計・製作 短納期対応

昭和63年卒 バスケット部OB

代表取締役

小柳貴裕

墨田区東向島6-25-13

TEL. 03-3617-6683

FAX. 03-3610-1299

株式会社 山泰製作所

取 締 役 **山本 雅宣** (昭和59年卒)
営業部長 バスケット部OB

〒949-6775

新潟県南魚沼市宮字西原2294番8 (津久野工業団地内)

TEL 025-773-3428 FAX 025-773-2763

E-mail masanobu-yamamoto@yamatai-mfg.co.jp

明治高校バレー部OB会

顧問 山中禎一郎先生

会長 長当間堅一朗 (S32年卒)

副会長 吉田 信行 (S37年卒)

副会長 片山 眞 (S39年卒)

幹事 長 服部 雄二 (S44年卒)

幹事 長補佐 岩崎 広人 (S57年卒)

幹事 長補佐 岡永 健二 (H4年卒)

事務局 長 酒井 孝憲 (S40年卒)

事務局 長補佐 樋田 哲次 (S52年卒)

事務局 長補佐 山本 直之 (H8年卒)

会計 加藤 裕司 (H8年卒)

HP担当 阿部 徹也 (H11年卒)

<http://www.geocities.co.jp/meijiolley/>

見 心 会

明治高校剣道部OB会

会長	矢光 善美	幹事 長	木村 茂
副会長	中島 健一	監督	羽田 郁雄
副会長	鈴木 幸男	会計	伊藤 直孝

都心型の印刷工房 サミット印刷株式会社

営業部 大 貫 俊 隆
昭和60年卒 剣 道 部 O B

経理部 羽田野 嘉一
平成18年卒 硬式野球部 O B

TEL. 03-5472-3310
access@summit-print.co.jp
東京都港区芝大門2-10-18

祝 第48回 総明会総会 明治高校 マンドリン部OB会



明高写真部OB会

写真部OBの方、是非下記へご連絡ください。

写真部OB会発足委員 栗田 茂 (昭和44年卒)
Email kurishige@pop12.odn.ne.jp
携帯電話。090-3138-5692 FAX,03-3677-2425

『サッカー部OB会』

平成11年卒サッカー部OB会代表 大室 智

1996年に創部されたサッカー部も今年で17年目を迎えました。昨年、2011年4月より、創部以来ご指導いただいている中山正太郎前監督に総監督となってい



ただき、村主光平新監督を迎え、全国高校サッカー選手権大会東京都予選では、過去最高の東京Bブロックでベスト16まで進出しました。敗れた試合も前年度の優勝校である駒澤大学付属高校に対し、しっかりと考えて走りボールをつなぎ、最後まで諦めない明治高校のスタイルを貫き、とても印象的な試合をしてくれました。

本年度からは、創部以来、顧問を務めていただいている田中先生、中学サッカー部の顧問を長らく務めていただいている清水先生、一昨年より

副顧問としてご活躍いただいている清原先生に加え、新任の石黒先生に副顧問として加わっていただき、ますます充実の人員となっております。

2008年の移転により、校舎前に人工芝のグラウンドができ、練習環境が大幅に良くなったこともあり、ここ数年は各学年15〜20人前後の部員が在籍し、高校サッカー部・中学サッカー部を合わせた100人を超える大所帯となりました。今後、強豪校の仲間入りをしていくためには、選手のみならず、OBの皆様方のお力添えも



必要です。例年、OB会を9〜10月に1度行っておりませんが、今後は大会応援など、活動の幅を広げることも考えております。高校生達の技術も戦術もここ数年で大きく向上しましたが、現在でも礎となっているのはOBの皆様が環境の良い中、やってきた「サッカーが好きであること」「好きなことに最大限努力をすること」です。ご無沙汰してしまっている皆様も是非一度グラウンドに足を運んでいただき、後輩達の成長をご覧になっていただきたいと思っております。

明治高校サッカー部は目標である全国大会出場を目指すし、ますます発展していきますので、ご期待ください。

『放送班OB会』

昭和57年卒 宮田 健

放送班OB会の有志で、
恩師 故田村晴彦先生の命日
(5月17日)にあわせ毎年5
月の第3土曜日に先生の眠
る港区三田の長久寺への墓
参りと、懇親会を行っていま



す。今年は、先生の二十三回忌にあたり、先生の奥様から法要に参加して欲しいとのことお申し出をいただきました。法要も命日の5月17日ではなく、日曜日の5月20日にして下さり、昭和51年〜60年卒のOB8名が代表として参列させていただきました。

初めて足を踏み入れた本堂は荘厳で美しく、その中でご住職の読経により法要が執り行われました。先生の奥様、ご子息、先生のお兄様田村正彦先輩ご夫妻や、ご親族、そして我々OBが参列し、ご住職からは「大勢にお集まりい

ただいた」とのお言葉もあり、参列させて頂き大変嬉しく感じました。法要後には、いっしょに先生の年を大きく越えてしまったメンバーの心の中に残るいつまでも若々しい先生の思い出など、時間を忘れて語り合いました。

一旦解散し、夕方以降には法要に参加できなかったメンバーでの墓参や、麻布十番で懇親会を開催しました。この日は、法要や、夕方の墓参、懇親会など、放送班OBもそれ以外の方も、参加スタイルは様々に計15名が先生を偲ぶ1日となりました。

さて、放送班OB会では、今回の二十三回忌を機に活性化させようと盛り上がりました。ご関係の方に、連絡を取りたいと考えています。その

際には是非ご協力をお願いします。

また、毎年の墓参には放送班OBに限らず、先生にゆかりのある方が参加して下さい、楽しい時間を一緒に過ごす方が増えてきました。多くの教え子が集まる事で先生も喜んで下さるはずです。「来年こそは!」とお考えの皆さま。ご参加お待ちしています。興味のある方は、インターネットの掲示板や、メーリングリストをご利用ください。

掲示板のアドレスは、
<http://8630.teacup.com/mbc/bbs>
携帯電話でもご利用頂けます。
またメーリングリスト参加希望の方は、
<http://groups.yahoo.co.jp/group/tamurakai/>
の「グループへの参加(自動処理)」から手続きをしていただくとともに、
tamurakai-owner@yahoo.co.jp
へご連絡ください。

『明物会 物理部OB会』

昭和45年卒 礪部 進

明物会は物理部のOB会です。物理部の発足は昭和42年にまで遡ります。科学部が発展解消して、物理部と化学部ができたのです。物理というとお堅いイメージが付いて廻りますが、同じ時期に誕生した化学部と科学部では間違いやすいこともあります。また、お堅いネーミングが、お固くない活動内容とギャップがあつて、面白いとも思っております。現在は6月に新入会員歓迎会、11月に総会を開催しております。

昨年は震災の関係で新入

部員歓迎会と総会は開催致しませんでした。2名の大学生が加わりました。今年度の歓迎会は6月29日（金）にお茶の水において、井家上会長以下11名で開催され、2人の大学生を迎えております。写真は歓迎会終了後に男坂下で撮った物です。

上は60歳代から現役の高校生の部員まで参加してくれる、文化部では珍しい幅広い年齢構成を誇っております。

しかしながら、明物会としては、現役部員の少な

さに危機感を持っております。現役に対してはOB会有志が学校を訪問し、文化祭のバックアップだけでなく、コーチ的な活動もしています。ただ単に増えれば良い訳ではありませんが、OB会として増やすための努力や援助をしていきたいと思っています。そのためには、

ホームページの活用や、夏の合宿が行えるように、現役の部員や顧問の先生方との交流を更に図らねばならないと思っています。



『歴史研究部OB会』

昭和56年卒明翔会 鴨下 裕彦

まずもって母校創立

100周年おめでとうござい
ます。また、この記念すべき
年に幹事学年を務める闊紺



会の皆さんご苦労さまです。

私は今年4月に開催され
たOB会において山形英明
先輩の後を引き継ぎOB会
会長に就任いたしました。学
生時代は中学1年生から卒
業するまでの6年間歴研に
籍を置きましたが決して熱
心な部員とはいええず地理研
と共同で部室として使って
いた社会科準備室の専有面
積を増やすことに腐心した
り、運動日と称して北の丸公
園まで行って野球ばかりして
いたように思えます。こうし
た経験からすると決してアカ
デミックな先輩方がたくさん

いらつしやるクラブのOB会
会長にふさわしいとは思えま
せんが、先輩方がつくってこ
られた歴研OB会の伝統を
守り、脈々と連なる流れを後
世へつなげてゆく懸け橋にな
れればと思っています。

さて、歴史研究部OB会
は設立以来60有余年が経過
します。また会員数はその一
期生から昨年卒業した学生
まで330名以上を有して
います。今年は去る4月21
日に紫紺館において懇親会
を開催いたしました。残念な
がら28名と人数は少なめで
したが昭和33年卒業の先輩
から昨年卒業した現在の大
学1年生まで幅広い参加を
いただきました。

今年のOB会でも説明さ
せていただきましたが会員間

の情報交流の一助になれば
とfacebookに歴史
研究部OB会のグループを
作成いたしました。まだまだ
参加者も投稿も少ないので
是非グループに参加してい
ただきたいと思っています。また、
これまでfacebook
を敬遠されていた方もこの機
会に是非登録していただい
ければ幸いです。

原稿依頼の文字数を埋め
るために余計な事も書きま
したが、次回のOB会は従来
通りハガキでのご案内もいた
しますがfacebook
でもご案内させていただきます
ので、先輩、同期、後輩をお
誘い合わせの上たくさんの方
の参加をお待ちしています。

『どうう会』

昭和52年卒 男子校根性組 大西 静士郎

1995年に退職された後藤朋智先生（化学）を囲んで、当時の教え子たちをはじめとする先生にお世話になった者たちが集う『どうう会』が、今年も

五月十日（火）に西新宿のホテル ハイアット リージェンシー 東京27階のスプレンドールームで開催されました。

今年は、初めて参加される方が多く、四十人を越える方々にご出席いただきました。さらに今年は、所用のため昨年はお出席いただけなかった美恵子夫人もご一緒でしたので、先生ご夫妻を囲んだ楽



しいひとときを過ぎることができました。

後藤先生も80歳を越えられているにもかかわらず、多少白髪は増えていらっしやいますが、相変わらずお元気で、奥様とご一緒に元生徒たちと楽しそうに歓談されていました。

会場の雰囲気も良く、楽しく盛りあがることができましたのも、多くの方々のご尽力のおかげと感謝しています。ありがとうございます。

なお、この会には有志による手作りの会のため、多くの皆様にお声をかけきれないと思います。これを読まれて、後藤先生にお会いしたいとお思いになられた方は、ご遠慮なく事務局（090-2243-2135 大西）までお問い合わせください。

来年も5月10日に『どうう会』を開催する予定です。

『卯の木会』

昭和50年卒 桑崎 安弘

昭和50年卒業の明紫会・桑崎です。【卯の木会】は、我々が昭和50年に発足した、【卯木監督を守る会】が前身で、今年で三十九回を迎える事ができました。当初は卯木監督を守るなどと、恐れ多い会の名前だったのですが、卯木さんには、明治大学進学や、就職、結婚などと人生の節目には、必ず相談に乗って頂き、これは卯木さんに守って頂く会だと言う事になり、シンブルに【卯の木会】と改名させて頂きました。その後野球部出身だけでなく、明

の人生での教訓を教えて頂きましたが、とにかく仲間を大事にして、自分の最後は大勢の仲間焼香をして貰える、そういう人間にならなくては駄目なんだ。とおっしゃっていた事が、我々も五十代半ばになって、改めて重要な人生教訓なんだなと、気付かせて頂きました。我々も人生の折り返し点は過ぎて、もうすぐゴールになってしましますが、残された年月に、少しでも多くの後輩に、明治魂・卯木精神を伝えて行きたいと考えております。

明治高校硬式野球部は本年、創部80周年を向かい、三月には記念式典を開催致しました。また明治高校・中学校は今年100周年を迎え、総明会主催で五月にはアカデミーコモンにて記念祝賀会を開催し、無事終了する事ができました。

卯木さんが愛した、明治高校・中学校に少しでも恩返しできるように、まだまだ頑張っ参りますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

卯木さんが常々おっしゃっていた事で、卯の木会は会則に縛られる事なく明治高校・中学校、総明会、明球会、等々に側面から応援できる体制を引いておくように、という事を根幹に活動致しております。

卯木さんがお亡くなりになって、今年で早四年が経ちました。

生前、卯木さんには数々

中学校は今年100周年



『明治高校を甲子園へ送る会』

昭和55年卒 紫魂会 渡辺 裕之

第48回総明会総会・懇親会の開催、誠におめでとうございます。

の復活を信じ、明治野球を愛してやまない有志の集まりです。

私ども、「明治高校を甲子園に送る会」は、〈古豪明治

会員も明治高校・中学校のOBはもとより、PTA関係者や明中高とは直接関係なくとも明治野球が好きな方にも入会して頂き、門戸を開けたオープンな会になっております。

会員の皆様からの貴重な浄財である年会費は頑張る選手を応援する為、グラウンド整備用具やボール等消耗品の差し入れとして活用させて頂いております。

また毎年夏の西東京大会の前には甲子園出場を目指して、「野球部父母会」「明球会」と共催で激励会を行なっております。本年も6月23日に明治大学野球部合宿所食堂にて大々的に執り行われました。年々選手たちの甲子園への意識も高まってきたと実感しています。

この夏は2回戦で夢散ってしまいましたが、9月に入ると秋季大会ブロック予選が始まります。皆様も是非球場に足を運んで、選手たちに声援を送り、一歩でも前へ進めるようお力添え頂ければと思います。

明高野球部を甲子園に送る会

会長 山 浦 晟 暉

(株)東京フジカラー 代表取締役
(昭和29年卒)

明治高校を甲子園に送る会
入会申込先
事務局 渡辺裕之
携帯：090-1125-4071
6lurv@rondo.plala.or.jp



『第2回ヤマダ大感謝祭』

～山田先生と飲む会～

昭和63年卒 第2回ヤマダ大感謝祭実行委員 光岡 孝之

明治高校・中学校一筋38

年。昨年ご退職された山田伸夫先生を囲み、先生の教え子が集まり昨年の会報でも既報のとおり『第2回ヤマダ大感謝祭』が開催されました。

平成24年4月22日。明紫会(昭和50年卒)須藤先輩がお仕事をされている浦安ブ



ライトンホテルの会場は開始

時間を前にすでにヒートアップ!! 久しぶりの再会で懐かしい話に花を咲かせているものから、今年卒業した教え子たちまで、世代を超え、部活の枠を超えたみんなが山田先生のの下に集まり、楽しいひと時を過ごしました(なんと、早実応援委員会OBも学生時代にお世話になったということでご列席いただきました)。

来年幹事学年となる新世輝(昭和61年卒)鵜飼先輩の総合司会で会は進行され、明輪会(昭和58年卒業)真野先輩の乾杯で宴はスタート!!

山田先生からは、第1回ヤマダ大感謝祭で列席者一同より贈呈された、フルムーン旅行『トワイライトエクスプレス 大阪→札幌列車の旅』のお土産話が写真と笑いを交え報告され、あらためて皆様への感謝の弁を述べられました。第1回に続き、今回もご列席いただきました奥様悦子様とのご夫婦仲もさらに深まったことでしょう!

また、サブライズとして奥様のプレお誕生日会、平成16年卒業の京須君のご結婚報告など、お祝い続きのとてもおめでたい一日となりました。

応援指導班OB・OGのリーダー、チアリーダーによる応援歌、応援曲で楽しい宴もテンションはさらにMAX状態へ!会場は全員高校生

気分には早変わり!久しぶりの『紫紺の歌』に涙を流す列席者もある中、当然、会の締めは明治高校校歌。高校でも团长、そして大学でも今年の团长を務める平成21年卒業の加藤君のリーダーで高らかに『白雲なびく』の大合唱!!

なお、第3回は平成25年4月27日(土)に開催されることとが決定(場所未定)。山田伸夫先生の教え子が世代、部活の枠を超え集まれる場として、これからも多くの方のご参加をお待ち申し上げます!!(詳細は137ページの広告欄をご覧ください!)

最後になりましたが、須藤先輩には、いろいろとご尽力いただきました本当にありがとうございました!!(スタッフ一同)

『松枝正弘先生23回忌偲ぶ会』

実行委員長 山崎 敬生

伝説の教師チータ



知るのは何人いらっしやるであろうか。

松枝正弘先生とは、昭和24年より平成2年まで42年間に亘り、チータの愛称で生徒に鉄拳を振るいつつ、必死に純粹な精神で向き合いむきだしの魂をぶつけた希有な教師である。

本年6月10日、明大リバティータワーに於いて戦後の明治高校・中学校に伝説の教師として、名を馳せた我等がチータ、松枝正弘先生の23回忌―偲ぶ会が開かれ100名ものOBが集まった。松枝先生と云っても調布に移った母校教員室でも

「チーター」となったとも云われる。

奉職後20代の若さでバレー部、陸上部、スキー部、JRC(青年赤十字)を創設し、バレー部をインターハイ全国大会に導き、先生自身も東京オリンピック役員として東洋の魔女バレー優勝時「二位!日本」と声高らかにアナウンスした事が語り草となっている。

小山の様に盛り上がつた肩、超俊足、圧倒的なテノール、弩迫力の怒鳴り声、元氣瀧刺と生徒に自主独立、自治の精神を



人間教育として教え込んできた先生だが、42歳で遭った交通事故が要因で糖尿病を患う事となった。それでも生徒に対する真摯な教育を変えず続けていくが、思う様に肉体はついていけず苦悶する年月が過ぎていった。

それを心配したOB達が昭和58年5月、昭和26年(54年卒の各学年が発起し、

チータ奉職35年・ご夫婦銀婚式を祝す「励ます会」を実施して、九段ホテル・グランドパレス大会場にて380名ものOBを集め、病軀の先生を強く励ました。

そして平成2



年。入退院を繰り返して定年を迎える直前の3月、現役中の先生に感謝したいと同ホテルにて450名ものOBが集結。永年の感謝に溢れる渦の中、記念品としてサルスベリの樹を贈呈。バレー部OBに肩車され入場したチータが、最後に一人



一人に着席のまま言葉をかけ握手をしたのが最後のお別れとなった。―3ヶ月後、永眠。

6月30日、信濃町・千日谷会堂にOB主催の葬儀

に涙雨降る中、1300名もの卒業生、現役生が別れを惜しんだのは市井の一教師としてはあり得ぬ奇跡であり、この瞬間から伝説のチータが生れたとも思う。

今回の23回忌にはキックボクシング創始者の野口修先輩(27年卒)をはじめ多くのOBが2時間、先生の思い出話に華を咲かせ何よりの供養となったが、向殿政男発起人代表の言葉が皆の心に響いた。

「教育者の誰もが慕い続けられるか」と、必ずしも

そうではありません。生徒を真摯に思い、真剣に向き合ってきたこそであり、生徒の心に火を付けるのが教師の役割です。心に受けた火は感動となり、生徒の魂は自分で燃えて行く。チータはそのような教師でした」



23回忌収支報告

項 目	金 額
収 入 出席者会費・寄付金	1,020,000円
支出計	936,611円
香典(松枝家)	50,000円
料理代	494,580円
回顧誌印刷代	189,000円
花代	35,000円
写真経費	76,702円
郵送費(開催案内・写真等)	45,020円
会場関係費・事務用品	96,309円
残 額	33,389円

残額については、日本赤十字に寄付する予定です。

『小西哲男先生送別謝恩会』

昭和60年卒 剣道部OB 大貫 俊隆

東京教育大学（現筑波大学）卒業後、福島校長先生（当時）、中野先生から誘われ、昭和50年4月、保健体育科教諭として明治高校に奉

職された小西先生は、その後、剣道部の顧問となられ、本年3月に退職されるまでの37年という長き間に、約300名の部員と、そして授業・剣道を合わせると約1万人の生徒に出会ったそうである。

平成24年3月17日（土）明治大学紫紺館には剣道部のOBを主に100名近くが結集し、「小西先生送別謝恩会」が、見心会（剣道部OB会）主催で開催された。

先生は、冒頭に、最初の稽古で羽田現監督に打たれたこと、顧問在任中には4人の監督が歴任されたこと、五大

学50周年大会当番校だったこと、様々な試合の一本

一本を憶えていること、また、副校長在

職中の調布校舎への移転・

共学化のことなど、様々な思い出を交え、ご挨拶された。

次期顧問の北村先生から、男子13名、女子16名、計29名（3月時点）の現役剣道部員が一人ずつ紹介され、初の女子主将となった大野部長が送別の辞を述べた。

歓談中、各代OBより、白い道着の時は何故か「白鬼」と呼ばれるほどいつもに増して厳しかったこと、共学後は信じられないほど優しくなったこ

となど、エピソードが披露され、各所で大きな笑いが起きていた。

記念品贈呈に続き、園部元監督から花束贈呈の後、先生は、「諸先輩・卒業生には本当に感謝している。いや、本当に感謝

道は人間形成の一助であり、文武両道を目指す生徒たちのためにも、卒業生は調布校舎の剣道場へ顔を出してほしい」と締めくくられた。

小西哲男先生、あの厳しい稽古を思い出すと何事にも耐えられます。京都へ行かれてもお元気で。そして、毎年、総明会総会・懇親会には是非お越し下さい！

可愛い教子より





祝 第48回総明会総会
明治高等学校卓球部OB会
 会長 高橋正侑(昭和38年卒)

祝 第四十八回総明会総会・懇親会
図書班OB会
 連絡先 平田 幸彦
 ○三・三五八九一〇六八七
 大西静士郎
 ○九〇・一二四三・一一三三五

祝 第48回総明会総会
 がんばれ闘紺会
歴史研究部OB会

会 長 鴨下 裕彦(昭和56年卒) 事 務 局 渡辺 隆之(昭和59年卒)
 副会長 白畑 尚志(昭和56年卒) 事務局兼会計 土田 正昭(昭和61年卒)
 副会長 安達 俊幸(昭和57年卒)

祝 第48回総明会 総会・懇親会
吹奏楽班OB・OG会
 会 長 斉木 麻州男
 (昭和 56 年卒)

ヤマダ大感謝祭

毎年4月の最終土曜日に開催
 第3回は平成25(2013)年4月27日(土)に開催予定

お問合せ先：昭和60年卒 闘紺会 鈴木 重之
 suzukishige9696@hat.hi-ho.ne.jp

鞆・袋物・文具用金具製造卸

服部興業株式会社

服部 高一（昭和60年卒 闘紺会）

東京都台東区浅草橋 3-27-7 〒111-0053
TEL 03-3862-3411 FAX 03-3861-6006
E-mail : hattorikogyo@gmail.com
<http://www.hattorikougyo.com>

有限会社 秋元鉛工所

代表取締役社長 秋元 健一郎

昭和60年卒 闘紺会

〒132-0021 東京都江戸川区中央 1-6-21
TEL 03-3651-0080 FAX 03-3651-2661 F R P タンク

鉛ホモージェン加工
鉛配管工事
塩化ビニール加工
接着ライニング加工
塩ビ配管ダクト工事

各種合成樹脂加工

鈴木税理士事務所

税理士 鈴木 裕朗（昭和60年卒 闘紺会）

Hiroaki Suzuki

東京都墨田区業平 1-21-9 あさひ墨田ビル2F 〒130-0002

Tel: 03-3623-8703 Fax: 03-3623-8706

<http://www.suzuki-firm.com/>

玉 壽 司
会 社
出 店
真 味

東京シティ信用金庫新小岩支店前・元伏日本曜日

☎ 3 6 9 1 - 3 0 8 8

<http://www.tamezushi.com>

手束 謙一（昭和60年卒 闘紺会）

自動車 外装磨き 内装清掃 専門会社

(対応車種 軽自動車～1BOX 輸入車 商業車 大型トラック・バス)

外装ポリマー加工
水アカ除去磨き
タバコ消臭処理
革シート清掃
ルームクリーニング



株式会社 サンコー商会 昭和60年卒 闘紺会
代表取締役 町側 尚則 吹奏楽班OB

〒123-0872 東京都足立区江北3-38-1
TEL 03-3898-3501 FAX 03-3898-3701
E-mail machigawa@gmail.com
http://www.car-sanko.com



三栄の家具

〒142-0041 東京都品川区戸越6-6-6

TEL 03-3784-2654

FAX 03-3783-2143

営業時間 10:00～19:30

定休日 水曜日

E-mail honbu@sanei-kagu.co.jp

YAHOO!ショッピングもご利用下さい。 三栄の家具 で 検索 クリック!

原 昭夫(昭和33年卒 三三會) 原 健治(昭和60年卒 闘紺會)

祝 創立 100 周年

株式会社 森田質店

昭和60年卒 闘紺会

代表取締役 **森田 聡一**

〒279-0002 千葉県浦安市北栄2-7-1

TEL.047-351-2502 FAX.047-351-5681

<http://www.morita78.com/>



2011年度総明会活動報告

SOUMEIKAI ACTIVITY REPORT



平成24年度 総明会 役員一覧

(敬称略)

委員会・役職		年 卒	氏 名
名誉会長 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問		昭和36年卒 明治高校校長 昭和21年卒 昭和29年卒 昭和32年卒 昭和43年卒 昭和44年卒	向殿 政男 金子 光男 小林 昭雄 山浦 晟暉 山崎 敬生 佐久間 洋一 服部 雄二
監事 監事		昭和39年卒 昭和49年卒	佐藤 仁 佐藤 眞弘
会長 副会長 副会長 副会長		昭和41年卒 昭和44年卒 昭和45年卒 昭和51年卒	尾島育四郎 関谷 芳久 吉田耕太郎 井家上哲史
専務理事 常務理事 事務局長 会計 事務局	副事務局長	昭和50年卒 昭和43年卒 昭和54年卒 昭和56年卒 昭和54年卒	山崎 秀樹 中村 正容 熊倉 章雄 狩野 智雄 荒井 信之
総会委員会	委員長 副委員長	昭和57年卒 昭和59年卒	柴谷 貴男 大山 輝芳
会報委員会	委員長 副委員長 副委員長	昭和59年卒 昭和56年卒 昭和56年卒	平野 一哉 衛藤 雅一 飯野 善明
ゴルフ委員会	委員長 副委員長	昭和57年卒 昭和59年卒	関川 一浩 田中 重幸
企画委員会	委員長 副委員長	昭和50年卒 昭和56年卒	近藤 敏彦 鴨下 裕彦
企画委員会	委員長 副委員長	昭和58年卒 昭和51年卒	清水 鉄也 岡本 雅仁
組織委員会	委員長 副委員長	昭和57年卒 昭和51年卒	小林 謙之 上野 雅宏
総務委員会	委員長 副委員長 副委員長	昭和58年卒 昭和56年卒 昭和56年卒	高橋 浩 須藤 貢一 安藤 信夫
広報委員会	委員長 副委員長	昭和58年卒 昭和52年卒	秋間 聡郎 大西 静太郎
名簿委員会	委員長	昭和57年卒	熊谷 康生
周年委員会	委員長 副委員長	昭和50年卒 昭和50年卒	吉武 孝生 桑崎 安弘 光岡 孝之

総明会評議員一覧

同期会

(敬称略)

卒業年	名 称	氏 名	氏 名
昭和11年		板垣 忠吉	
昭和12年		中富 光國	
昭和15年	明中26会	三笠 光人	
昭和19年		鈴木 昌英	
昭和21・22年	午巳の会	小林 昭雄	斉藤 久也
昭和24年		内藤 功	
昭和25年	明二会	小田川 玉城	高橋 信雄
昭和26年	猿楽会	熊井 実	寺村 武二
昭和27年	明高会	米山 耕三	渡邊 幹夫
昭和28年	明憲会	戸田 一郎	
八丈島高校	八明会	高橋 和夫	持丸 孝雄
昭和29年	29会	小川 安弘	橋崎 正義
昭和30年		石田 彰之	宇田川 雄弘
昭和31年	明楽会	大出 育男	佐藤 健一
昭和32年	明治会	石坂 善正	山崎 敬生
昭和33年	明三会	藤田 義茂	
昭和34年	旧雨会	加藤 佳一	
昭和35年	珊瑚の会	天野 洋一	倉林 貞夫
昭和36年	明駿会	戸谷 眞義	谷 正之
昭和37年	37会	戸谷 誠樹	中村 哲士
昭和38年	二年に一会	高橋 正侑	三浦 昭生
昭和39年	三九会	佐藤 仁	
昭和40年	明優会	阿部 正行	大関 清人
昭和41年	41明友会	小川 秀次	菊本 哲也
昭和42年	M41	新村 秀男	結城 康郎
昭和43年	紫讃会	小田嶋 保男	志村 一夫
昭和44年	男坂倶楽部	寺田 康夫	中河 孝樹
昭和45年	獅子の会	上野 隆史	山形 英明
昭和46年	明潮会	金子 敏一	木村 茂
昭和47年	四七四同志酔会	内田 茂	廣野 宏士
昭和48年	波の会	雨海 重明	海老根 一介
昭和49年	翼明会	石田 和夫	大前 実之
昭和50年	明紫会	三森 勳	窪寺 弘巨
昭和51年	明々会	前田 稲一朗	山田 眞也
昭和52年	男子校根性組	石黒 理樹	小嶋 真作

卒業年	名 称	氏 名	氏 名
昭和53年	紫明会	加藤 裕之	竹越 利之
昭和54年	友誠会	志村 和哉	水上 泰良
昭和55年	紫魂会	大迫 好孝	渡辺 裕之
昭和56年	明翔会	寺村 一義	蓬田 裕一
昭和57年	明魂会	岩崎 広人	田中 幹浩
昭和58年	明輪会	大塚 達宏	高橋 浩
昭和59年	明心会	田中 重幸	渡邊 文夫
昭和60年	闘紺会	鈴木 重之	渡辺 智郎
昭和61年	新世輝	鶴飼 友義	栗本 宜長
昭和62年			
昭和63年	昭和戊辰乃会	光岡 孝之	米持 貴史
平成元年			
平成2年		鈴木 弘和	森 正樹
平成3年		斎藤 直宏	山口 一郎
平成4年	快汗、どすこい塾	小畑 啓	
平成5年		安藤 高利	
平成6年		新村 哲也	
平成7年		石田 頼央	
平成8年			
平成9年	紫雲会	香川 満洋	小谷 健志
平成10年	紫98俱会	秋山 光億	平田 健寛
平成11年	明哲会	石川 一仁	戸邊 寛
平成12年	明澤会	玉木 万理夫	
平成13年	明治21	大橋 弘頌	
平成14年		上原 康仁	武雄 一郎
平成15年		大川 康介	徳竹 正憲
平成16年		杉田 将平	室井 純
平成17年		荒川 佳史	山崎 裕貴
平成18年	白雲会	角田 隆悟	横倉 光輝
平成19年		大竹 惇	
平成20年		早川 慎吾	
平成21年		大森 貴之	加藤 敦
平成22年	明雄会	亀屋 将紀	佐藤 太郎
平成23年		平田 裕貴	春山 愛美
平成24年		三浦 彩	市川 陸

班部OB会

名 称	氏 名
生徒会本部	長谷川 裕
応援指導班	佐藤 欣生
新開班	西山 光彦
吹奏楽班	竹越 利之
図書班	平田 幸彦
放送班	宮田 健
剣道部(見心会)	鈴木 幸男
硬式野球部(明球会)	徳世 俊之
サッカー部	大室 智
柔道部	小川 洋一
水泳部(明水会)	石川 守也
スキー部(明雪会)	吉口 市郎
卓球部(明卓会)	山崎 泰夫

名 称	氏 名
庭球部	岩佐 浩之
バレー部	樋田 哲次
フェンシング部	伊藤 秀文
陸上競技部	櫻井 勝也
バスケットボール部	吉田 博
囲碁部	田島 弘資
化学部	森 八一
物理部(明物会)	磯部 進
マンドリン部	休 会
地理研究部	小林 謙之
歴史研究部	吉田 正昭
アイスホッケー愛好会(明米会)	武藤 仁
J R C	横谷 昌明

昨年1年間ご連絡を取らなかった評議員の方はお名前を記載できませんでした。
お気づきの方は、総明会事務局まで、ご連絡を頂けますようお願いいたします。

2011年度 活動報告

総明会 専務理事
山崎 秀樹

「未来へつなぐ絆」100周年に向かつて」をテーマとした第47回総明会総会・懇親会は2011年11月19日にホテルイースト21において開催されました。幹事学年 明心会(昭和59年卒)の準備のもと、ご来賓、総明会会員、明治高校・中学校関係者並びに各班クラブの皆様

にご出席いただきましたことに感謝しております。ありがとうございました。

さて、明治高校・中学校は明治44年に創設され、翌年開校いたしました。以来、数多くの卒業生を輩出するとともに、その建学の精神を今に伝え、本年は母校創立より100周年という節目を迎えることとなりました。

そこで、「100周年に向かつて」総明会として何ができるかという取り組みにも熱が入り、今年は「評議員・班クラブOB・OG会懇親パーティー」を發展させるかたちで、5月5日に総明会主催の記念祝賀会をアカデミーコモンにおいて開催いたしました。周年委員会を中心に準備がすめられ、「これからの100年に向けて」と題したパネルディスカッ

ションと記念祝賀会には2000名をこえる皆様にご参加をいただきました。

また、6月2日に開催された第18回チャリティーゴルフも100周年記念大会として開催され、120名をこえる会員が唐沢ゴルフ倶楽部に集い、楽しく一日を過ごすことができました。

このように今年は総明会として母校100周年を祝う年となりましたが、総明会会員数については、あらたに平成24年の卒業生255名(男子195名・女子60名)を加え、18867名の卒業生総数となり、現在総明会で住所を把握している会員総数は約12000余名となっております。

最後となりますが、私こと山崎秀樹(昭和50年卒・明紫会)が今年度より総明会専務理事を務めさせていただくことになりました。至らぬ点多々あると存じますが、ご指導ご鞭撻のほどお願いいたします。

平成23年11月19日	総会・懇親会(ホテルイースト21)
12月10日	忘年会
平成24年1月20日	第一回理事会
1月27日	第一回評議員会
2月14日	新卒業生総明会説明会
2月24日	武陵会懇親会
3月10日	明治高校卒業式
3月16日	第二回理事会
3月23日	第二回評議員会
4月6日	明治高校入学式
5月5日	総明会主催100周年パーティー
5月18日	第二回理事会
5月19日	武陵会総会(明大中野高校)
6月2日	第18回総明会チャリティーゴルフ
6月24日	白駿会総会(京王プラザホテル)
7月20日	第四回理事会
10月12日	第五回理事会
10月19日	第二回評議員会
11月17日	明治高校100周年記念式典 (アカデミーコモン)

総明会 平成23年度 一般会計報告 (自)平成23年4月1日～(至)平成24年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	8,496,410円	会議費	643,949円
新入会員入会金	2,550,000円	交流費(学校・他)	1,249,260円
新入会員永会費	2,550,000円	通信費	1,264,284円
学年会費	1,015,000円	大学130周年へ寄付	1,000,000円
雑入(会議費・他)	668,000円	各委員会活動費	1,080,125円
雑入(ゴルフ委員会)	41,116円	雑費	130,000円
寄付金	150,000円	基金へ組入れ	1,000,000円
預金利息	620円	次年度繰越金	9,103,528円
合 計	15,471,146円	合 計	15,471,146円

総明会 平成23年度 基金会計報告 (自)平成23年4月1日～(至)平成24年3月31日

基金区分	平成22年度末残金	平成23年度増減額	摘要	平成23年度末残金
事業遂行基金	7,843,938円	1,003,268円	一般会計から繰入及び利息	8,847,206円
財政基盤基金	10,000,000円	△20,000,000円	明治高校100周年へ寄付	△10,000,000円
100周年記念事業特別基金	12,100,000円	5,571,000円	寄付金募集	17,671,000円

上記の通り報告いたします。 平成24年3月31日 会長 尾島育四郎 会計 狩野 智雄
監査の結果相違ありません。 平成24年6月 8日 監査 佐藤 仁 監査 佐藤 眞弘

総明会 平成24年度 一般会計予算(案) (自)平成24年4月1日～(至)平成25年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	9,103,528円	会議費	600,000円
新入会員入会金	2,500,000円	交流費(学校・他)	1,450,000円
新入会員永会費	2,500,000円	通信費・事務費	1,160,000円
学年会費	800,000円	各委員会活動費	1,220,264円
雑入(会議費・他)	700,000円	雑費	600,000円
雑入(寄付金・利息)	107,122円	基金へ組入れ	1,500,000円
		次年度繰越金	9,180,386円
合 計	15,710,650円	合 計	15,710,650円

総明会 平成24年度 基金会計予算(案) (自)平成24年4月1日～(至)平成25年3月31日

基金区分	平成23年度末残金	平成24年度増減額	摘要	平成24年度末残金
事業遂行基金	8,847,206円	1,500,000円	一般会計から繰入及び利息	10,347,206円
財政基盤基金	△10,000,000円	△7,155,000円 17,671,000円	明治高校100周年へ寄付残金 100周年記念事業基金より	516,000円
100周年記念事業特別基金	17,671,000円	△17,671,000円	財政基盤基金へ振替	0円

第47回 総明会 特別会計報告 (自)平成23年4月1日～(至)平成24年3月31日

収入の部		支出の部	
総会会費収入	2,658,500円	総会関係費	4,561,357円
総明会より助成金	1,055,996円	会報関係費	2,807,697円
寄付・広告	5,447,430円	運営関係費	1,792,872円
合 計	9,161,926円	合 計	9,161,926円

第48回 総明会 特別会計予算(案) (自)平成24年4月1日～(至)平成25年3月31日

収入の部		支出の部	
総会会費収入	4,225,000円	総会関係費	4,800,000円
総明会より助成金	1,050,000円	会報関係費	3,100,000円
寄付・広告	5,160,000円	運営関係費	2,535,000円
合 計	10,435,000円	合 計	10,435,000円

総会委員会 活動報告

総明会 総会委員長
染谷 貴男

第48回総明会総会・懇親会の開催

誠に改めてとう御座います。

本年度総会委員会の委員長を仰せつかりました、昭和57年卒（明魂会）染谷貴男で御座います。私も総会委員会では昨年までの式典部門に加え、次年度以降の幹事学年を育てて行く育成部門を配し（昨年度育成委員会を吸収）、これらを二つの柱として活動しております。

メンバーには、昨年幹事学年（明心会）を勤め上げ、実行委員長の大役をこなした大山輝芳君を副委員長（育成担当）に、またホテルイースト21に於いて立派な総会・懇親会の開催を責任者として成し遂げた、平野一哉君を同じく副委員長（式典担当）

に起用させて頂きました。

私を含めて、幹事学年が終わってまだまだ数年・・・。

右も左も分からない中での手探り状態で活動をさせて頂いております。

さて今年度幹事学年の闘紺会の皆さんは、早くより活動を開始し、毎月々々二度三度と幹事会・定例会を行っており、私共委員会メンバーも次年度幹事学年の新世輝の皆さんと定例会に参加させて頂いております。

そんな中、そろそろ半年が経とうかという頃、ふとした話から幹事学年の皆さんの一年間の活動に対する不安（懇親会）が解消されていない

事に気付きました。自分達が幹事学年の時に感じた不安が、毎年繰り返されている・・・。

これから幹事学年を迎える各学年の皆さんが、安心して1年間を活動出来る様な何かを作らなければいけないという思いを強くした次第です。

さて最後になりますが、明治高等学校創立100周年という記念すべき年に幹事学年という大役が巡って来るという幸運さに加え、西新宿のハイアットリージェンシー東京という素晴らしいホテルでの開催を私共委員会メンバーのみならず、たくさんの先輩方が大変楽しみにしております。

幹事学年皆様の1年間の汗と努力が報われます事を祈念し、委員会の活動報告及び挨拶とさせて頂きます。

会報委員会 活動報告

総明会 会報委員長
衛藤 雅一

皆様、今年も会報をお読みいただきましてありがとうございます。昨年は会報委員会の活動についてご紹介させていただきまして今年は最新の会報の特長についてお伝えさせていただきます。



諸先輩方にはご存知のことと思いますが、会報がタブロイド版↓CD↓冊子というように移り変わり、特にここ数年では「立つ会

報」「カラー印刷」が当たり前になってきています。会報誌の大きさにつきましても、今では読みやすさを考慮して「A5」版の大きさになりました。

会報の外見はこのように変化をしてみました。が中身のほうはどうでしょうか。

幹事学年はこれまでの会報を参考にし、自分たちの総会・懇親会のテーマに基づいた内容を考えています。単に1年間の行事、活動報告だけでなく、総明会会員の皆さんに知っていただきたいこと、お伝えしたいことを考え会報作成にあたっています。

会報委員会は、このような幹事学

年会報委員の活動をバックアップすることがその役目であります。幹事学年と数々のアドバイス、ご意見をいただける先輩方の調整役として活動をしています。

近年では特集記事も複数組まれ、在校生へのアンケートを実施するなど趣向を凝らした会報になってきています。

皆様のお手元に会報が届いた時には是非とも約1年間にわたる幹事学年会報委員の苦勞を頭の片隅に思い出していただきお読みいただければありがたいと思います。

会報委員会はこれからも幹事学年会報委員と協力して皆様に満足いただける会報作成を目指して活動をすすめていきたいと思っています。今後も今までと変わらぬご指導、後鞭撻をいただきますよう御願いたします。

企画委員会 活動報告

総明会 企画委員長
岡本 雅仁

昨年は明治大学創立130周年にあたり、恒例の明朗会は、10月15日(土)、130周年記念行事・明治大学落語研究会創部50周年記念「明大落語会」と紫紺館「椿山荘」での懇親会を楽しんでいただきました。

を覚えました。

落語会終了後、会場を紫紺館5階「椿山荘」に移し、先輩方に「ゆつくりお食事をしていただきたく、着席による」フルコース+飲み放題の懇親会を行いました。

まずは、尾島会長よりご挨拶をいただき、昭和26年卒桑原先輩の乾杯のご発声で楽しく会が始まりました。令夫人も交えた懇親会は、和やかな雰囲気にも包まれ、ご歓談後は、昭和23年卒の松倉先輩を筆頭に各代の諸先輩方のご近況をお伺い致しました。いつまでもお元気で力強いお言葉と励ましをいただき、より一層に楽しんでいただける企画を考え、次に繋げてまいります。

大締めは、昭和49年卒、大前先輩の

リーダーによる明治高校校歌斉唱、全員が一体となって、右手を高く掲げ『お、明治っ！』が轟き渡りました。
今回の「明朗会」開催にあたり、多くの方々にお手伝いを頂きました。委員会のメンバー、幹事学年をはじめ、ご寄付・ご協力を賜りましたすべての皆様に感謝申し上げます。

平成23年度「明朗会」ご参加の皆様

松倉 康信(23年卒)	阿部 正行(40年卒)	竹澤 啓(49年卒)
小田川玉城(25年卒)	尾島育四郎(41年卒)	井家上哲史(51年卒)
桑原 精一(26年卒)	菊池 博道(41年卒)	上野 雅宏(51年卒)
鈴木美津夫(28年卒)	広瀬 準(41年卒)	小林 祥悟(51年卒)
山本 峰司(29年卒)	結城 康郎(42年卒)	大西静士郎(52年卒)
宇田川雄弘(30年卒)	中村 正容(43年卒)	熊倉 章雄(54年卒)
宇田川 令夫人	栗田 茂(44年卒)	貴男(57年卒)
山崎 敬生(32年卒)	佐伯 正(44年卒)	鳴海 浩樹(57年卒)
石坂 善正(32年卒)	関谷 芳久(44年卒)	高橋 浩(58年卒)
石坂 令夫人	藁谷 豊(44年卒)	康浩(幹事学年)
丞村 裕次(35年卒)	笹本 和義(45年卒)	大山 輝芳(幹事学年)
中村 哲士(37年卒)	比留間竹郎(45年卒)	渡辺 文夫(幹事学年)
関野 淳一(38年卒)	吉田耕太郎(45年卒)	瀬戸 正道(校友会)
知野 誠一(38年卒)	内田 茂(47年卒)	井上 謙次(校友会)
佐藤 仁(39年卒)	戸張 毅(47年卒)	雅仁(委員51年卒)
武村 隆二(39年卒)	大前 実之(49年卒)	謙之(委員57年卒)

組織委員会 活動報告

総明会 組織委員長
上野 雅宏

平成24年1月より組織委員に任ぜられました昭和54年3月卒「明々会」の上野と申します。組織委員会では、

学生を中心とした若手会員をサポートし、総明会全体の組織が盤石なものとなるよう種々の活動を行っています。

①総明会説明会

卒業を間近に控えた明治高校Ⅲ年生、即ち新たに総明会会員となる生徒を対象として総明会について紹介する説明会を催しております。「総明会」の成り立ちや現在の活動、明高卒業生としての心意気を説明します。この説明会を通じて、卒

業生が「総明会」を身近に感じ、ひいては各行事への積極的な参加に繋がたいと考えています。

②新卒会員との昼食会

毎期、高校を卒業する生徒から同期の活動の要となるクラス委員が指名されます。今回は7クラスから各々男女1名、計14名の諸君が決まりました。組織委員会では、クラス委員に更に深く総明会を理解していただくべく、昼食会を催しています。今期は3月17日に13名のクラス委員が出席し、後楽園飯店にて行いました。

③最初の同期会

組織委員会の最大の目標が大学卒業の時期に合わせた同期会の開催です。社会人となつて間もないうちは時間の

自由がきかず、同期が一同に会することとは難しいと聞くので、大学卒業時の3月に同期会を開催しようサポートしています。今年は、平成20年3月に卒業した諸君が5月13日に担任の先生をお呼びして初の同期会を明大アカデミーコモンにて催しました。40余名が集まり、大変な盛会となりました。

④若手の会

例年10月頃に開催している「若手の会」は、大学在学中の1～4学年のクラス委員同志の懇親を深めようというもので、「総明会」役員にも出席をいただきます。毎年愉快なひとときを過ごしています。この会の開催を通じて、将来の「総明会」コアメンバーを育成したいと考えています。

このように、総明会組織の礎を構築すべく活動する組織委員会に対し、引き続きのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



総務委員会 活動報告

総明会 総務委員長
須藤 貢一

総明会会員の皆様、いつも総明会活動に御協力頂き、誠にありがとうございます。

本年度、明治高校創立100周年記念の年に、総務委員長という大役に任命され大変誇りに思うとともに、大役を担う責任を感じております。今後とも全力投球していきたいと思っております。

さて、皆様の中には、総務委員会がどのような活動をしているか分からない会員の方々も大勢いらっしゃると思います。

大変簡単な説明で恐縮ですが、現在は以下の役割を総務委員会が担っております。

①年3回（1月、3月、10月）の総

明会評議員会の準備及び運営

〈具体的業務〉

評議員会開催のための会場の予約及び受付業務並びに評議員会での議事録作成を行います。

②評議員・班クラブOBOG会懇親会（7月）の準備及び運営

〈具体的業務〉

評議員会開催のための会場の予約及び受付業務を行います。

③総会（11月）での議事録作成

④忘年会（12月）の準備及び運営



忘年会開催のための会場の予約及び受付業務を行います。

以上ですが、会社の総務部等の部署を想像して頂くと、身近に感じて頂くことが出来ると思います。常日頃、総明会会員の皆様の前に出て様々な業務を行うことも無く、縁の下で総明会を支えていく地味な委員会ですが、議事録の作成や各委員会との打合せ等、管理運営に関し大変重要な委員会ですので、総務委員全員誇りを持って活動しております。今後とも宜しくお願いします。



広報委員会 活動報告

総明会 広報委員
熊谷 康生

広報委員会は総明会ホームページの更新管理を担当しております。

ホームページでは総明会の各種情報をはじめ、幹事学年の活動状況、各委員会の活動報告、各種イベント情報などを掲載し、会員の皆様にご覧いただけるだけの情報を発信するように

心掛けております。

また、ホームページには会員の皆様が直接情報を発信できる場として、連絡用掲示板、フリー掲示板を設けております。連絡用掲示板は重要な伝達事項のほか、それぞれの集まりや連絡事項を伝達する為の伝言

板として、フリー掲示板は部活やイベント情報はもちろん、その他、自由に情報発信できる場として、おおいに役立てて下さい。

さらに、広報委員会では今後

も皆様が楽しんで頂けるような新しいコーナーや情報を取り入れていきたいと考えております。会員の皆様も是非ご意見をお寄せ下さい。

これから総明会ホームページ運営へのご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、現在の広報委員会のメンバーは、強い精神力と信頼度でリーダーシップを発揮する大西委員長（昭和52年卒）、ハイセンス&ハイクオリティで実務を担当する島村委員（昭和59年卒）、雑務で勝負の熊谷副委員長（昭和57年卒）の3名で業務を分担し、月におよそ一度の定例会で意見交換や情報の共有を行っております。広報委員会ではホームページ運営の為の新鮮なアイデアやひらめきを求め、いつでも人材募集中でございます。皆様のご参加をお待ちしております！

<http://www.meiji.cside7.com>

※総明会の会員ページがございます。会員ページに入るには、ユーザー名とパスワードが必要です。「会員ページに入る」ボタンを押すと、ユーザー名とパスワードの入力を求めてきますので下記をご入力ください。

ユーザー名：meiji パスワード：otokozaka

名簿委員会 活動報告

総明会 名簿委員長
吉武 孝生

最近、なんとなく登録をして始めてみた Facebook にハマっています。簡単にいつでもどこでもつぶやいたり、写真をアップしたり仲間の近況を知って和んだり。だが、私が明治大学付属明治中学校に入学した昭和44年にはインターネットはおろか、携帯電話も現代のように身近にあるものではありませんでした。当時の伝達手段といえば、電話か郵便。今はその二つよりも電子メールが公私でよく使われているような時代です。

江戸時代は、何日もかけて一通の手紙を飛脚が運んでいました。時は流れ、昭和の時代に高速道路の整備と共に郵便番号が導入され、伝達速

度が格段とアップしました。私の記憶が確かなら、郵便番号も子供のころは3桁だったはずですが・・・。

その後、ワープロ・パソコンの発達と普及により、手書きで管理をしていた住所録も今ではキーボードを叩けば即座に書き換えが出来る、データの保存もHDやUSB等で持ち運びも可能で便利なものとなっています。ほんの少し前までは、各種団体・学校等でも毎年のように新しい名簿を作成していましたが、今のトレンドで個人情報保護法のもと、容易に名簿の作成が出来なくなってしまうました。

しかし、今の時代でも名簿は大切な資料であり、人とのつながりを持

ち続けるための最善唯一の手段であるといえると思います。現在総明会では、2万名を超える同窓生の名簿をお預かりしています。いくらメールが伝達手段の主流の世の中になつたとしても、ポストに直接届いて手に入る紙の温かみに優るものはないかと思っています。

それは、百年後の未来であっても変わらないでいて欲しいものです。

最後に、名簿委員会よりお願いです。もし住所移転・変更をされた方、もしくはその予定がある方、または、ご自分ではなくてもお知り合いの方が引越をされたことをご存じの場合には、是が非でも、総明会事務局宛にお知らせをお願いします。

そうでなければ、総明会と貴方、貴方と私、貴方と誰かの関係は途切れてしまうかもしれません・・・。

周年委員会 活動報告

総明会 周年委員長
桑崎 安弘

本年度、明治高校・中学校の創立

100周年を迎えまして、過日5月5日にアカデミーコモンに於きまして、「これからの百年に向けて」と題した、OBと学生OB・OGによるパネルディスカッション及び100周年記念祝賀会を開催致しました。当日は見事な五月晴れで、明治大学・学長、副学長、理事長、担当理事4名をお迎えし、総勢200名を超える人数で大盛況の内に終る事が出来ました。

これもひとえに、明治大学、明治高校・中学校関係の皆様、白駿会の皆様、武陵会の皆様、総明会の皆様のお力添えの賜物と大変感謝致しております。

毎年夏に開催致します、班・クラブOB・OG会の代わりとして、開催が決

まり、予算等の関係もあり、ご案内が大変遅くなった事や、ご案内状をだぶって送らせて頂いてしまった事など、不手際が多々ありました事をこの場をお借り致しまして、お詫び申し上げます。

2014年には、総明会・創立50周年を迎えますので、周年委員会としても、全力で企画推進して参りますので、今後共、宜しくお願い申し上げます。





創立100周年記念 第18回チャリティーゴルフ大会

昭和60年卒 闖紺会
山口 達明

6月2日土曜日、場所は栃木県佐野市の唐沢ゴルフ倶楽部三好コース。

昨年は震災の影響で9月に延期開催されたチャリティーゴルフ大会は本年度、例年通りの6月に開催されました。

梅雨入り間近の天候が心配されましたが、大会当日は雲ひとつない晴天に恵まれ絶好のゴルフ日和となりました。

昨年退職された恩師の山田伸夫様もお迎えし、会員参加者は昭和31年卒の大先輩から平成12年卒の若者まで実に幅広い世代のOBが集まり総勢120名となる過去最大規模を誇る

チャリティーゴルフ大会となりました。

競技は、新ベリア方式で行われ、「個人順位戦」・「学年対抗戦」、昭和45年卒以前の大先輩の方々による「大先輩名人戦」(名人戦・大名人戦)を競いしました。更には午前中にはドラコン、ニアピンの各コンテストも競い合いました。上手いも下手も仲の良い同期や先輩後輩の組み合わせですから、学生時代にもどおり、和気あいあいとプレーを楽しみました。

表彰式は、総明会の尾島会長の挨拶で始まり、各対抗戦の結果発表。今回は記念大会の事もあり各賞も多数用意され例年にも増してパーティーが大いに盛り上がりました。大会の締めはもちろん「白雲なびく」の大会唱。当代

幹事学年で応援団OB柴貴君のエンルによりクラブハウス全体に120名の歌声が響き渡りました。

総明会という他校にはない稀にみる同窓会組織が、ゴルフを通じて、より一層会員同士の親睦が深められているんだということを実感いたしました。

また、幹事学年(闖紺会)としてお手伝いさせていただいたなかで、図らずも同期の小林君の優勝は、とても思い出深いものとなりました。

最後になりましたが、母校へのチャリティーにご協力頂いた参加者全員の皆様、ご協賛・ご寄付の数々をご提供頂いた皆様、並びに素晴らしい会場をご提供頂きました唐沢ゴルフ倶楽部の三村社長様、皆様のお蔭をもちまして大会が大いに盛り上がりました事、大変有り難く感謝申し上げます。書面を借りて厚くお礼を申し上げます。

個人 順位戦		氏 名	卒業年	OUT	IN	GRS	HD	NET
	優 勝	小林 克敏	S60	47	49	96	24.0	72.0
	準優勝	小田嶋保男	S43	43	40	83	10.8	72.2
	3位	渡邊 文夫	S59	42	46	88	15.8	72.4

学年 対抗戦		卒業年	代表選手名		NET
	優 勝	S44 男坂倶楽部	秋山 勝光		222.0
			望月 昇		
			栗田 茂		
	準優勝	S59 明心会	永井 健		222.0
			藤ノ木勇人		
			渡邊 文夫		
	3位	S55 紫魂会	伊東 正明		223.4
			養田 克己		
加藤 誠					

名人戦		氏 名	卒業年	OUT	IN	GRS	HD	NET
	優 勝	小田嶋保男	S43	43	40	83	10.8	72.2
	準優勝	栗田 茂	S44	41	44	85	12.0	73.0
	3位	秋山 勝光	S42	40	44	84	9.6	74.4

大名人戦		氏 名	卒業年	OUT	IN	GRS	HD	NET
	優 勝	村嶋大三部	S34	46	44	90	15.6	74.4
	準優勝	鈴木 慶一	S34	44	53	97	20.4	76.6
	3位	石川 淳	S34	41	43	84	7.2	76.8



①個人優勝の小林克敏氏。②名人戦優勝の小田嶋保男氏。③大名人戦優勝の村嶋大三部氏。④団体優勝は昭和44年卒 男坂倶楽部の皆さん。

全22学年、先生及び父母会による「個人順位戦」、各学年代表者3名または選抜チームによる「学年対抗戦」。「大先輩名人戦」は昭和36年卒から昭和45年卒までの先輩による「名人戦」、昭和35年卒以前先輩方による「大名人戦」の2つに分かれて競技が行われました。4位以下の方は誌面の関係上省略させていただきます。

◎ 寄付ご報告

・金一封

山浦 晟暉様 金壺万円

尾島育四郎様 金壺万円

関谷 芳久様 金壺万円

吉田耕太郎様 金壺万円

狩野 智雄様 金壺万円

・協賛

明楽会様

パター2本
中村 正容様
バスタオル(参加者全員)

栗田 茂様
日本酒(1升瓶)2本

平野 一哉様

東京デイズニラントベアケット3組
ゴルフ委員会

日本酒(四合瓶)3本

唐沢ゴルフ倶楽部様

キャディバッグ・ゴルフシューズ各1

・学校チャリティー報告

寄付 12万円

※多大なご寄付とご協賛を賜り、まことに有難うございました。

第18回総明会チャリティゴルフ大会開催コース

唐沢観光株式会社

唐沢ゴルフ倶楽部

三好コース

〒327-0307 栃木県佐野市岩崎町 1975 番地

TEL 0283-62-4111 FAX 0283-62-4114

<http://www.karasawa-golf.com>



前年度幹事学年挨拶

第47回総明会実行委員長
昭和59年卒 明心会

大山 輝芳

下さい。

第48回総明会総会・懇親会の開催、誠にありがとうございました。そして準備に携わった鈴木実行委員長をはじめとする闘紺会の皆さん、一年間本当にお疲れ様でした。私も闘紺会の定例会には何回か出席させていただきましたが、皆さんの真剣な眼差しを見ていて、その度に一年前の自分たちを思い出していました。

昨年私達は「絆」をテーマにして準備活動が続けてきました。先生との絆、先輩との絆、同期との絆、後輩との絆。昨年一年間の準備活動の中で、様々な形の数多くの「絆」が生まれたり深まったりしました。参加させていだいた数多くの同期会やOB会。そこで

話をさせていただいた明治を思う熱い先輩方からは、幹事学年が終わった今でも気軽に声をかけていただいたり、こちらから声をかけさせていただいたり、幹事学年を務めた後だからこそ生まれた数多くの「絆」がありました。そして、昨年よりスタートした「明心会」の同期会。約30年ぶりに会い、昔と全く変わっていないやつがいるかと思えば、30年の月日を充分感じさせてくれるやつなど、そこにはいろいろな形の再会がありました。

ただみんな終始笑顔で、言いたい事を言ったりバカ話したり・・・そんな仲間たちと準備活動で走り続けた一年。それは決して楽ではな

かった一年、嬉しい事ばかりではなかった一年でした。しかし、総会・懇親会の成功のため、明心会の仲間たちと全力で走り続けた意味のある一年だったと思っています。もしかすると意味のある一年だったかどうかはこれからの私達次第なのかもしれません。

今年には明治高校・中学校創立100周年。このすばらしい年に幹事学年を務められた闘紺会の皆さん。皆さんのこの一年間の努力に心より感謝します。そして一年間走り続けた後に何が残るのか。それは人それぞれだと思います。でも、必ず何かが心に残るはずです。それを大切にしてください。それを誇りにしてく

最後にりましたが、昨年の総会・懇親会には悪天候の中、大勢の皆様にお集まり頂きました事心より御礼申し上げます。また、何かと行き届かず御迷惑をお掛けいたしました事も多々あったかと存じますが、この場をお借りしてお詫び申し上げます。今後、総明会がますます発展し、さらに楽しい会となる事を祈念して挨拶とさせていただきます。

貴重な1ページをいただき、本当にありがとうございました。

余談ですが、昨年3月の東日本大震災以降「絆」という言葉がクローズアップされました。私達のテーマでありました「未来へつなぐ絆」100周年に向かっては昨年の1月には決定していましたが、この場をお借りしてご報告させていただきます。

次年度幹事学年挨拶

第49回総明会実行委員長
昭和61年卒 新世輝

鵜飼 友義

次年度幹事学年を務めます
61年卒新世輝の鵜飼でございます。

昨年10月初めて総明会評議員会に出席させて頂き、明心会の皆様が運営された第47回総明会総会に参加させて頂いた時、率直に感じたことは「これは大人の文準だ!」ということでした。大の大人が生業の有る傍ら集まってはこんな総会にしよう、会報はこうしようなどと侃々諤々やりあつてゐる様は、それはどうみても文化祭準備委員会のようにしか見えなかったのです。

40を過ぎて、同窓の郷愁にひたただけでなく、高校生であつた在りし日に勉学の傍ら一生懸命「文化祭」の準備を

していたあの感覚まで蘇らせて頂けるのかと、ひとりワクワク致しました。

考えてみれば、高校1年生の時、Ⅱ年生の先輩方が文準として準備運営を担つてらっしゃる姿を見て、楽しそうだな、カッコいいなと思つてか「俺たちも手伝います」と積極的に関わつたものです。

本年度文準、あ、間違えましたが、幹事学年「闊紺会」の皆さんが集まる初めての日にお前達も来いよと誘われた時「手伝います!」と手を挙げていそいそと出席しておりました。

振り返れば高校の文化祭であつても、卒業・進学を控えた高校Ⅲ年生と、実行主体者である高校Ⅱ年生と、そして

それを手伝うⅠ年生が一緒になつて楽しみながら盛り上げていったのです。

そうか。一つ下の後輩連中もこの文準(総明会実行委員会)に連れて来よう。3学年くらいが一緒になつて準備運営するぐらいが高校の時のような気分になれて丁度いいじゃないの?!ふとそう思うやいなや、闊紺会の皆さんに一つ下の連中、誰か誘ってきますねと提案しておりました。

総明会は文化祭とは違いますが、文準に似ているかも知れませんが、文化祭ではございません。高校生の時に、自分の為のイベントとして、自分の役目を担えたとしたら、新世輝としてはこの上ない喜びでございます。

分たちだけでなく、全卒業生から現役高校生も含めたオール明治の為の組織であり、同目的の催事なのだろうと思います。

新世紀を迎えるこれから。卒業生は現役高校生である後輩達が羽ばたいて行く事に希望を抱き、現役高校生たちは卒業して活躍している私たちに夢を抱く、そんな交流が当たり前に実現できていたとしたら、卒業生は現役高校生たちの新たな視点や価値観に刺激を受け、現役高校生たちは私たちに越えるべき目標を見いだす、そんな関係が当たり前に実現できていたら。

新世紀を迎える総明会つまりはオール明治がそんな強いひとつのチームとなるきっかけの役目を担えたとしたら、新世輝としてはこの上ない喜びでございます。

本年度幹事学年挨拶

第48回総明会実行委員長
昭和60年卒 關紺会

鈴木 重之

本年度幹事学年を代表し、一言挨拶申し上げます。私どもは、卒業して以来、中規模な同期会を数回開催した程度のつながりでした。そのような中、日に日に迫る「幹事学年」。何かしなければという強迫観念にさらされる中、平成23年7月31日に山田伸夫先生の退職記念の会「第1回ヤマタ大感謝祭」が行われ、30余名の同期が参加。同日、私どもの同窓会名を「關紺会」と命名し、活動を開始いたしました。

ありますが、現在、学年の約半数近く1000余名の連絡先を確認しています。

総明会の成り立ちや、運営方法についてもわからず、まさに一からの活動。様々な先輩より助言を受けましたが、「好きなようにやりなさい」、「幹事学年は楽しまなければ」、「同期で良く考えてやればよい」といずれも自主性を重んじる回答でした。

そこで、独立自治の精神よろしく、皆で集まり、どのように進めていくかを議論。得られた答えは、より組織的、体系的に幹事学年の活動を行い、かつそれを自分たちだけでとめることとなく伝承することが重要ということでした。

具体的に申しますと、幹事学年としての活動を行うと同時に、次代の「幹事学年」のために役に立つことはないかと考えました。そこで「もう少し早く、この活動を始めていれば、より入念に準備ができたのでは」、との反省を踏まえ、一学年下の昭和61年卒「新世輝」の皆様にもお手伝いいただき定例の会議に出席を依頼したり、諸先輩方のOB会等へ一緒にお邪魔し、寄付・広告のお願いをしたりと、幹事学年と一体となり活動いただきました。

また、企画面においては、会報の特集記事として明治中学・高校を運営する大学、高校の責任者の方々および総明会幹部諸兄との座談会を開催。加えて、調布校舎をまだ見たことがないという方々も多いため、肌で現役

生および調布校舎の雰囲気を感じてもらおうべくビデオを制作、懇親会にて放映いたします。

例年、幹事学年を除き、総明会の出席者は直近に幹事学年を経験した方がほぼ最下年という傾向が顕著です。少しでも、若い方々の参加を促すような施策が必要ではないかと思っています。創立100周年に行われる第48回総明会総会。未来永劫に本会を発展させるため、誰しもが気軽に参加できる会にできればと思います。

学舎は調布に移れども、幾星霜の空のもと、私どもの原点は「おお明治その名ぞわれらが母校」ではないでしょうか。

結び、に本会開催にあたり、多大なご支援いただきましたすべての総明会会員の皆様ならびに学校・法人関係者の皆様に深謝申し上げます。

誠にありがとうございました。

それは、
不動産と金融の融合による
先進的な資産運用のカタチ

《Real Estate》
+
《Financial Technology》

「リアルテックス」は不動産と金融の融合により
先進的な資産運用のモデルをご提案する、
土地・建物およびその取引に不可欠な金融の知識をもつ
専門家集団です。

realtex

リアルテックス株式会社

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-4-8 井門茅場町ビル3階

Tel.03-5651-1841 Fax.03-5651-1842

www.realtex.asia

第48回総明会 御寄付者一覧 (敬称略) (八月末現在)

◎総明会行事

創立100周年記念祝賀会

参加者有志一同

金 十五万六千円

チャリティゴルフ大会

参加者有志一同

金 三万一千円

◎学校関係

明治白駿会有志一同

金 十一万七千円

◎同期会・班クラブ

OB・OG会等

明二会 (昭和25年卒)

金 一万一千円

昭和三十年卒業同期会

金 四万二千円

明優会 (昭和40年卒)

金 三万六千円

41明友会 (昭和41年卒)

金 三万円

獅子の会 (昭和41年卒)

金 三万三千円

明紫会 (昭和50年卒)

金 八万五千円

明々会 (昭和51年卒)

金 七万七千円

明誠会 (昭和54年卒)

金 十一万一千円

紫魂会 (昭和55年卒)

金 八万円

明翔会 (昭和56年卒)

金 六万五千円

明魂会 (昭和57年卒)

金 六万八千円

明輪会 (昭和58年卒)

金 十万七千円

明心会 (昭和59年卒)

金 十二万円

應援團OB会

金 六万六千円

吹奏楽班OB・OG会

金 二万三千円

明球会(硬式野球部OB会)

金 一万円

マンドリン部OB会

金 三万五千円

歴史研究部OB会

金 三万円

ごとう会

金 三万四千円

卯の木会

金 四万二千円

田村会

金 一万円

ヤマダ大感謝祭

金 三万一千円

◎個人

金 十二万円

平野 一哉 (昭和59年卒)

金 十万円

福島 啓充 (昭和37年卒)

金 五万円

宮澤 政信 (昭和37年卒)

金 三万円

小嶋 眞作 (昭和52年卒)

齊木麻州男 (昭和56年卒)

金 二万五千円

染谷 貴男 (昭和57年卒)

金 二万円

小田川玉城 (昭和25年卒)

尾島育四郎 (昭和41年卒)

有田 幸訓 (昭和52年卒)

狩野 智雄 (昭和56年卒)

山田 伸夫 (元教諭)

金 一万円

茂手木勝美 (昭和25年卒)

嶋崎 忠彦 (昭和27年卒)

渡辺 徹郎 (昭和33年卒)

渡辺 治 (昭和35年卒)

渡辺 克己 (昭和38年卒)

阿部 正行 (昭和40年卒)

比留間竹郎 (昭和45年卒)

廣野 宏士 (昭和47年卒)

棚橋 祥一 (昭和51年卒)

春木 隆史 (昭和51年卒)

前田稲一朗 (昭和51年卒)

竹越 利之 (昭和53年卒)

朝倉 一寿 (昭和54年卒)

田中 幹浩 (昭和57年卒)

伊東 稔 (昭和59年卒)

大山 輝芳 (昭和59年卒)

染谷栄一郎 (昭和59年卒)

幹事学年寄付者一覧

総額 五十七万円

秋元健一郎	田村 正成
阿部 伸明	手束 謙一
稲田 裕一	寺山 裕也
岩月 義明	出羽 裕幸
植村 成典	中町 晋一
大園 正純	鍋島孝太郎
大塚 大	服部 高一
大貫 俊隆	原 健治
小笠原 仁	広瀬 克己
織田 晴彦	船越 大
金井 壮	星野 高士
小林 克敏	町側 尚則
小林 善彦	松尾 智己
坂野 光昭	宮島 賢
櫻井 理史	茂手木勝文
實川 裕基	森田 聡一
柴(宇都宮) 貴	矢澤 西野徹
嶋崎 雅彦	矢島 昭夫
鈴木 重之	柳澤 義則
鈴木 裕朗	山口 達明
曾根 克保	山田 啓明
竹内 寿彦	山本 伸幸
竹口 忠克	吉田 真実
田中 宏昌	渡辺 智郎
田中 嘉一	和田 直弘

注意

総明会は、「個人情報保護に関する法律」(個人情報保護法)に規定される個人情報取扱事業者として、独自に「個人情報保護の保護に関する規則」を策定し、個人情報保護法・その他法令に照らして適正且つ公正な手段によって会員に関する情報を収集し、お預かりした情報を適切に取り扱うとともに、正確性・機密性の保持に務めてまいります。この規則は本会報の制作にも生かされております。

御礼

第48回総明会総会開催並びに会報の発行にあたり皆様より沢山のご寄付並びに広告のご掲載を頂き誠にありがとうございます。

昨年、幹事の引継ぎを受け右も左もわからないまま、不安一杯で始まった寄付広告の活動ですが、先輩方の同期会に参加させて頂き、実際に先輩方と接し、心強いお言葉、温かいご支援を頂き不安も徐々に解消し目標達成の自信となっていました。これも歴代の先輩方が築き上げた伝統と、紫紺の旗の下に集う仲間のおかげだと思えます。

わが母校は創立100周年を迎えました。長い歴史の中で培われた「明治」の絆はこれからの100年にも変わらずに継承され、我等の紫紺の旗はきつと100年先の未来でも色褪せることなく風に靡いていることと思えます。

最後に、総明会幹事の大役を果たす事により、旧友達と杯を傾ける時間ができたことに深く感謝いたします。

関紺会 寄付広告委員長 寺山 裕也

山田 啓明

総明会(明治大学付属明治高等学校同窓会) 会則

第1章 総 則

(名称)

第1条 本会は、総明会と称する。

(目的)

第2条 本会は、会員相互の結束と親睦を図り、且つ母校のためにこれを賛助することを目的とする。

(事業及び会計処理)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- 1 母校に対する賛助活動を推進すること。
- 2 会員名簿を整備、管理すること。
- 3 会報などの広報物を発行すること。
- 4 同期会の結成を助成し、奨励すること。
- 5 支部OB会の開催を助成し、奨励すること。
- 6 その他、本会の目的を達成するために必要なこと。

② 前項に定める事業はすべて一般会計として処理する。ただし、会長は、理

事会の議決と評議員会の承認を得て、前項1号ないし6号に定める一部もしくは全部を特別会計として処理することができる。

(事務局、所在地)

第4条 本会の事務を行うために事務局を設ける。

② 事務局は、明治大学付属明治高等学校内に置く。

第2章 会 員

(会員資格)

第5条 本会は、旧制、新制明治中学校、明治大学八丈高等学校もしくは明治高等学校の卒業生ならびに同校に在籍したことがあるものを会員とする。

(入会金及び終身会費)

第6条 会員は、入会の時に入会金及び終身会費を本会に納入するものとする。
入会費及び終身会費の額ならびにその徴収の方法は、理事会が明治大学付属明治高等学校校長(以下「校長」という)の同意を得て定める。

(特別会員)

第7条 母校の教職員であるもの及びその職にあったものを特別会員とする。

② 特別会員は、本会が行う事業に参加することができる。

第3章 役 員

(役員の種類及び定員)

第8条 本会に理事10人以上20人以内及び監事2人を置く。

② 本会に会長1人、副会長3人以内、専務理事1人、事務局長1人、会計

③ 必要であれば、本会に常務理事を若干名置くことができる。

(役員の選任)

第9条 会長及び副会長の選任は、別に定める「会長及び副会長選出規定」に基づいて選定し、理事会及び評議員会の承認を受け、総会の決議をもってこれを選任する。会長及び副会長はその就任と同時に理事となる。但し、任期中途で会長及び副会長を補充す

- べき場合は、「会長及び副会長選出規定」に準じて選定し、理事会及び評議員会の承認を得て選任することができる。この場合は選任直後の総会において承認を得るものとする。
- ② 会長及び副会長以外の理事並びに監事（以下「会長選任役員」という）は、会員の中から、会長が選任する。会長選任役員は、選任後最初の評議員会の承認が得られなかったときは、選任されなかったものとみなす。これにより会長選任役員に欠員が生じたときは、会長は欠員のないように直ちに役員を選任しなければならない。
- ③ 専務理事、常務理事及び事務局局長並びに会計は、副会長の同意を得て、会長が理事の中から選任する。
- ④ 役員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
- ⑤ 会長は、副会長の同意を得て、いつでも会長選任役員を解任することができる。これにより会長選任役員に欠員が生じたときは、会長は欠員の無いように直ちに役員を選任しなければならない。
- ⑥ 理事は評議員を兼務できない。

（理事会）

第10条 本会の会務の執行は、理事会がこれを決する。

- ② 理事会は理事をもつて構成する。
- ③ 理事会は会長がこれを招集する。
- ④ 理事会の議長は、会長又は会長が指名したものがこれにあたる。
- ⑤ 理事会の議事は、出席理事の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
- ⑥ 理事は書面により理事会の決議に加わることができる。
- ⑦ 監事は、理事会に出席し意見を述べることができる。

（会長等の職務）

第11条 会長は本会を代表し、会務を総理、執行する。

- ② 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、あらかじめ会長が指名した順位にしたがい会長の職務を代行する。
- ③ 専務理事は、会長の指揮のもとに会務を総括してつかさどり、かつ事務局を総括する。
- ④ 常務理事は、専務理事を補佐する。
- ⑤ 事務局局長は、専務理事の指揮のもとに事務局を統括する。

- ⑥ 会計は、本会の会計及び財産の状況並びに会務の執行を行う。

- ⑦ 理事は、会務を分担する。

（監事の職務）

第12条 監事は、本会の会計及び財産の状況並びに会務の執行を監査する。

- ② 監事は、監査の結果を定時総会に報告する。

（名誉役員）

第13条 本会に名誉会長、名誉顧問及び顧問、相談役を置くことができる。

- ② 名誉会長、名誉顧問及び顧問、相談役は、本会又は母校に永年にわたり特別に功労のあったものの内から理事会が推薦し、評議員会の承認を得て会長がこれを委嘱する。

- ③ 学校法人明治大学の総長、学長は、その在任中、名誉顧問としてこれを推薦する。

- ④ 明治大学付属明治高等学校の校長は、その在任中、顧問をそれぞれ推薦する。

- ⑤ 相談役は、会務に永年にわたり功労のあった者の内から理事会が推薦し、評議員会の承認を得て会長がこれを委嘱する。

第4章 総会及び懇親会

(総会の招集)

第14条 定時総会は毎年1回開催し、臨時総会が必要なときに開催する。

② 総会は、会長がこれを招集する。

③ 総会の招集は、本会が発行する会報に掲載し、もしくはその他の方法で会員に通知して行う。

(総会の議事)

第15条 総会は、この会則に定める事項及びその他の重要な事項のうち理事会が提案し、評議員会が必要と認めた事項を総会における審議事項として決議する。

② 総会の議長は、会長又は会長の指名したものがこれにあたる。

③ 総会の議事は、出席会員の過半数でこれを決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(懇親会の開催)

第16条 懇親会は、会員の懇親を目的として毎年1回開催する。

② 懇親会の開催に関する事項は、理事会が決定し、評議員会の承認を得て、会長が会員に通知する。この通知は、総会の召集通知に準じて行う。

第5章 委員会

(委員会の設置)

第17条 本会は、第2条の目的の達成及び第3条の規定に掲げる事業の遂行のために必要な事項を調査、研究、審議し、または実施する機関として委員会を設けることができる。

② 委員会は、会則に定めるほか理事会の決議により設置する。

③ 委員会は、委員長1人及び委員2人以上をもつて構成する。

④ 委員長は、理事会の承認を得て会長がこれを委嘱し、委員は、会員及び特別会員の中から会長の同意を得て委員長がこれを委嘱する。

⑤ 委員会は、委員長がこれを主宰する。

⑥ 委員長は、その就任と同時に理事となる。

第6章 評議員及び評議員会

(評議員)

第18条 本会に、卒業学年毎に2人以内の評議員を置く。同期会は、同期会の会員のうちから評議員を選任して本会に届けるものとする。また、総明会に登録した班部OB会毎に1人の評議員

を置くことができる。評議員を選任した場合は、本会に届けるものとする。

② 同期会が結成されていないか、もしくは同期会において評議員を選任できない事情があるときは、会長は、当該学年のために同学年の中から仮評議員を選任できる。

③ 総明会に登録すべき班部OB会が結成されていないか、もしくは班部OB会に評議員を選任できない事情がある場合は、評議員を置くことができない。同期会の評議員と班部OB会の評議員は兼任できない。

(評議員の職務)

第19条 評議員及び仮評議員は、評議員会に出席するほか、本会の事務のうちその属する学年もしくは同期会及び班部OB会の関係で必要な事務を処理する。

② 評議員及び仮評議員は、適宜代行者を選任して評議員会への出席、その他の事務処理を代行させることができる。

(評議員会)

第20条 評議員会は、この会則に定める事項及びその他の重要な事項につき議決する。

② 評議員会は、会長が適宜これを招集する。

③ 評議員会の議長は、会長もしくは評議員の中から会長が指名したものがあたり、その進行は事務局長が行う。

④ 評議員会の議事は、出席評議員、仮評議員の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

第7章 同期会

(同期会)

第21条 会員は、学年ごとに同期会を組織するものとする。

② 同期会は、同期会名簿を整備し、運営に関する準則を定めるものとする。

③ 同期会は、その選任した評議員の職務の執行を助けなければならない。

④ 同期会は、同期会の総会を開催したときは、本会に報告するものとする。

第8章 班部OB会

(班部OB会)

第22条 会員は、在学中在籍した班部ごとに

班部OB会を組織することができる。

② 班部OB会は、OB会名簿を整備し、

運営に関する準則を定めるものとする。

③ 班部OB会は、その選任した評議員の職務の執行を助けなければならない。

④ 班部OB会は、OB会の総会を開催したときは、本会に報告するものとする。

第9章 会計

(会計の分類と会計年度)

第23条 本会の会計処理は、一般会計と特別

会計に区分して行い、特別会計はこの会則に定めのある場合の他、理事會において特に定めた会計に関する会計処理、一般会計は特別会計を除いたすべての会計処理とする。

② 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(基金)

第24条 理事会は、本会の財政基盤を安定さ

せ、また第3条に定める事業の遂行資金を形成するため基金を積立てる努力をしなければならない。

② 基金は、特別会計(以下「基金特別会計」という)で処理する。

③ 入会費、寄付金のうち理事会で基金に組入れることを決議したもの、並びに基金へ組入れることを目的とする寄付金(以下「特別基金」という)は、基金として基金特別会計に計上し、この会則に定めのある場合を除き支弁することはできない。

④ 基金は、財政基盤基金と事業遂行基金をもつて構成する。

⑤ 基金への組入金金は、財政基盤基金の総額に満つるまで優先してこれに充当する。

⑥ 財政基盤基金の総額は、総会の決議により決定もしくは変更する。この場合、第26条の定め(特別決議)を準用する。

⑦ 財政基盤基金は、原則として取崩すことができない。ただし、総会において承認を得た場合はこの限りではない。この場合、第28条の定め(特別決議)を準用する。

⑧ 基金のうち、財政基盤基金の総額を超える額を事業遂行基金とする。

⑨ 事業遂行基金は、第3条1項1号に定める事業もしくは理事会で決議した事業に支弁するため、理事会及び

評議員会の決議によりこれを取崩し、当該事業のために支弁することができる。

⑩ 会長は、緊急に対処を要すると認め

た事項(以下「緊急処理事項」という)のために、副会長の同意を得て、事業遂行基金を取崩し緊急処理事項に支弁することができる。この場合、会長は、緊急処理事項が生じた後、最初に開催される総会において、当該事項の緊急性及び事業遂行基金取崩しの必要性を説明し、取崩しについて承認を得なければならない。

⑪ 事業遂行基金を支弁して行う事業を

検討するため、本会に基金事業委員会を設置する。第17条4項の定めにかかわらず、この委員会は委員長1人と委員8人をもって構成し委員は理事の中から委員長が選任する。

(経費)

第25条

本会の経費は、入会費(ただし基金組入れ分を除く)、終身会費及び寄付金(ただし基金組入れ分を除く)並びに一般会計に属する財産から生じる果実その他特別会計に属さない収入をもって支弁する。

(予算)

第26条

会長は、会計年度の終了する前に、理事会の承認を得て翌会計年度の予算を作成する。翌会計年度の予算は、評議員会の承認を得て、総会に提出してその承認を得なければならない。

② 前項により、会長は、その会計年度の

最後に開催される評議員会に翌会計年度の予算を提出し、その承認を得た場合は、翌会計年度の初めから総会開催の日までの間、その予算を執行できるものとする。

(決算)

第27条

本会の収入支出の決算は、監事がこれを監査し、会長がこれを総会に提出して報告しなければならない。

② 基金特別会計の決算報告において

は、財政基盤基金と事業遂行基金を区別し、それぞれの収支の概要及び決算時の在り高のほか、特別基金の累計額を報告するものとする。

第10章 補 則

(特別決議)

第28条

本会の会則の改正は、総会における出席会員の4分の3以上の多数によ

る決議によらなければならない。

(届出)

第29条

会員は、氏名、住所及び職業を変更したときは本会に届け出るものとする。

② 同期会は、同期会員名簿及び役員

名簿を本会事務局に届け出るものとする。

③ 班部OB会は、OB会名簿及び役員

名簿を本会事務局に届け出るものとする。

附 則

(経過措置1)

第1条 (年会費同期会)

前回の会則の改正が施行された平成11年1月1日以前に会員となった者が構成される同期会(以下「年会費同期会」という)が納入する年会費については、次に会則改正のあるまで改正前の第7条の定めによるものとする。

第2条 (年会費)

同期会の納入する年会費は、第25条の定める経費に支弁する。

(経過措置2)

第1条 (年会費班部OB会)

班部OB会は、本会を運営する費用に充てるための年会費を納入するものとする。年会費の額及びその納入方法は、評議員会で定める。

第2条 (年会費)

班部OB会の納入する年会費は、第25条の定める経費に支弁する。

(施行期日)

この会則の改正は、平成18年12月3日より施行する。

(参考)

改正前第7条(年会費)

同期会は、本会を運営する費用に充てるための年会費を納入するものとする。年会費の額及びその納入方法は、評議員会で定める。

総明会会長及び副会長選出規定

会則第9条1項に基づき、会長及び副会長の選出は本規程により行う。

(選出委員会の設置、解散、委員の選出)

第1条 会長及び副会長の選出を行う場合は「選出委員会」(以下委員会という)を設置する。

② 委員会は役員改選又は補充の時期に

合わせて、十分な期間を考慮し、理事

会が設置する。

③ 委員会の構成は、委員長1人、委員

6人とする。委員の選出は理事会及び評議員会で各々3人とする。委員長は会長が指名したものがこれにあたる。

④ 委員会の解散は、総会において会長

及び副会長が選出された時点とする。

(会長、副会長の選出、承認について)

第2条 委員会は、会長及び副会長の選出に

あたり、推薦及び立候補を受け、その者をもって候補者とする。

② 候補者の中より、会長及び副会長候補

者を選出する。選出においては全員一致を原則とするが、定員に絞り込めない場合は、その状態で選出終了とする。

③ 理事会は、委員会より選出された候補

者の承認を行う。

④ 評議員会は、理事会で承認された候補

者の承認を行う。

⑤ 評議員会において承認された会長、

副会長は、総会の決議をもって、これを選任する。

(理事会の承認)

第3条 委員会より選出された会長候補者が

1名の場合、理事会において過半数の信任をもって承認されたものとする。

② 委員会より選出された会長候補者が

2名以上の場合、理事会において投票を行い、最も得票数の多い候補者を会長候補者として承認する。

③ 委員会より選出された副会長候補者

が3名の場合、理事会において過半数の信任をもって承認されたものとする。

④ 委員会より選出された副会長候補者

が4名以上の場合、理事会において投票を行い、得票数の多い順に3名を副会長候補者として承認する。

(評議員会の承認)

第4条 理事会より選出された会長及び副会

長候補者は、評議員会において過半数の信任をもって承認されたものとする。

(会長、副会長の資格)

第5条 会長及び副会長は、総明会会員とし

て20年以上在籍し、かつ評議員又は理事を経験していることを資格とする。この規定は、平成18年12月3日より施行するものとする。

明治高校「創立100周年」記念事業御寄付者一覧

(敬称略)
(平成18年4月1日から平成24年3月31日累計)

尾島育四郎(昭和41年卒)	中村 正容(昭和43年卒)	37 会(昭和37年卒)	明 楽 会(昭和31年卒)	旧 雨 会(昭和33年卒)	白 井 慶幸(昭和30年卒)
金 百二十万円	金 三十万円	前島 良彦(昭和39年卒)	明 治 会(昭和32年卒)	承 村 裕次(昭和35年卒)	秋 谷 操(昭和31年卒)
吉田耕太郎(昭和45年卒)	紫讃会(昭和43年卒)	阿部 正行(昭和40年卒)	加藤 真義(昭和36年卒)	吉田 信行(昭和36年卒)	小 林 信夫(昭和31年卒)
金 百十万円	金 三十万円	竹澤 啓昭(昭和49年卒)	秋葉 敏雄(昭和37年卒)	中 村 哲士(昭和37年卒)	杉 山 保廣(昭和32年卒)
北村 元嘯(昭和39年卒)	佐藤 仁(昭和39年卒)	翼 明 会(昭和49年卒)	夏目 元一(昭和37年卒)	森 敏孝(昭和37年卒)	青 柳 新也(昭和33年卒)
金 百万円	金 二十万円	明 紫 会(昭和50年卒)	神田 文男(昭和45年卒)	國 友 昭昭(昭和38年卒)	島 村 宏和(昭和37年卒)
谷 慈義(昭和39年卒)	男坂クラブ(昭和44年卒)	上野 雅宏(昭和51年卒)	佐藤 眞弘(昭和49年卒)	黒須 静夫(昭和38年卒)	松 下 義超(昭和38年卒)
金 百万円	金 二十万円	岡本 雅仁(昭和51年卒)	山崎 秀樹(昭和50年卒)	竹 腰 三男(昭和38年卒)	鶴 松 房治(昭和41年卒)
世古 俊之(昭和50年卒)	狩野 智雄(昭和56年卒)	明々 会(昭和51年卒)	神崎 浩昭(昭和56年卒)	荒 卿彦(昭和39年卒)	平 野 雅久(昭和41年卒)
金 百万円	金 二十万円	明 誠 会(昭和54年卒)	鴨 川 家(昭和58年卒)	上野 隆史(昭和45年卒)	結 城 康郎(昭和42年卒)
佐久間洋一(昭和43年卒)	出店 要蔵(昭和33年卒)	金 八万八千円	パレ部OB会	比留間竹郎(昭和45年卒)	杉 健次郎(昭和42年卒)
金 九十万円	金 十五万八千円	新村 秀男(昭和42年卒)	明 雪 会	戸 張 毅(昭和47年卒)	小田島保男(昭和43年卒)
米山 耕石(昭和27年卒)	二九会一同(昭和29年卒)	金 七万円	金 四万円	明 魂 会(昭和57年卒)	国 井 孝重(昭和43年卒)
金 五十五万円	金 十五万円	米山 武男(昭和33年卒)	石田 利夫(昭和18年卒)	米倉圭一郎(平成11年卒)	榛葉紀久雄(昭和43年卒)
福島 啓充(昭和37年卒)	高石 秀雄(昭和37年卒)	金 六万円	林 正信(昭和50年卒)	バスケットOB会	中 尾 恵則(昭和43年卒)
金 五十万円	金 十五万円	石坂 善正(昭和32年卒)	石渡 浩二(昭和51年卒)	明高歴研OB会	八木下恵三(昭和43年卒)
関谷 芳久(昭和44年卒)	明翔会(昭和56年卒)	尾島雄三郎(昭和34年卒)	金 三万五千円	金 二万五千円	稲 垣 秀明(昭和44年卒)
金 五十万円	金 十五万円	鈴木 豊(昭和37年卒)	堀 直樹(昭和46年卒)	高 橋 深昭(昭和32年卒)	中 河 孝樹(昭和44年卒)
井家上哲史(昭和51年卒)	中島 富之(昭和27年卒)	北島 一弘(昭和45年卒)	安 藤 賢司(昭和16年卒)	金 三万円	高 橋 淑正(昭和45年卒)
金 五十万円	金 十二万円	一 泉 知由(昭和46年卒)	林 幹夫(昭和18年卒)	山口 敏昭(昭和3年卒)	源 平 守正(昭和46年卒)
服部 雄二(昭和44年卒)	珊瑚の会(昭和35年卒)	山縣 清昭(昭和47年卒)	中野 三郎(昭和23年卒)	板垣 忠吉(昭和11年卒)	藤 井 義則(昭和46年卒)
金 三十一万円	金 十二万円	小嶋 真作(昭和52年卒)	田代 敏範(昭和26年卒)	齊藤 英二(昭和26年卒)	伊 達 忠伸(昭和46年卒)
黒子 昇(昭和27年卒)	藁谷 豊(昭和44年卒)	白畑 尚史(昭和56年卒)	小田 稔(昭和28年卒)	車 健一(昭和26年卒)	大 前 実之(昭和49年卒)
金 三十万円	金 十二万円	外山 大昭(昭和15年卒)	小松原和修(昭和28年卒)	藤井富士男(昭和27年卒)	星 野 良尚(昭和50年卒)
山崎 敬生(昭和32年卒)	金 十万円	別府 隆彦(昭和18年卒)	浪越 和民(昭和32年卒)	吉田 満昭(昭和27年卒)	大西静士郎(昭和52年卒)
金 三十万円	鈴木 利彦(昭和23年卒)	小田川玉城(昭和25年卒)	松野 英雄(昭和32年卒)	秋 元 宏信(昭和28年卒)	川 本 浩(昭和55年卒)
向殿 政男(昭和36年卒)	松倉 康信(昭和23年卒)	鈴木美津夫(昭和28年卒)	北本 雅章(昭和33年卒)	足立 孝雄(昭和29年卒)	松 本 浩一(昭和55年卒)
金 三十万円	明 駿 会(昭和36年卒)			大林 完二(昭和30年卒)	明 輪 会(昭和58年卒)

紺屋 周司(昭和59年卒)	大塚 満生(昭和26年卒)	石井嘉一郎(昭和37年卒)	竹川 忠芳(昭和43年卒)	井形 豊昭(昭和52年卒)	金 八千円
山本 将大(平成20年卒)	小井 英治(昭和26年卒)	小山 雅司(昭和37年卒)	橘 晶男(昭和43年卒)	大山 智弘(昭和52年卒)	宇田川雄弘(昭和30年卒)
金 一万八千円	長井 朗(昭和26年卒)	染谷 武俊(昭和37年卒)	西脇 善孝(昭和43年卒)	佐藤 大英(昭和52年卒)	相川 勝(昭和37年卒)
桑原 精一(昭和26年卒)	増島 諄也(昭和26年卒)	高橋 秀行(昭和37年卒)	八田 信明(昭和43年卒)	三木 喜晴(昭和52年卒)	金 五千円
金 一万五千円	三木 喬(昭和27年卒)	知久 倭昭(昭和37年卒)	福光登志雄(昭和43年卒)	大橋 政人(昭和53年卒)	河西 昭安(昭和23年卒)
熊野 篤良(昭和41年卒)	持丸 孝雄(昭和28年卒)	徳田 建三(昭和37年卒)	堀内 繁(昭和43年卒)	坂本 裕康(昭和53年卒)	岡本 恒明(昭和28年卒)
金 一万二千円	安田 芳照(昭和28年卒)	戸倉 正雄(昭和37年卒)	三田 幹男(昭和43年卒)	竹越 利之(昭和53年卒)	小貫 邦夫(昭和32年卒)
守田 満(昭和24年卒)	井野川博昭(昭和28年卒)	向山 勝(昭和37年卒)	南出 進(昭和43年卒)	團野 健治(昭和53年卒)	小林顕太郎(昭和38年卒)
金 一万円	高橋 和夫(昭和28年卒)	諸井 靖次(昭和37年卒)	武藤 光夫(昭和43年卒)	真下 栄市(昭和53年卒)	下田 敬一(昭和41年卒)
山口 国敏(昭和2年卒)	鶴見 祐策(昭和28年卒)	澤村 博雅(昭和38年卒)	森泉眞一(昭和43年卒)	吉田 正徳(昭和54年卒)	小暮 進男(昭和49年卒)
宗像健一郎(昭和8年卒)	朝比奈四十(昭和29年卒)	鹿野 俊(昭和38年卒)	渡辺 修(昭和43年卒)	松澤 正和(昭和54年卒)	岩波 宏昭(昭和50年卒)
最賀 四郎(昭和10年卒)	浮貝 文夫(昭和29年卒)	姿 卓昭(昭和38年卒)	大岩 宣幸(昭和44年卒)	安達 浩之(昭和56年卒)	菊地 宏昭(昭和62年卒)
柴矢 太郎(昭和13年卒)	沖山 二郎(昭和30年卒)	松下 義超(昭和38年卒)	小川 滋(昭和44年卒)	高須 孝輔(昭和56年卒)	藤田 拓也(平成18年卒)
鈴木 修一(昭和14年卒)	小口 政博(昭和30年卒)	岩間 勝雄(昭和38年卒)	毛塚 真次(昭和44年卒)	山田 英明(昭和56年卒)	金 四千円
河野 淳俊(昭和15年卒)	中村 勝則(昭和31年卒)	池田 勝保(昭和39年卒)	鈴木 幸男(昭和44年卒)	倉形 聡(昭和56年卒)	和智 秀樹(昭和48年卒)
田中不二彦(昭和16年卒)	矢野 昌義(昭和31年卒)	長谷川直樹(昭和39年卒)	高津 繁夫(昭和44年卒)	富田 信和(昭和56年卒)	金 三千円
木崎 左一(昭和17年卒)	岡戸 泰樹(昭和32年卒)	40年卒有志(昭和40年卒)	原田 繁(昭和44年卒)	山崎 哲夫(昭和57年卒)	大屋 悌(昭和19年卒)
山崎 道雄(昭和17年卒)	高柳 昌弘(昭和32年卒)	小原 義久(昭和40年卒)	福田 正知(昭和44年卒)	工藤 隆行(昭和59年卒)	北迫 吉隆(昭和22年卒)
藤田 忍(昭和18年卒)	中村 和雄(昭和32年卒)	庄原 正孝(昭和40年卒)	森田 省三(昭和44年卒)	西田 祐司(昭和59年卒)	持丸 実昭(昭和25年卒)
矢野 正興(昭和18年卒)	森 隆夫(昭和32年卒)	広波 義紀(昭和40年卒)	石山 雅範(昭和45年卒)	須江 芳行(昭和61年卒)	三迫 仁志(昭和27年卒)
田戸和四郎(昭和19年卒)	堀部 欣也(昭和33年卒)	堀越 優昭(昭和40年卒)	小野田健治(昭和46年卒)	古沢 昭和(昭和61年卒)	一ノ瀬和英(昭和45年卒)
林 辰雄(昭和19年卒)	岡崎 安彦(昭和34年卒)	小井 豊昭(昭和41年卒)	日比谷秀徳(昭和47年卒)	辻村 誠之(昭和62年卒)	海老原英明(平成16年卒)
西本 宏昭(昭和20年卒)	宮本 芳宏(昭和34年卒)	中島 純之(昭和41年卒)	牧野 浩司(昭和47年卒)	光岡 孝之(昭和63年卒)	仲村 誠司(平成16年卒)
古谷 厚一(昭和22年卒)	上原 明文(昭和35年卒)	町田 菊男(昭和42年卒)	影山 正登(昭和48年卒)	井上 正也(平成1年卒)	金 二千円
浅野 正男(昭和24年卒)	小原 元央(昭和35年卒)	石井 次男(昭和43年卒)	名倉 豊(昭和48年卒)	原 康史(平成1年卒)	今野 静男(昭和13年卒)
大堀 雅義(昭和24年卒)	時田 武(昭和35年卒)	大野 利男(昭和43年卒)	宮下 守正(昭和49年卒)	朝倉 太明(平成3年卒)	竹澤 浩(平成20年卒)
遠山 景忠(昭和24年卒)	安藤庄之助(昭和36年卒)	萩 誠(昭和43年卒)	宮下 守正(昭和49年卒)	中里 健一(平成4年卒)	
杉本正太郎(昭和25年卒)	石井 友治(昭和36年卒)	五味 賢一(昭和43年卒)	雨宮 弘典(昭和50年卒)	宮下 崇平(平成11年卒)	
堀内 博昭(昭和25年卒)	大塚 和哉(昭和36年卒)	志村 一夫(昭和43年卒)	石井 英彦(昭和50年卒)	永井 高志(平成17年卒)	
坂本 哲郎(昭和25年卒)	島村 佳彦(昭和36年卒)	鈴木 強(昭和43年卒)	高橋 公二(昭和50年卒)	小佐野貴成(平成19年卒)	
飯田 昌史(昭和26年卒)	村田 保廣(昭和36年卒)	関野 忠男(昭和43年卒)	富沢 秀敏(昭和50年卒)	明水 会	

※総明会会計にて把握している御名前及び金額を元に掲載しております。

編集後記

明治高校創立100周年

の記念すべき年の1月より活

動開始致しました。活動当初

より、衛藤会報委員長をはじめ

め、諸先輩からは、厳しくも

暖かいご指導を頂きました。

「新しい100年へ」という

事で、明治高校の輝かしい伝

統を継承し、特にこれからの

総明会活動を担う若手の皆

様にとって、親近感

を持ってもらえる楽

しい内容にすべく、

努力致しました。

金子校長先生を

はじめ、高校教職

員、生徒、PTA役

員の皆様、特に吉

田先生には大変お

世話になりました。

100周年記念特

別座談会に参加頂

きました諸先生、総

明会尾島会長、向

殿名誉会長、総明会

各委員、評議会の皆

様、特に島村先輩有

難うございました。

最後に、同期の闊紺

会のみんなありがと

う。宏昌やっただ、

過去最高の会報誌

になったと確信し、

自画自賛させていた

できます。

(山本伸幸)

前年のハイレベル

な会報、創立100

周年を受け、気合い

が入り過ぎたか、企

画案は充実していた

が、動き出すまで時

間を要した。認識も

かなり甘かった。

学校行事等、各種

取材はとても楽し

かったが、まず特集

5「100の提言」

は、なかなか集まら

ず、特集2「明中高

生を解析」は、設問

作成、集計・分析と

前後に手間取り、特

集3・4・6は、ペー

ジ数の割には内容

が濃く、思いのほか、

苦勞することが多

かった。

そして、そこに広

告制作業務等まで

もが・・・。

何はともあれ、目

途が立ったのは9月初旬で

あった。

会報委員会諸先輩、吉田

先生をはじめ、非常に多くの

方々にご協力を戴き、何とか

作成に漕ぎ着けられましたこ

と、深謝申し上げます。有難

うございました。

(大貫俊隆)

思い起せば昨年

12月の総明会忘年

会に参加させて頂

き、その場で会報委

員の任命を受けて

から早9ヶ月、主に

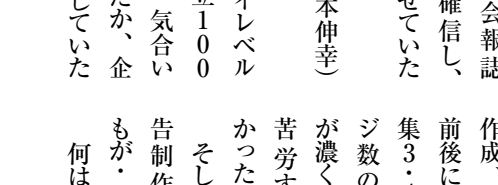
特集1座談会と特

集2明中高生解析

を担当させて頂きま

した。多くの文献を

調べたり、大先輩の



総明会の幹事学
年は知っていました
が、毎年秋に届き何
気なく目を通して
いた会報誌が会報委
員や諸先輩方たちの
協力のもと作成され
ていることを初めて
知りました。



(岩月義明)

お話を伺ったりと勉強漬けであつたこと、会社の仕事も随分とサボりましたが、100周年の節目となる会報誌を制作できる喜びを感じて、充実した日々を送ることが出来ました。会報委員会の諸先輩方のご指導、吉田先生を始めとする教職員の皆さまのご協力の賜物と、心より感謝しております。有難うございました。

昨年8月に会報委員を気軽に引き受けたものの大した仕事も出来ず、会報委員の皆様には大変申し訳なく思っております。
高校卒業以来訪れていなかった母校に立ち寄ることができたり、20年以上ぶりに仲間に出会うことができたりと、楽しい経験をさせていただきました。

創立100周年
の今年に幹事学
年として会報誌の作
成に微力ながら協力
することができて感
謝しております。こ
の伝統が今後何十
年、何百年と続いて
いってほしいと思
います。

(中町 晋一)

～健やかな毎日と磨きあげた美しさを～
フィットネス & ビューティ

La・VIE

(株)ジョイナス 本社：〒111-0034 東京都台東区雷門1-2-11

TEL 03-3847-8400(代)/FAX 03-3847-2900

株式会社ジョイナス 山田 啓明(昭和60年卒闘魂会)

感動をお届けする
手打ちそばの店

案山子

〒105-0014

港区芝 2-12-9 波ビル 1F

03-6272-4416

新鮮な旬の食材を活かした
料理と酒の店

泰もと

〒142-0062

品川区小山 3-6-23

03-5498-6450

株式会社案山子 山田 健人(平成元年卒)

住所変更時のお願い

総明会では総明会会報、総明会からのお知らせが皆様のお手元に、一通でも多く確実に届くよう各学年の評議委員を通じて総明会会員名簿の管理を行っております。

お引越し等で住所が変わられた方はお手数ですが総明会事務局までご連絡いただきますようお願いいたします。

連絡先：総明会 事務局長
熊倉 章雄

TEL.03-3695-0067
TEL.03-3695-0067
a_kumakura@ybb.ne.jp

お礼とお詫び

この会報誌発行にあたり、多くの総明会会員の皆様から、ご寄稿及び貴重なお写真の提出をいただきました。会報委員会一同心より御礼申し上げます。

紙面の都合上、全部を掲載することができませんでした。また、文章中においても、万人が読むにあたって不適切かと思われる表現等につきましては、会報委員の責任で割愛・表現の変更をさせていただきますました。

会報委員全員で文章を校正いたしました。至らぬ点もあるかと思えます。

何卒ご理解いただきます様お願い申し上げます。

第48回 総明会実行委員会

実行委員長

鈴木 重之

事務局

渡辺 智郎

企画 植村 成典 予算 柴 貴
大学 松尾 智己 名簿 嶋崎 雅彦

会報委員

山本 伸幸 大貫 俊隆
岩月 義明 中町 晋一

式典委員

町側 尚則 竹口 忠克
森田 聡一

寄付広告委員

寺山 裕也 山田 啓明
田村 正成 茂手木 勝文
矢澤 徹 大塚 大
織田 晴彦 鈴木 裕明
和田 直弘

ゴルフ委員

山口 達明 星野 高士
小林 克敏

会計委員

田中 嘉一 竹内 寿彦

experience

都会の喧噪から離れた極上空間で紡ぐ
上質な“非日常”の時間…

Hyatt. You're More Than Welcome.

ハイアット リージェンシー 東京
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 2-7-2
TEL. 03-3348-1234
tokyo.regency.hyatt.jp



+03 3348 1234
tokyo.regency.hyatt.jp

HYATT name, design and related marks are trademarks of Hyatt International Corporation.
©2012 Hyatt Hotels Corporation. All rights reserved.



発行 明治大学付属明治高等学校・中学校同窓会 総明会
〒182-0033 東京都調布市富士見町4-23-25
明治大学付属明治高等学校内
TEL.042-444-9100
<http://www.meiji.cside7.com/>

編集 闘紺会(昭和60年卒)
総明会 会報委員会
制作 島村デザイン
印刷 サミット印刷株式会社